

令和4－5年度

府中市
美術館
年報

ANNUAL
REPORTS
OF
FUCHU
ART
MUSEUM

April 2022-March 2024

目次

沿革	4
1. 展覧会事業	
1 企画展広報物・図録及び出版物	5
2 企画展一覧	29
3 コレクション展	60
2. 作品及び資料	
1 新収蔵作品	10
2 美術資料の修復	60
3 作品貸出状況	61
4 図書及びその他の資料	63
3. 教育普及事業	
1 公開制作・公開制作関連事業	64
2 アートスタジオ	68
3 美術鑑賞教室	70
4 教員研修	70
5 団体鑑賞支援	71
6 連携事業	71
4. ボランティア活動	73
5. 市民文化の日	73
6. 市民ギャラリー	
1 利用一覧	74
2 市民ギャラリーにおける主催・共催事業	74
7. 出版・広報	
1 出版物	75
2 ウェブサイト	75
8. 調査・研究	75
9. 利用者数一覧	76
10. 関係法規等	
1 関係法規	77
2 組織	82
3 各種委員会	82
11. 利用案内	83

沿革

昭和58年(1983)

4月 昭和44年(1970)、51年(1986)の府中市長期計画に続いて、総合計画に「美術館の建設」が盛り込まれる。

昭和61年(1986)

4月 文化振興基金に10億円を目標に美術品購入のための積立てを開始。

8月 市民参加による第一次文化懇談会から「美術文化の核となる美術館建設」の提言を受ける。

平成3年(1991)

3月 市民参加による第二次文化懇談会が美術館建設を提言。

9月 市民参加による美術館建設検討協議会が「府中市美術館の基本構想について」を答申する。

平成4年(1991)

12月 文教委員会に美術館建設予定地を都立府中の森公園とすること、東北地方の個人が所有する近代洋画のコレクションを一括購入することが報告され、交渉が了承される。

平成8年(1996)

6月 文教経済委員会が、8度にわたる市民関係団体との懇談会を踏まえて修正された基本計画を了承。

平成9年(1997)

3月 文教経済委員会に基本設計を報告。市議会が実施設計及び建設工事の予算を可決。

11月 東京都が美術館の設置を許可(公園施設設置許可)。

12月 建設工事着工。

平成10年(1998)

6月 洋画家牛島憲之の作品111点が遺族から府中市に寄贈される。

平成11年(1999)

9月 「府中市美術館条例」が市議会で可決、施行される。

平成12年(2000)

6月 建設工事竣工。

10月14日 府中市美術館開館。

平成16年(2004)

10月 市制施行50周年記念「牛島憲之と昭和前期の絵画―抽象と具象のあいだ」展を開催。

平成21年(2009)

11月 市制施行55周年記念「ターナーから印象派へ 光の中の自然」展を開催。

平成22年(2010)

9月 開館10周年記念「バルビゾンからの贈りもの―至高なる風景の輝き」展を開催。

平成26年(2014)

5月 市制施行60周年記念「東京・ソウル・台北・長春―官展にみるそれぞれの近代美術」展を開催。

9月 市制施行60周年記念「生誕200年 ミレー展―愛しきものたちへのまなざし」展を開催。

平成30年(2018)

3月 コレクションの充実のため美術品購入基金が新しく設置される。

9月 エントランスロビーの天井改修補強工事等を実施。翌年3月まで休館。

平成31年／令和元年(2019)

5月 市制施行65周年記念「棟方志功展」を開催。

9月 市制施行65周年記念「おかえり 美しき明治」展を開催。

令和2年(2020)

12月 開館20周年記念「メイド・イン・フチュウ 公開制作の20年」展を開催。

令和3年(2021)

9月 開館20周年記念「動物の絵 日本とヨーロッパ ふしぎ・かわいい・へそまがり」展を開催。

令和6年(2024)

3月 府中市美術館コレクションデータベースを公開。

1 展覧会事業

1 | 企画展広報物・図録及び出版物

1. 「発見された日本の風景」連携展 孤高の高野光正コレクションが語る ただいま やさしき明治

[令和4年(2022)5月21日(土)～7月10日(日)]



[チラシ]



[解説冊子]
編集・発行：府中市美術館

2. 夏休みチャレンジ アートのたねをみつけよう! [令和4年(2022)7月23日(土)～9月11日(日)]



[チラシ]



[ワークブック]
編集・発行：府中市美術館

3. アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで

[令和4年(2022)9月23日(金祝) - 12月4日(日)]



[チラシ]



[図録]

編集：株式会社プレントラスト

発行：「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスから
フランク・ロイド・ライトまで」カタログ制作委員会

4. 諏訪敦 「眼窩裏の火事」

[令和4年(2022)12月17日(土) - 令和5年(2023)2月26日(日)]



[チラシ]



[チラシ]



[チラシ] 関連事業チラシ



[図録]

編集：府中市美術館

発行：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
美術出版社書籍編集部

5. 春の江戸絵画まつり 江戸絵画お絵かき教室 [令和5年(2023)3月11日(土)–5月7日(日)]



[チラシ]



[図録]
著・編集：府中市美術館 発行：講談社



[ワークシート]
編集・発行：府中市美術館

6. 発掘・植竹邦良 ニッポンの戦後を映す夢想空間 [令和5年(2023)5月20日(土)–7月9日(日)]



[チラシ]



[図録]
編集・発行：府中市美術館

7. ぱれたんサマー むら田もいっしょ! [令和5年(2023)7月22日(土)–9月3日(日)]



[チラシ]



[ワークブック]
編集・発行：府中市美術館

8. インド細密画 [令和5年(2023)9月16日(土)–11月26日(日)]



[チラシ]

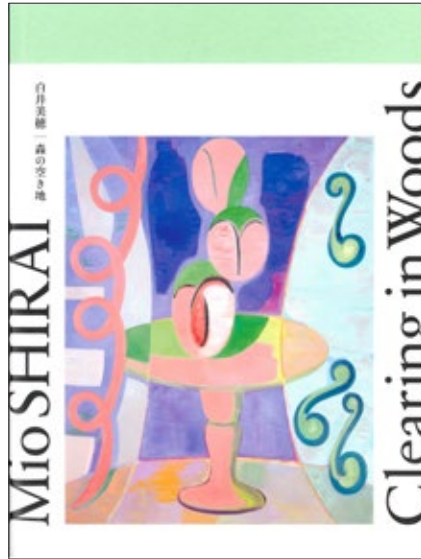


[図録]
編集・発行：府中市美術館

9. 白井美穂 森の空き地 [令和5年(2023)12月16日(土)–令和6年(2024)2月25日(日)]



[チラシ]



[図録]
編集・発行：府中市美術館

10. 春の江戸絵画まつり ほとけの国の美術 [令和6年(2024)3月9日(土)–5月6日(月休)]



[チラシ]



[図録]
編集：府中市美術館
発行：株式会社東京美術



[ワークシート]
編集・発行：府中市美術館

2 | 作品及び資料

1 | 新収蔵作品

データの記載順序は下記の通り

所蔵品目録番号

作者名および生没年

資料名 作者自身の命題や適当な来歴名称がなく、当館が便宜的に付けたものには*印を付した。

作者名(英文)

資料名(英文)

材質・技法

法量 縦×横、立体作品は幅×奥行×高さ、版画作品は支持体のサイズを記載した。

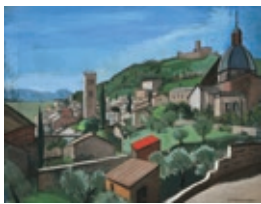
制作時期

款記・印章

その他特記事項

取得年度および取得方法

令和4年度購入



2476
中西利雄
明治33年(1900)－
昭和23年(1948)
伊太利亜の春
NAKANISHI Toshio
Spring in Italy
キャンバス、水彩
75.8cm×100.0cm
昭和6年(1931)
画面右下：
T.NAKANISHI
令和4年度 購入



2477
中西利雄
明治33年(1900)－
昭和23年(1948)
カフェ
NAKANISHI Toshio
Cafe
ボード、水彩
104.1cm×81.5cm
昭和7年(1932)
画面左上：T.Nakanishi
1932
令和4年度 購入



2478
小山田二郎
大正3年(1914)－
平成3年(1991)
ピエタ
OYAMADA Jiro
Pieta
キャンバス、油彩
130.3cm×162.2cm
昭和30年(1955)
令和4年度 購入



2479
丸田恭子
昭和30年(1955)－
マイナスの質量
MARUTA Kyoko
Negative Mass
キャンバス、アクリル・エナ
メル
198.0cm×398.0cm
平成7年(1995)
令和4年度 購入

令和4年度寄贈



2480
見島善三郎
明治26年(1893) -
昭和37年(1962)
本村風景
KOJIMA Zenzaburo
Landscape in Honmura
キャンバス、油彩
44.8cm×53.5cm
制作年不詳
画面内左: 善三郎
令和4年度 兒嶋画館
寄贈



2481
川上澄生
明治28年(1895) -
昭和47年(1972)
着せ替え紙人形
KAWAKAMI Sumio
Fashion Paper Doll
紙、木版
24.0cm×27.2cm
制作年不詳
画面内右下: 「澄」印
令和4年度 輝開寄贈



2482
平塚運一
明治28年(1895) -
平成9年(1997)
五十鈴川
HIRATSUKA Un'ichi
Isuzugawa River
キャンバス、油彩
38.2cm×45.5cm
昭和14年(1939)
画面内右下: Un-ichi
令和4年度 輝開寄贈



2483
平塚運一
明治28年(1895) -
平成9年(1997)
大山蓮華
HIRATSUKA Un'ichi
Magnolia
紙、木版
63.4cm×50.5cm
昭和17年(1942)
画面内右下: 「運」印
画面外右下: 平塚運一
令和4年度 輝開寄贈



2484
平塚運一
明治28年(1895) -
平成9年(1997)
平壤乙蜜台
HIRATSUKA Un'ichi
Eulmidae, Pyongyang
キャンバス、油彩
38.0cm×45.7cm
制作年不詳
令和4年度 輝開寄贈



2485
平塚運一
明治28年(1895) -
平成9年(1997)
平壤乙蜜台
HIRATSUKA Un'ichi
Eulmidae, Pyongyang
紙、木版
15.2cm×15.0cm
制作年不詳(昭和期)
画面外右下: Un-ichi
Hiratsuka, 平塚運一
令和4年度 輝開寄贈



2486
前田政雄
明治37年(1904) -
昭和49年(1974)
瀬戸の土山
MAEDA Masao
Hills of Clay in Seto
紙、木版
62.3cm×93.0cm
昭和34年(1959)
画面外下: 「政雄」印、
Masao Maeda
令和4年度 輝開寄贈



2487
前田政雄
明治37年(1904) -
昭和49年(1974)
陶土の丘
MAEDA Masao
Hills of Pottery Clay
紙、木版
62.0cm×90.5cm
昭和34年(1959)
画面外下: 「政雄」印、
Masao Maeda
令和4年度 輝開寄贈



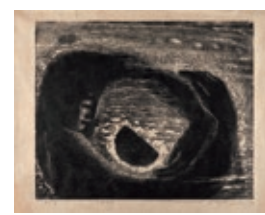
2488
恩田秋夫
大正13年(1924) -
平成19年(2007)
羊と少年
ONDA Akio
Lamb and a Boy
紙、木版
49.8cm×72.3cm
制作年不詳
画面外下: 板 Onda Akio
羊と少年、「あ」印
令和4年度 輝開寄贈



2489
恩田秋夫
大正13年(1924) -
平成19年(2007)
菖蒲湯や菖蒲寄り
来る乳のあたり
ONDA Akio
Shobu Leaves Scent Bath
and Float to Her Bleast
紙、木版
50.0cm×45.0cm
制作年不詳
画面内: 菖蒲湯や菖蒲寄
り来る乳のあたり
画面外下: 匂加舎白雄
(1738-1791) 板 Onda
Akio、「あ」印
令和4年度 輝開寄贈



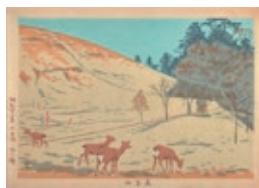
2490
恩田秋夫
大正13年(1924) -
平成19年(2007)
初恋や灯笼によする
顔と顔
ONDA Akio
First Love, Faces Stay
Close Beside the Lantern
紙、木版
54.4cm×68.8cm
昭和46年(1971)
画面外下: 板、「あ」印、
Onda Akio 1971.2 刀
初恋や灯笼によする顔と
顔炭太紙の句(1709 ~
1771) 2/200
令和4年度 輝開寄贈



2491
安芸真奈
昭和35年(1960) -
平成2年(1990)
下弦の月
AKI Mana
Last Quarter Moon
紙、木版
78.5cm×100.0cm
平成2年(1990)
画面外下: 3/3 下弦の月
Mana Aki '90
令和4年度 輝開寄贈



2492
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
京洛名刹雪月花
東本願寺豪雨
ASANO Takeji
Heavy Rain in Higashi-Honganji
Temple from "Snow, Moon, and Flowers
of Famous Temples in Kyoraku"
紙、木版
36.4cm×25.8cm
昭和15年(1940)
令和4年度 清水隆三氏寄贈



2493
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
奈良名勝 若草山
ASANO Takeji
Mt. Wakakusa from
"Nara Landscapes"
紙、木版
26.0cm×36.6cm
昭和23年(1948)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2494
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
近畿名勝
浮御堂夕月
ASANO Takeji
Twilight Moon of Ukimido
from "Kinki Landscapes"
紙、木版
26.4cm×39.3cm
昭和29年(1954)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2495
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
京洛名所 銀閣寺雪
ASANO Takeji
Ginkakuji Temple in
Snow from "Kyoraku
Landscapes"
紙、木版
29.9cm×26.2cm
昭和30年(1955)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2496
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
京洛名所 大文字
ASANO Takeji
Daimoniji Fire from
"Kyoraku Landscapes"
紙、木版
30.1cm×26.4cm
昭和30年(1955)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2497
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
京洛名所 東山月明
ASANO Takeji
Higashiyama in the Moonlight
from "Kyoraku Landscapes"
紙、木版
29.8cm×26.6cm
昭和30年(1955)、昭和
39年(1964)摺
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2498
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
京洛名所 高雄秋
ASANO Takeji
Autumn in Takao from
"Kyoraku Landscapes"
紙、木版
30.1cm×26.3cm
昭和30-31年(1955-56)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2499
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
続京洛名所 嵐山月
ASANO Takeji
The Moon of Arashiyama
from "Kyoraku Landscapes
Continued"
紙、木版
30.0cm×26.6cm
昭和32年(1957)、昭和
39年(1964)摺
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2500
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
続京洛名所 東寺夕立
ASANO Takeji
Toji Temple in Shower from
"Kyoraku Landscapes Continued"
紙、木版
29.9cm×26.4cm
昭和32年(1957)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2501
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
続京洛名所 知恩院小雨
ASANO Takeji
Chionin Temple in a Drizzle from
"Kyoraku Landscapes Continued"
紙、木版
30.2cm×26.2cm
昭和32年(1957)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2502
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
続京洛名所 金閣寺雪
ASANO Takeji
Kinkakuji Temple in Snow from
"Kyoraku Landscapes Continued"
紙、木版
29.8cm×26.8cm
昭和33年(1958)、昭和
39年(1964)摺
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2503
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
続京洛名所 鞍馬寺雪
ASANO Takeji
Kuramadera Temple in Snow from
"Kyoraku Landscapes Continued"
紙、木版
29.9cm×26.3cm
昭和33年(1958)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2504
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
続京洛名所 平等院月明
ASANO Takeji
Byodoin Temple in the Moonlight
from "Kyoraku Landscapes Continued"
紙、木版
29.9cm×26.2cm
昭和33年(1958)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2505
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
九州散見 青島
ASANO Takeji
Aoshima from "Scenes
Around Kyushu"
紙、木版
26.8cm×40.3cm
昭和38年(1963)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2506
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
九州散見 阿蘇
ASANO Takeji
Aso from "Scenes
Around Kyushu"
紙、木版
26.8cm×39.8cm
昭和39年(1964)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2507
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
九州散見 雲仙
ASANO Takeji
Unzen from "Scenes
Around Kyushu"
紙、木版
26.6cm×39.8cm
昭和39年(1964)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2508
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
山陰 隠岐国賀
ASANO Takeji
Oki-Kuniga from
"San'in"
紙、木版
26.7cm×40.2cm
昭和39年(1964)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2509
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
山陰 伯耆大山
ASANO Takeji
Hoki-Daisen from
"San'in"
紙、木版
26.8cm×40.3cm
昭和39年(1964)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2510
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
山陰 美保関
ASANO Takeji
Mihonoseki from
"San'in"
紙、木版
26.8cm×40.3cm
昭和40年(1965)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2511
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
山陰 鳥取砂丘
ASANO Takeji
Tottori Sand Dunes
from "San'in"
紙、木版
26.8cm×40.4cm
昭和40年(1965)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2512
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
山陰 萩
ASANO Takeji
Hagi from "San'in"
紙、木版
26.5cm×40.4cm
昭和40年(1965)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2513
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
山陰 宍道湖
ASANO Takeji
Lake Shinji from
"San'in"
紙、木版
26.8cm×40.2cm
昭和40年(1965)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2514
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
日本聚落懐古
洛北八瀬
ASANO Takeji
Yase, Northern Kyoto (Rakuhoku)
from "Nostalgia for Japanese Villages"
紙、木版
26.7cm×39.6cm
昭和42年(1967)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2515
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
日本聚落懐古
大和当麻
ASANO Takeji
Taima, Yamato from "Nostalgia
for Japanese Villages"
紙、木版
26.7cm×39.7cm
昭和42年(1967)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2516
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
日本聚落懐古
丹後久僧
ASANO Takeji
Kyuso, Tango from "Nostalgia
for Japanese Villages"
紙、木版
26.8cm×39.6cm
昭和42年(1967)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2517
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
日本聚落懐古
播州室津
ASANO Takeji
Murotsu, Banshu from
"Nostalgia for Japanese Villages"
紙、木版
26.7cm×39.7cm
昭和42年(1967)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2518
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
日本聚落懐古
丹波和知
ASANO Takeji
Wachi, Tanba from "Nostalgia
for Japanese Villages"
紙、木版
26.2cm×39.4cm
昭和42年(1967)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2519
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
日本聚落懐古
丹後伊根
ASANO Takeji
Ine, Tango from "Nostalgia
for Japanese Villages"
紙、木版
26.3cm×39.5cm
昭和42年(1967)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2520
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
日本聚落懐古
播州家島
ASANO Takeji
Ieshima, Banshu from "Nostalgia
for Japanese Villages"
紙、木版
26.8cm×40.0cm
昭和42年(1967)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2521
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
日本聚落懐古
飛騨白川郷
ASANO Takeji
Shirakawago, Hida from
"Nostalgia for Japanese Villages"
紙、木版
26.1cm×39.4cm
昭和42年(1967)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2522
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
日本聚落懐古
能登福浦
ASANO Takeji
Fukura, Noto from "Nostalgia
for Japanese Villages"
紙、木版
26.3cm×39.5cm
昭和43年(1968)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2523
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
四国散見
石槌山
ASANO Takeji
Mt. Ishizuchi from
"Scenes Around Shikoku"
紙、木版
26.3cm×39.3cm
昭和43年(1968)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2524
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
四国散見
丸亀城
ASANO Takeji
Marugame Castle from
"Scenes Around Shikoku"
紙、木版
26.2cm×39.2cm
昭和43年(1968)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2525
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
上信越散見
八ヶ岳
ASANO Takeji
Mt. Yatsugatake from "Scenes
Around Jo-Shin-Etsu"
紙、木版
26.2cm×39.4cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2526
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
上信越散見
青木湖
ASANO Takeji
Lake Aoki from "Scenes
Around Jo-Shin-Etsu"
紙、木版
26.2cm×39.0cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2527
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
上信越散見
戸隠山
ASANO Takeji
Mt. Togakushi from "Scenes
Around Jo-Shin-Etsu"
紙、木版
26.2cm×39.0cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2528
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
上信越散見
妙高山
ASANO Takeji
Mt. Myokogatake from "Scenes
Around Jo-Shin-Etsu"
紙、木版
26.1cm×39.0cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2529
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
上信越散見
木曾駒ヶ岳
ASANO Takeji
Mt. Kiso-Komagatake from
"Scenes Around Jo-Shin-Etsu"
紙、木版
26.2cm×39.3cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2530
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
上信越散見
黒姫山
ASANO Takeji
Mt. Kurohime from "Scenes
Around Jo-Shin-Etsu"
紙、木版
26.0cm×39.0cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2531
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
上信越散見
蓼科高原
ASANO Takeji
Tateshina Kogen from "Scenes
Around Jo-Shin-Etsu"
紙、木版
26.1cm×39.2cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2532
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
上信越散見
浅間山
ASANO Takeji
Mt. Asama from "Scenes
Around Jo-Shin-Etsu"
紙、木版
26.1cm×39.2cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2533
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
上信越散見
妙義山
ASANO Takeji
Mt. Myogi from "Scenes
Around Jo-Shin-Etsu"
紙、木版
26.0cm×39.3cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2534
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
上信越散見
御嶽
ASANO Takeji
Mt. Ontake from "Scenes
Around Jo-Shin-Etsu"
紙、木版
26.3cm×39.5cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2535
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
上信越散見
白馬岳
ASANO Takeji
Mt. Shirouma from "Scenes
Around Jo-Shin-Etsu"
紙、木版
26.2cm×39.2cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2536
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
東北、関東散見
芦ノ湖
ASANO Takeji
Lake Ashinoko from
"Scenes Around Tohoku
and Kanto"
紙、木版
26.0cm×39.3cm
昭和45年(1970)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2537
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
東北、関東散見
犬吠崎
ASANO Takeji
Cape Inubosaki from "Scenes
Around Tohoku and Kanto"
紙、木版
26.2cm×39.1cm
昭和45年(1970)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2538
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
東北、関東散見
石廊崎
ASANO Takeji
Cape Irozaki from "Scenes
Around Tohoku and Kanto"
紙、木版
26.0cm×39.3cm
昭和45年(1970)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2539
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
東北、関東散見
早雲山
ASANO Takeji
Mt. Soum from "Scenes
Around Tohoku and Kanto"
紙、木版
26.2cm×39.4cm
昭和45年(1970)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2540
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
東北、関東散見
汐来
ASANO Takeji
Itako from "Scenes Around Tohoku and Kanto"
紙、木版
26.2cm×39.3cm
昭和45年(1970)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2541
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
東北、関東散見
奥入瀬
ASANO Takeji
Oirase from "Scenes Around Tohoku and Kanto"
紙、木版
26.1cm×39.3cm
昭和45年(1970)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2542
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
東北、関東散見
九十九里浜
ASANO Takeji
Kujukuri Beach from "Scenes Around Tohoku and Kanto"
紙、木版
26.2cm×39.2cm
昭和45年(1970)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2543
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
東北、関東散見
御宿
ASANO Takeji
Onjuku from "Scenes Around Tohoku and Kanto"
紙、木版
26.8cm×40.6cm
昭和45年(1970)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2544
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
東北、関東散見
十和田湖
ASANO Takeji
Lake Towada from "Scenes Around Tohoku and Kanto"
紙、木版
26.1cm×39.3cm
昭和45年(1970)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2545
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
東北、関東散見
下北半島
ASANO Takeji
Shimokita Peninsula from "Scenes Around Tohoku and Kanto"
紙、木版
26.0cm×39.4cm
昭和45年(1970)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2546
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
東北、関東散見
猪苗代湖
ASANO Takeji
Lake Inawashiro from "Scenes Around Tohoku and Kanto"
紙、木版
26.7cm×39.9cm
昭和46年(1971)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2547
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
東北、関東散見
岩木山
ASANO Takeji
Mt. Iwaki from "Scenes Around Tohoku and Kanto"
紙、木版
26.8cm×40.5cm
昭和46年(1971)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2548
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
北海道散見
函館
ASANO Takeji
Hakodate from "Scenes Around Hokkaido"
紙、木版
26.8cm×40.5cm
昭和46年(1971)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2549
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
北海道散見
駒ヶ岳
ASANO Takeji
Mt. Komagatake from "Scenes Around Hokkaido"
紙、木版
26.7cm×40.0cm
昭和46年(1971)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2550
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
北海道散見
北のさっぽろ
ASANO Takeji
Cape Nosappu from "Scenes Around Hokkaido"
紙、木版
26.5cm×40.0cm
昭和46年(1971)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2551
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
北海道散見
積丹半島
ASANO Takeji
Shakotan Peninsula from "Scenes Around Hokkaido"
紙、木版
26.6cm×40.4cm
昭和47年(1972)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2552
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
北海道散見
阿寒湖
ASANO Takeji
Lake Akan from "Scenes Around Hokkaido"
紙、木版
27.0cm×40.5cm
昭和47年(1972)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2553
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
サーカスの馬たち
ASANO Takeji
Horses in a Circus
紙、木版
30.4cm×38.9cm
昭和31年(1956)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



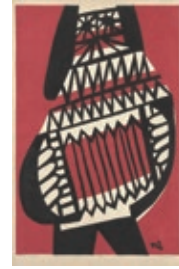
2554
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
耕す人たち
ASANO Takeji
Farmers
紙、木版
26.3cm×38.5cm
昭和36年(1961)
令和4年度 清水隆三氏 寄贈



2555
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
ギター弾き
ASANO Takeji
Guitarist
紙、木版
39.4cm×26.4cm
昭和44年(1969)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2556
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
水どり
ASANO Takeji
Water Bird
紙、木版
39.2cm×27.7cm
昭和45年(1970)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



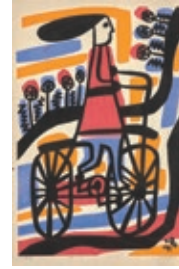
2557
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
アコーディオンを弾く
人
ASANO Takeji
Accordionist
紙、木版
40.4cm×26.8cm
昭和46年(1971)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2558
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
灯台と車
ASANO Takeji
Lighthouse and a Car
紙、木版
40.3cm×27.0cm
昭和46年(1971)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2559
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
工夫たちと汽車
ASANO Takeji
Train with the Laborers
紙、木版
40.3cm×26.6cm
昭和46年(1971)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2560
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
花の季節
ASANO Takeji
Flower Season
紙、木版
40.2cm×26.5cm
昭和46年(1971)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2561
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
黄色い鳥と赤い鳥
ASANO Takeji
Yellow Bird and a Red
Bird
紙、木版
26.7cm×40.4cm
昭和46年(1971)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2562
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
浅瀬をわたる
ASANO Takeji
Wading through the
Shallows
紙、木版
40.4cm×27.1cm
昭和46年(1971)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2563
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
朝のあいさつ
ASANO Takeji
Morning Greetings
紙、木版
27.1cm×41.0cm
昭和47年(1972)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2564
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
父と子
ASANO Takeji
Father and a Child
紙、木版
40.7cm×26.9cm
昭和48年(1973)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



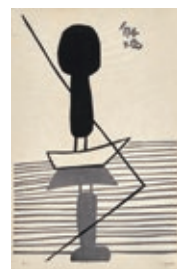
2565
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
女と鳥と虫と
ASANO Takeji
Women, Birds and a
Bug
紙、木版
26.7cm×40.2cm
昭和48年(1973)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2566
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
バイオリン弾き
ASANO Takeji
Violinist
紙、木版
39.3cm×26.3cm
昭和48年(1973)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2567
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
絵付けする人
ASANO Takeji
The Man Painting on
China
紙、木版
40.7cm×27.0cm
昭和49年(1974)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



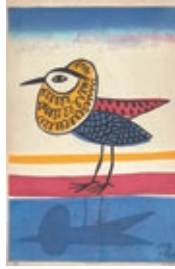
2568
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
舟人
ASANO Takeji
Boatman
紙、木版
40.8cm×27.4cm
昭和49年(1974)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



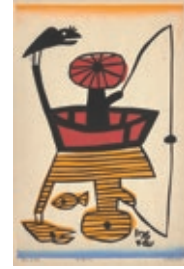
2569
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
釣り人
ASANO Takeji
Fisherman
紙、木版
40.8cm×26.8cm
昭和50年(1975)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2570
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
水かがみ
ASANO Takeji
Water Mirror
紙、木版
40.4cm×26.8cm
昭和50年(1975)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2571
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
鳴
ASANO Takeji
Sandpiper
紙、木版
39.2cm×26.0cm
昭和50年(1975)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2572
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
静かな朝
ASANO Takeji
Quiet Morning
紙、木版
40.4cm×26.8cm
昭和51年(1976)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2573
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
汀
ASANO Takeji
Waterside
紙、木版
26.7cm×40.4cm
昭和51年(1976)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2574
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
池畔
ASANO Takeji
Pondside
紙、木版
40.7cm×27.0cm
昭和52年(1977)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2575
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
ふりむく鳥
ASANO Takeji
Looking Back Bird
紙、木版
39.8cm×26.5cm
昭和53年(1978)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2576
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
丘上のギター弾き
ASANO Takeji
Guiterist on the Hill
紙、木版
41.0cm×24.0cm
昭和53年(1978)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2577
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
白い馬
ASANO Takeji
White Horse
紙、木版
40.7cm×27.3cm
昭和54年(1979)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2578
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
木陰
ASANO Takeji
Shade of a Tree
紙、木版
40.7cm×27.0cm
昭和54年(1979)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2579
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
仮面の裸婦
ASANO Takeji
Masked Nude Woman
紙、木版
40.8cm×27.4cm
昭和54年(1979)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2580
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
女とピアノ
ASANO Takeji
Woman and a Piano
紙、木版
39.3cm×26.5cm
昭和55年(1980)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2581
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
鶏と犬と椅子
ASANO Takeji
Chicken, a Dog and a
Chair
紙、木版
39.2cm×20.4cm
昭和55年(1980)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2582
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
わなげ
ASANO Takeji
Quoit
紙、木版
26.8cm×40.6cm
昭和55年(1980)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2583
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
夜のサクソフォン
ASANO Takeji
Saxophone at Night
紙、木版
40.8cm×27.0cm
昭和56年(1981)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2584
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
ロバに乗った人
ASANO Takeji
Man Riding a Donky
紙、木版
40.8cm×26.8cm
昭和56年(1981)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2585
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
岸辺の鳥
ASANO Takeji
Bird on the Shore
紙、木版
27.3cm×40.8cm
昭和57年(1982)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2586
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
曼珠沙華
ASANO Takeji
Spiderlily
紙、木版
40.7cm×27.0cm
昭和58年(1983)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2587
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
私が歩いている
ASANO Takeji
I am Walking
紙、木版
40.7cm×27.2cm
昭和58年(1983)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2588
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
サーカスの仲間
ASANO Takeji
Fellow Circus Performer
紙、木版
40.8cm×26.9cm
昭和59年(1984)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2589
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
大きな葉と虫
ASANO Takeji
Big Leaves and a Bug
紙、木版
29.5cm×40.3cm
昭和61年(1986)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2590
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
蛇足A
ASANO Takeji
Superfluous A
紙、木版
29.5cm×42.3cm
昭和62年(1987)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2591
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
夏
ASANO Takeji
Summer
紙、木版
30.8cm×40.6cm
昭和59年(1987)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2592
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
祭の人
ASANO Takeji
Festival Man
紙、木版
42.0cm×32.0cm
昭和62年(1987)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2593
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
眺め
ASANO Takeji
View
紙、木版
31.9cm×41.7cm
昭和62年(1987)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2594
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
かがみのおどり
ASANO Takeji
Mirror Dance
紙、木版
41.8cm×31.7cm
昭和62年(1987)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



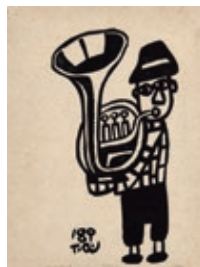
2595
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
小さなまきば
ASANO Takeji
Tiny Pasture
紙、木版
31.2cm×43.0cm
昭和63年(1988)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2596
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
ちくおんき
ASANO Takeji
Gramophone
紙、木版
41.8cm×31.4cm
平成元年(1989)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2597
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
ラッパ吹く少女
ASANO Takeji
Girl Blowing a Trumpet
紙、木版
41.8cm×31.5cm
平成元年(1989)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2598
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
ラッパを吹く少年
ASANO Takeji
Boy Blowing a Trumpet
紙、木版
40.9cm×31.2cm
平成元年(1989)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2599
浅野竹二
明治33年(1900) - 平成11年(1999)
ぜいろうくの唄
ASANO Takeji
Song of the Zeiroku
(Kansai People)
紙、木版
31.0cm×42.2cm
平成2年(1990)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2600
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
うきよのうた
ASANO Takeji
Song of the Life
紙、木版
31.0cm×41.0cm
平成2年(1990)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2601
浅野竹二
明治33年(1900) -
平成11年(1999)
やぐら
ASANO Takeji
Scaffold
紙、木版
40.8cm×30.8cm
平成3年(1991)
令和4年度 清水隆三氏
寄贈



2602
竹田源太郎
明治33年(1900) -
昭和59年(1984)
川のある風景
TAKEDA Gentaro
Landscape with a River
紙、木版
26.8cm×42.0cm
昭和46年(1971)
画面外下: No.335 9/12
1971 Gentaro Takeda
令和4年度 駒澤千夏氏
寄贈



2603
竹田源太郎
明治33年(1900) -
昭和59年(1984)
芙蓉
TAKEDA Gentaro
Hibiscus - mutabilis
紙、木版
40.8cm×33.0cm
昭和49年(1974)
画面外左下: No.360 2/5
1974 Gentaro Takeda
令和4年度 駒澤千夏氏
寄贈



2604
久村進
昭和16年(1941) -
令和3年(2021)
コスチュームのトルソ
HISAMURA Susumu
Torso of Costume
大理石
21.8cm×16.0cm×63.0cm
平成元年(1989)
令和4年度 久村研氏
寄贈



2605
久村進
昭和16年(1941) -
令和3年(2021)
再会
HISAMURA Susumu
Reunite
御影石
29.0cm×30.0cm×79.5 cm
平成11年(1999)
令和4年度 久村研氏
寄贈



2606
久村進
昭和16年(1941) -
令和3年(2021)
たそがれの唄声
HISAMURA Susumu
Song of Twilight
大理石
16.5cm×13.0cm×73.0cm
平成20年(2008)
令和4年度 久村研氏
寄贈



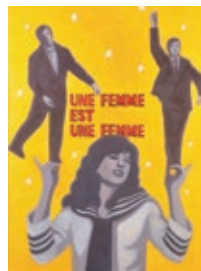
2607
久村進
昭和16年(1941) -
令和3年(2021)
直立のトルソ
HISAMURA Susumu
Torso of Erection
大理石
15.2cm×14.0cm×84.3cm
平成26年(2014)
令和4年度 久村研氏
寄贈



2608
堀浩哉
昭和22年(1947) -
府中の森の100の記憶
HORI Kessai
100 Memories of Fuchu Forest
出力紙、オイルスティック
各42.0cm×29.7cm 129点
平成14年(2002)
公開制作「府中の森の
100の記憶」(府中市美術
館、2002年)で制作
令和4年度 堀浩哉氏寄贈



2609
白井美穂
昭和37年(1962) -
Cut
SHIRAI Mio
Cut
ゼラチン・シルバー・プリント、
松葉杖、木ほか
(写真)107.0cm×77.0cm
×4.5cm、40.5cm×40.5cm
×4.5cm
(松葉杖と台)50.0cm×
133.5cm×35.0cm
平成5年(1993)
令和4年度 寄贈



2610
白井美穂
昭和37年(1962) -
女は女である
SHIRAI Mio
Une Femme Est une
Femme
キャンバス、油彩
155.0cm×114.0cm
平成8年(1996)、平成27
年(2015)加筆
令和4年度 寄贈



2611
白井美穂
昭和37年(1962) -
Forever
Afternoon
SHIRAI Mio
Forever Afternoon
映像
15分
平成20年(2008)
令和4年度 寄贈



2612
白井美穂
昭和37年(1962) -
反転波
SHIRAI Mio
Reversal Wave
キャンバス、油彩
181.0cm×227.0cm
平成30年(2018)
令和4年度 寄贈



2613
小西真奈
昭和43年(1968) -
三人と馬
KONISHI Mana
Three People and a
Horse
キャンバス、油彩
131.0cm×194.0cm
平成17年(2005)
令和4年度 小西真奈氏
寄贈



2614
小西真奈
昭和43年(1968) -
みんな水に向かっ
ていく
KONISHI Mana
Everyone Heads for the
Water
キャンバス、油彩
130.0cm×162.0cm
平成19年(2007)
令和4年度 小西真奈氏
寄贈

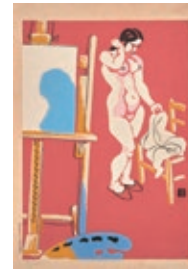
■ 令和5年度購入



2615
牛島憲之
明治33年(1900) - 平成9年(1997)
山峡の秋
USHIJIMA Noriyuki
Autumn in a Mountain Valley
キャンバス、油彩
61.2cm×121.5cm
昭和13年(1938)
令和5年度 購入



2616
坂本繁二郎
明治15年(1882) - 昭和44年(1969)
阿蘇五景
(波野の月、根子嶽の朝、放牧、噴火口、南郷谷)
SAKAMOTO Hanjiro
Five Views of Aso (the Moon of Namino, Morning in Mt.Nekodake, Grazing, Crater, Nangodani)
紙、木版 5点
各27.2cm×39.5cm
昭和23年(1948)
令和5年度 購入



2617
安井曾太郎
明治21年(1888) - 昭和30年(1955)
画家とモデル
YASUI Sotaro
Artist and Model
紙、木版
45.2cm×31.0cm
昭和9年(1934)
画面内右:「曾」印
画面外:昭和九年六月
求龍堂発售、71/150
令和5年度 購入



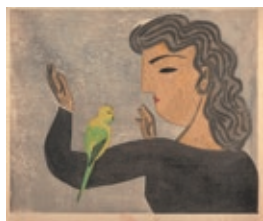
2618
前川千帆
明治21年(1888) - 昭和35年(1960)
雪の駒ヶ岳遠望
MAEKAWA Senpan
Distant View of Mt. Komagatake in Snow
紙、木版
32.5cm×41.4cm
昭和16年(1941)
画面内右下:千帆
画面外右上:雪の駒ヶ岳遠望
五十枚の内左下:■(印)
令和5年度 購入



2619
前川千帆
明治21年(1888) - 昭和35年(1960)
裏磐梯山峡
MAEKAWA Senpan
Urabandai Ravine
紙、木版
31.7cm×41.0cm
昭和16年(1941)
画面内右下:前川千帆
画面外右上:裏磐梯山峡
五十枚の内 九
令和5年度 購入



2620
前川千帆
明治21年(1888) - 昭和35年(1960)
牛
MAEKAWA Senpan
Cow
紙、木版
31.8cm×41.0cm
昭和30年(1955)
画面内右下:前川千帆
令和5年度 購入



2621
前川千帆
明治21年(1888) - 昭和35年(1960)
セキセイインコ
MAEKAWA Senpan
Budgerigar
紙、木版
33.5cm×40.5cm
昭和35年(1960)
画面内下:Senpan
Maekawa
令和5年度 購入



2622
前川千帆
明治21年(1888) - 昭和35年(1960)
乙女
MAEKAWA Senpan
Girl
紙、木版
39.0cm×28.5cm
制作年不詳
画面内右下:前川千帆
画面外下:Senpan.
Maekawa
令和5年度 購入



2623
前川千帆
明治21年(1888) - 昭和35年(1960)
温泉宿の二階
MAEKAWA Senpan
From the Second Floor of a Hot Springs Inn
紙、木版
52.2cm×61.8cm
制作年不詳(昭和初期)
画面内右下:「前」印
画面外下:Senpan
Maekawa
令和5年度 購入



2624
梅原龍三郎
明治21年(1888) - 昭和61年(1986)
座裸婦
UMEHARA Ryuzaburo
Sitting Nude
紙、木版
46.5cm×32.0cm
昭和5年(1930)
画面内左下:「龍」印
画面外:昭和五年一月
求龍堂発售、70-41
令和5年度 購入



2625
永瀬義郎
明治24年(1891) - 昭和53年(1978)
シバの踊り
NAGASE Yoshiro
Dance of Shiva
紙、木版
33.0cm×24.2cm
昭和5年(1930)
画面外下:mai 1930a
Paris Y. Nagasé
令和5年度 購入



2626
永瀬義郎
明治24年(1891) - 昭和53年(1978)
ピラミッド
NAGASE Yoshiro
Pyramid
紙、木版
21.7cm×30.3cm
昭和5年(1930)
画面外下:août 1930a
Paris Y. Nagasé
令和5年度 購入



2627
小泉癸巳男
明治26年(1893) - 昭和20年(1945)
第二輯満州小景
KOIZUMI Kishio
Scenes in Manchuria Series II
紙、木版 本編10点、番外4点
19.0cm×28.2cm他
昭和3年(1928)
令和5年度 購入



2628
川西英
明治27年(1894) - 昭和40年(1965)
小春日和
KAWANISHI Hide
Indian Summer
紙、木版
48.0cm×65.0cm
昭和33年(1958)
令和5年度 購入

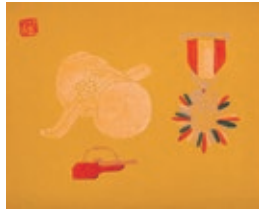


2629
川上澄生
明治28年(1895) - 昭和47年(1972)
標本図
KAWAKAMI Sumio
Figures of Spicemen
紙、木版
27.0cm×36.3cm
昭和5年(1930)
画面外左下:「澄生」印
令和5年度 購入



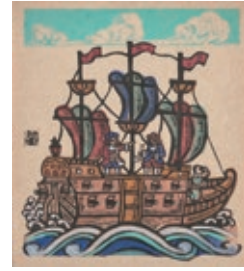
2630
川上澄生
明治28年(1895) - 昭和47年(1972)
横になる女

KAWAKAMI Sumio
Reclining Woman
紙、木版
14.1cm×16.2cm
昭和6年(1931)
令和5年度 購入



2631
川上澄生
明治28年(1895) - 昭和47年(1972)
勲章のある静物

KAWAKAMI Sumio
Still Life with Medal
紙、木版
19.0cm×25.0cm
昭和7年(1932)頃
画面内左上:「澄」印
令和5年度 購入



2632
川上澄生
明治28年(1895) - 昭和47年(1972)
南蛮船図

KAWAKAMI Sumio
Early European Ship
紙、木版
27.2cm×24.0cm
昭和25年(1950)
画面内左:「澄」印
令和5年度 購入



2633
川上澄生
明治28年(1895) - 昭和47年(1972)
ランプと南蛮人と女

KAWAKAMI Sumio
Lamp, European and Woman
紙、木版
39.4cm×50.2cm
昭和35年(1960)頃
令和5年度 購入



2634
川上澄生
明治28年(1895) - 昭和47年(1972)
マリア観世音出現図

KAWAKAMI Sumio
Appearance of Maria Kannon
紙、木版
24.0cm×33.0cm
制作年不詳
画面内左:「川上澄生」印
令和5年度 購入



2635
平塚運一
明治28年(1895) - 平成9年(1997)
安土風景

HIRATSUKA Un'ichi
Landscape of Azuchi
紙、木版
33.6cm×41.3cm
昭和6年(1931)
画面内左下:「平塚」印
画面外右下:平塚運一
令和5年度 購入



2636
平塚運一
明治28年(1895) - 平成9年(1997)
海沿いの段々畑 (伊豆)

HIRATSUKA Un'ichi
Seaside Terraced Fields (Izu)
紙、木版
49.0cm×64.2cm
昭和8年(1933)
画面内左下:「平塚運一」印
令和5年度 購入



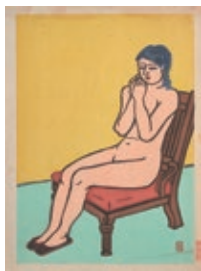
2637
平塚運一
明治28年(1895) - 平成9年(1997)
百済旧都 朝鮮

HIRATSUKA Un'ichi
The Old City of Baekje, Korea
紙、木版
37.5cm×50.8cm
昭和10年(1935)
画面内右下:「運」印
画面外右下:平塚運一、Un-ichi Hiratsuka
令和5年度 購入



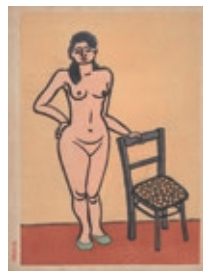
2638
平塚運一
明治28年(1895) - 平成9年(1997)
五十鈴川

HIRATSUKA Un'ichi
Isuzugawa River
紙、木版
31.2cm×37.4cm
昭和14年(1939)
画面内右下:「平塚」印
画面外左:五十鈴川 平塚運一
令和5年度 購入



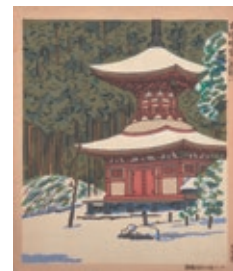
2639
平塚運一
明治28年(1895) - 平成9年(1997)
赤椅子裸婦

HIRATSUKA Un'ichi
Nude on a Red Chair
紙、木版
33.5cm×25.0cm
昭和14年(1939)
画面内右下:「平塚」印
画面外右下:平塚運一
令和5年度 購入



2640
平塚運一
明治28年(1895) - 平成9年(1997)
立つ裸婦

HIRATSUKA Un'ichi
Standing Nude
紙、木版
33.7cm×25.6cm
昭和14年(1939)
画面外左下:「平塚」印
画面外左下:平塚運一
令和5年度 購入



2641
平塚運一
明治28年(1895) - 平成9年(1997)
古塔晴雪(高野)

HIRATSUKA Un'ichi
The Stupa after Snow (Koya)
紙、木版
38.0cm×32.0cm
昭和17年(1942)
画面外右:古塔晴雪(高野) 平塚運一、限定100 No.34
令和5年度 購入



2642
平塚運一
明治28年(1895) - 平成9年(1997)
北風 千葉国府台

HIRATSUKA Un'ichi
The North Wind, Konodai in Chiba
紙、木版
87.0cm×63.0cm
昭和35年(1960)
画面内右下:「平塚運一」印
画面外下:北風 千葉国府台 Un'ichi Hiratsuka 1960 5/30
令和5年度 購入



2643
平川清蔵
明治30年(1897) - 昭和39年(1964)
風景

HIRAKAWA Seizo
Landscape
紙、木版
24.2cm×31.8cm
昭和4-7年(1929-32)頃
画面内左下:
S. HIRAKAWA
令和5年度 購入



2644
橋本興家
明治32年(1899) - 平成5年(1993)
二の丸付近(姫路城)

HASHIMOTO Okie
Near Ninomaru (Himeji Castle)
紙、木版
49.2cm×65.0cm
昭和15年(1940)
画面内左下:昭和十五年 興
画面外右:二ノ丸附近(姫路城)
昭和十五年国展出品(賞賛)
橋本興家作
令和5年度 購入



2645
橋本興家
明治32年(1899) - 平成5年(1993)
初秋(桜田門附近)
HASHIMOTO Okie
Early Autumn (Near Sakuradamon Gate)
紙、木版
41.5cm×57.3cm
昭和27年(1952)
画面内右下:「橋」印
画面外右:桜田門附近
橋本興家作
画面外下:A.P. 初秋
(桜田門附近)Koka
Hashimoto 1952
令和5年度 購入



2646
橋本興家
明治32年(1899) - 平成5年(1993)
濠端の朝(桜田門外)
HASHIMOTO Okie
Morning of the Moat Embankment (Sakuradamon Gate)
紙、木版
42.4cm×57.5cm
昭和31年(1956)
画面内左下:「橋」印
画面外右下:橋本興家作
画面外下:20/30
濠端の朝(桜田門外)
Okie Hashimoto '56
令和5年度 購入



2647
下澤木鉢郎
明治34年(1901) - 昭和61年(1986)
樺太浜路沼
SHIMOSAWA Kihachiro
Lake Hamaji in Sakhalin
紙、木版
21.1cm×28.6cm
昭和6年(1931)
画面内右下:「木鉢郎」印
画面外左:樺太浜路沼
下山木鉢郎、「鉢」印
令和5年度 購入



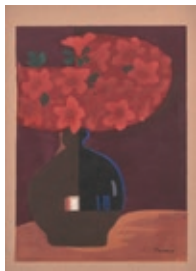
2648
下澤木鉢郎
明治34年(1901) - 昭和61年(1986)
雪の湯の島(浅虫)
SHIMOSAWA Kihachiro
Yunoshima in Snow (Asamushi)
紙、木版
21.0cm×28.7cm
昭和6年(1931)
画面内左上:「木鉢郎刀」印
画面外右:雪の湯の島(浅虫)
画面外左下:下澤木鉢郎
令和5年度 購入



2649
下澤木鉢郎
明治34年(1901) - 昭和61年(1986)
碇ヶ関
SHIMOSAWA Kihachiro
Ikarigaseki
紙、木版
27.8cm×36.6cm
昭和24年(1949)
画面内左下:「きはちろ」印
画面外左:碇ヶ関 下澤木鉢郎作
令和5年度 購入



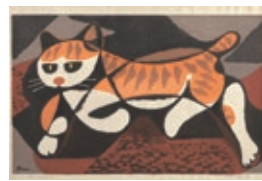
2650
稲垣知雄
明治35年(1902) - 昭和58年(1980)
黒壺の花
INAGAKI Tomoo
Flower in a Black Vase
紙、木版
49.0cm×37.0cm
昭和23年(1948)
画面内右下:Tomoo
画面外下:16/50 T.
Inagaki
令和5年度 購入



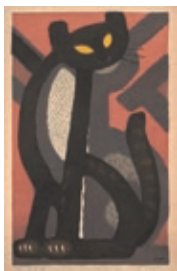
2651
稲垣知雄
明治35年(1902) - 昭和55年(1980)
さつき
INAGAKI Tomoo
Azalea
紙、木版
38.0cm×27.7cm
昭和24年(1949)
画面内右下:Tomoo
令和5年度 購入



2652
稲垣知雄
明治35年(1902) - 昭和55年(1980)
黒い壺
INAGAKI Tomoo
Black Vase
紙、木版
28.2cm×19.4cm
昭和28年(1953)
画面内右:と
令和5年度 購入



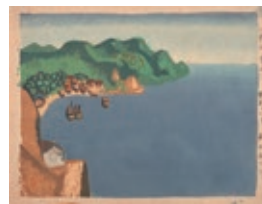
2653
稲垣知雄
明治35年(1902) - 昭和55年(1980)
歩く猫
INAGAKI Tomoo
Cat Walking
紙、木版
37.3cm×57.0cm
昭和28年(1953)
画面内左下:Tomoo
画面外下:「Cat Walking」
T. Inagaki
令和5年度 購入



2654
稲垣知雄
明治35年(1902) - 昭和55年(1980)
尾長猫
INAGAKI Tomoo
Cat with Long Tail
紙、木版
57.5cm×37.6cm
昭和33年(1958)
画面内右下:Tomoo
画面外下:1/50「尾長猫」
T. Inagaki
令和5年度 購入



2655
高羽敏
明治35年(1902) - 昭和57年(1982)
満洲風物第一輯
TAKABA Bin
Scenery of Manchuria Series I
紙、銅版 6点
34.7cm×27.6cm 他
制作年不詳
令和5年度 購入



2656
畦地梅太郎
明治35年(1902) - 平成11年(1999)
八幡浜栗の浦
伊予風景
(伊予十景)より
AZECHI Umetaro
Yawatama Kurisaura from the Landscape on Iyo (Ten Views of Iyo)
紙、木版
30.0cm×38.8cm
昭和11年(1936)
画面外右:八幡浜栗之浦
昭和十一年 畦地梅太郎
令和5年度 購入



2657
畦地梅太郎
明治35年(1902) - 平成11年(1999)
甲州の山
AZECHI Umetaro
Mountains in Koshu
紙、木版
34.8cm×48.1cm
昭和15年(1940)
画面内左下:梅
画面外右:甲州の山
二六〇〇年版 畦地梅太郎
令和5年度 購入



2658
畦地梅太郎
明治35年(1902) - 平成11年(1999)
日光の山
AZECHI Umetaro
Mountains in Nikko
紙、木版
34.7cm×48.2cm
昭和15年(1940)
画面内左下:梅
画面外右:日光の山
二六〇〇年版 畦地梅太郎
令和5年度 購入



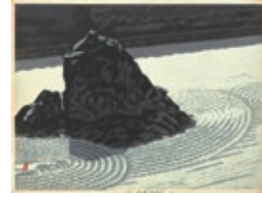
2659
畦地梅太郎
明治35年(1902) - 平成11年(1999)
大菩薩嶺(妙見の頭)
AZECHI Umetaro
Mt.Daibosatsu (The Head of Myoken)
紙、木版
34.8cm×48.2cm
昭和15年(1940)
画面内左下:梅
画面外右:大菩薩嶺(妙見の頭) 二六〇〇年版
畦地梅太郎
令和5年度 購入



2660
前田政雄
明治37年(1904)–
昭和49年(1974)
断層
MAEDA Masao
Fault
紙、木版
61.8cm×90.2cm
昭和34年(1959)
画面内右下:「政雄」印
Masao Maeda
画面外下:59 断層
令和5年度 購入



2661
前田政雄
明治37年(1904)–
昭和49年(1974)
石庭・竜安寺A
MAEDA Masao
Rock Garden, Ryoanji
Temple A
紙、木版
62.0cm×46.4cm
昭和35年(1960)
画面内下:「政雄」印
Masao Maeda
画面外下:60 石庭・竜
安寺A 48/48
令和5年度 購入



2662
前田政雄
明治37年(1904)–
昭和49年(1974)
石庭・竜安寺C
MAEDA Masao
Rock Garden, Ryoanji
Temple C
紙、木版
46.3cm×61.0cm
昭和37年(1962)
画面内下:「政雄」印
Masao Maeda
画面外下:62 石庭・竜
安寺C 5/50
令和5年度 購入



2663
前田政雄
明治37年(1904)–
昭和49年(1974)
槍ヶ岳
MAEDA Masao
Mt.Yarigatake
紙、木版
46.5cm×61.5cm
昭和38年(1963)
画面内左下:「政雄」印
Masao Maeda
画面外下:63 槍ヶ岳
10/30
令和5年度 購入



2664
前田政雄
明治37年(1904)–
昭和49年(1974)
金鷄山(妙義)
MAEDA Masao
Mt.Kinkei (Myogi)
紙、木版
44.2cm×56.3cm
昭和41年(1966)
画面内左下:「政雄」印
画面外下:2/50 金鷄山
(妙義) Masao Maeda '66
令和5年度 購入



2665
前田藤四郎
明治37年(1904)–
平成2年(1990)
紅型(A)
MAEDA Toshiro
Bingata (A)
紙、木版
46.0cm×33.2cm
昭和14年(1939)
画面内右下:「前」印
令和5年度 購入



2666
前田藤四郎
明治37年(1904)–
平成2年(1990)
大原女
MAEDA Toshiro
Oharame
紙、木版
53.8cm×25.8cm
昭和25年(1950)
画面内右下:「前」印
令和5年度 購入



2667
前田藤四郎
明治37年(1904)–
平成2年(1990)
桜島(夕)
MAEDA Toshiro
Sakurajima (Sunset)
紙、木版
29.2cm×36.2cm
制作年不詳
画面内右下:「前」印
令和5年度 購入



2668
田川憲
明治39年(1906)–
昭和42年(1967)
礎の門
TAGAWA Ken
Gate of Stone Pavement
紙、木版
40.1cm×33.1cm
昭和33年(1958)
画面内下:礎の門
NAGASAKI '58 Ken、
「田川」印
画面外下:自刻自摺、A. P.
令和5年度 購入



2669
田川憲
明治39年(1906)–
昭和42年(1967)
長崎-その深層
風土
TAGAWA Ken
Nagasaki, Its Deep
Climte
紙、木版
39.3cm×55.0cm
昭和36年(1961)
画面内下:長崎-その
深層風土 APR '61 Ken
Tagawa、「田川」印
画面外:自刻自摺
令和5年度 購入



2670
田川憲
明治39年(1906)–
昭和42年(1967)
港へ下る道
TAGAWA Ken
Road down to a Port
紙、木版
29.5cm×40.0cm
昭和39年(1964)
画面内下:NAGASAKI
1964 Ken Tagawa、「憲」印
画面外:自刻自摺
令和5年度 購入



2671
萩原英雄
大正2年(1913)–
平成19年(2007)
藍の幻想
HAGIWARA Hideo
Fantasy in Blue
紙、木版
88.3cm×61.4cm
昭和37年(1962)
画面外下:
Hideo Hagiwara 62 藍の
幻想 Fantasy in blue a.p.
令和5年度 購入



2672
関野準一郎
大正3年(1914)–
昭和63年(1988)
たけくらべ
SEKINO Jun'ichiro
Takekurabe
紙、木版
59.6cm×41.1cm
昭和37年(1962)
画面内下:Jun Sekino、
「準」印
画面外下:10/200
令和5年度 購入



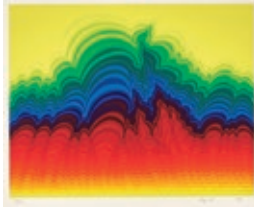
2673
関野準一郎
大正3年(1914)–
昭和63年(1988)
宇治平等院(京都)
SEKINO Jun'ichiro
Uji Byodoin Temple
(Kyoto)
紙、木版
41.7cm×55.2cm
昭和51年(1976)
画面内下:宇治 Jun
Sekino、「準」印
画面外下:13/300
令和5年度 購入



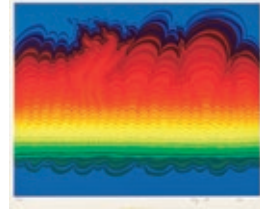
2674
馬淵聖
大正9年(1920)–
平成6年(1994)
西日
MABUCHI Toru
Afternoon Sun
紙、木版
59.2cm×81.4cm
昭和28年(1953)
画面外下:西日 5/10
Toru Mabushi
令和5年度 購入



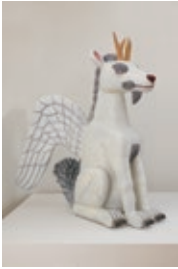
2675
恩田秋夫
大正13年(1924) -
平成19年(2007)
牛と少年
ONDA Akio
Cow and a boy
紙、木版
50.7cm×72.3cm
制作年不詳
画面外下:版 Onda Akio
牛と少年、「あ」印
令和5年度 購入



2676
穐嘔
昭和6年(1931) -
虹の精霊の住むと
ころ A
Ay-O
The Place Where
Rainbow Spirits Live, A
紙、シルクスクリーン
56.5cm×70.0cm
平成10年(1998)
画面外下:52/100 Ay-O
'98 虹の精霊の住むところ A
令和5年度 購入



2677
穐嘔
昭和6年(1931) -
虹の精霊の住むと
ころ B
Ay-O
The Place Where
Rainbow Spirits Live, B
紙、シルクスクリーン
57.0cm×70.5cm
平成10年(1998)
画面外下:43/110 Ay-O
'98 虹の精霊の住むところ B
令和5年度 購入



2678
三沢厚彦
昭和36年(1961) -
Animal 2018-01
MISAWA Atsuhiko
Animal 2018-01
樟、油彩
127.5cm×203.0cm×
234.0cm
平成30年(2018)
令和5年度 購入

令和5年度移管



2679
黒田重太郎
明治20年(1887)–
昭和45年(1970)
洛西徂春

KURODA Jutaro
Passing Spring in
Western Kyoto
キャンバス、油彩
53.5cm×64.2cm
昭和38年(1963)
画面左下: J.Kuroda 63
令和5年度 移管



2680
松村健三郎
明治34年(1901)–
平成4年(1992)
早春の家と疎林

MATSUMURA
Kenzaburo
Houses and Sparse
Wood in Early Spring
キャンバス、油彩
73.0cm×90.5cm
昭和39年(1964)
令和5年度 移管



2681
松村健三郎
明治34年(1901)–
平成4年(1992)
秋

MATSUMURA
Kenzaburo
Autumn
キャンバス、油彩
45.5cm×53.0cm
昭和40年(1965)
令和5年度 移管



2682
松村健三郎
明治34年(1901)–
平成4年(1992)
卓上静物(静物)

MATSUMURA
Kenzaburo
Still Life on the Table
(Still Life)
キャンバス、油彩
72.5cm×91.0 cm
昭和59年(1984)
令和5年度 移管



2683
松村健三郎
明治34年(1901)–
平成4年(1992)
麦秋

MATSUMURA
Kenzaburo
Early Summer
キャンバス、油彩
60.5cm×73.0cm
昭和62年(1987)
令和5年度 移管



2684
反町博彦
明治44年(1911)–
平成21年(2009)
山麓

SORIMACHI Hirohiko
Foothills of Mountains
キャンバス、油彩
72.5cm×61.0cm
昭和62年(1987)
画面左下: HSORI
令和5年度 移管



2685
反町博彦
明治44年(1911)–
平成21年(2009)
海原

SORIMACHI Hirohiko
Ocean
キャンバス、油彩
112.0cm×162.0cm
制作年不詳
令和5年度 移管



2686
棟方末華
大正2年(1913)–
平成7年(1995)
東京のふる里 板画武蔵
府中大観の内 武蔵国
府復原試作之賦

MUNAKATA Makka
Study of Restoration of Musashi-
Ikkoku from the Series of Woodcut
Prints of Magnificent Views of Musashi-
Fuchu, Former Capital of Tokyo
紙、木版
149.0cm×159.0cm
昭和62年(1987)
画面左下: 東京のふる里 板画
武蔵府中大観の内 武蔵国府
復元試作之賦 昭和六拾二年
六月 忠日 棟方末華、「末華」印
令和5年度 移管



2687
竹内正治
展

TAKEUCHI Masaharu
Exhibition
木、塗装
49.0cm×42.0cm×215.0cm
昭和45年(1970)
令和5年度 移管

令和5年度寄贈



2688
ジョルジュ・ビゴー
1860年-1927年
羽根道
Georges Bigot
Playing Battledore and
Shuttlecock
紙、銅版
20.4cm×30.6cm
明治19年(1886)
令和5年度 Boston Art
Club寄贈



2689
ジョルジュ・ビゴー
1860年-1927年
雪道
Georges Bigot
Snowy Road
紙、銅版
21.5cm×28.9cm
明治20-22年(1887-89)
画面右下: G.Bigot
令和5年度 Boston Art
Club寄贈



2690
高村真夫
明治9年(1876)-
昭和29年(1954)
御堂*
TAKAMURA Masao
Temple
紙、水彩
48.3cm×32.9cm
明治33年(1900)以降
画面左下: M.Takamura
令和5年度 Boston Art
Club寄贈



2691
木村梁一
生年不詳-
大正12年(1923)
読経*
KIMURA Ryoichi
Sutra Chanting
紙、水彩
65.7cm×99.3cm
明治37年(1904)
画面右下: R.Kimura.1904
令和5年度 Boston Art
Club寄贈



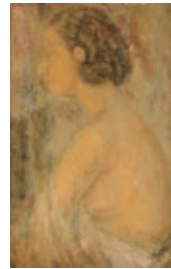
2692
新海覚雄
明治37年(1904)-
昭和43年(1968)
雄子の静物
SHINKAI Kakuo
Still Life with Peasants
キャンバス、油彩
45.0cm×80.0cm
制作年不詳
令和5年度 関根則男氏
寄贈



2693
藤野龍
明治40年(1907)-
昭和57年(1982)
牡丹
FUJINO Ryu
Peonies
キャンバス、油彩
72.8cm×50.4cm
昭和14年(1939)
画面右下: Fuji
令和5年度 鹿島三帆子
氏・鹿島有子氏寄贈



2694
藤野龍
明治40年(1907)-
昭和57年(1982)
騎手
FUJINO Ryu
Jockey
キャンバス、油彩
45.7cm×38.1cm
昭和14年(1939)
画面左下: Fuji
令和5年度 鹿島三帆子
氏・鹿島有子氏寄贈



2695
藤野龍
明治40年(1907)-
昭和57年(1982)
裸婦
FUJINO Ryu
Nude
キャンバス、油彩
53.0cm×33.5cm
昭和21年(1946)
画面右下: 龍
令和5年度 鹿島三帆子
氏・鹿島有子氏寄贈



2696
藤野龍
明治40年(1907)-
昭和57年(1982)
躑躅
FUJINO Ryu
Azalea
キャンバス、油彩
33.2cm×44.5cm
昭和22年(1947)
画面右上: 龍
令和5年度 鹿島三帆子
氏・鹿島有子氏寄贈



2697
柳原義達
明治43年(1910)-
平成16年(2004)
坐像
YANAGIHARA
Yoshitatsu
Seated Figure
紙、インク
40.8cm×32.0cm
昭和49年(1974)
画面右下: 1974
Y.Yanaguihara
令和5年度 鹿島三帆子
氏・鹿島有子氏寄贈



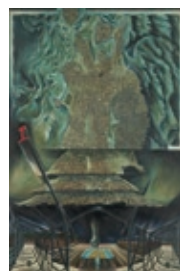
2698
柳原義達
明治43年(1910)-
平成16年(2004)
ピアノを弾く
YANAGIHARA
Yoshitatsu
Playing the Piano
紙、インク
41.0cm×32.0cm
昭和49年(1974)頃
画面右上: Y.Yanaguihara
令和5年度 鹿島三帆子
氏・鹿島有子氏寄贈



2699
植竹邦良
昭和3年(1928)-
平成25年(2013)
京王線駅舎*
UETAKE Kuniyoshi
Keio Line Station
紙、鉛筆、水彩
29.8cm×37.4cm
昭和31年(1956)
画面右下: Kuniyoshi
1956
令和5年度 植竹壇氏
寄贈



2700
植竹邦良
昭和3年(1928)-
平成25年(2013)
迷いこんだ矢印
UETAKE Kuniyoshi
Arrow Losing Its Way
キャンバス、油彩
91.2cm×116.4cm
1950年代後半-60年代
前半
令和5年度 植竹壇氏
寄贈



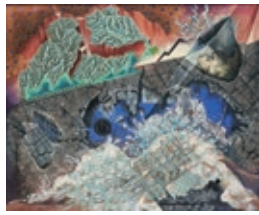
2701
植竹邦良
昭和3年(1928)-
平成25年(2013)
陸橋にて
UETAKE Kuniyoshi
At a Land Bridge
キャンバス、油彩
193.8cm×130.4cm
昭和51年(1976)
画面右: 竹 1976
令和5年度 植竹壇氏
寄贈



2702
植竹邦良
昭和3年(1928)-
平成25年(2013)
スピナリオ電車
UETAKE Kuniyoshi
Spinalio Train
キャンバス、油彩
130.8cm×161.7cm
昭和52年(1977)
画面右: 竹 77
令和5年度 植竹壇氏
寄贈



2703
植竹邦良
昭和3年(1928)－
平成25年(2013)
案内記・食堂篇
UETAKE Kuniyoshi
Guidebook: Dining Hall
Edition
キャンバス、油彩
130.5cm×162.0cm
昭和59年(1984)
画面右下:竹 84 K.
Uetake
令和5年度 植竹壇氏寄贈



2704
植竹邦良
昭和3年(1928)－
平成25年(2013)
案内記・東京湾篇
UETAKE Kuniyoshi
Guidebook: Tokyo Bay
Edition
キャンバス、油彩
130.4cm×162.0cm
昭和63年(1988)
画面左下:K.Uetake '88
令和5年度 植竹壇氏寄贈



2705
植竹邦良
昭和3年(1928)－
平成25年(2013)
溝の口
UETAKE Kuniyoshi
Mizonokuchi
紙、フェルトペン
40.8cm×66.2cm
平成8年(1996)
画面右下: '96 9/5 Kuni.
U Mizonoguchi
令和5年度 植竹壇氏寄贈



2706
植竹邦良
昭和3年(1928)－
平成25年(2013)
溝の口
UETAKE Kuniyoshi
Mizonokuchi
紙、フェルトペン
40.8cm×66.2cm
平成8年(1996)
画面左下: K.Uetake '96.
9.5 Mizonoguchi. S
令和5年度 植竹壇氏寄贈



2707
植竹邦良
昭和3年(1928)－
平成25年(2013)
溝の口
UETAKE Kuniyoshi
Mizonokuchi
紙、フェルトペン
40.8cm×66.2cm
平成8年(1996)
画面左下: 9.25 '96
令和5年度 植竹壇氏寄贈



2708
植竹邦良
昭和3年(1928)－
平成25年(2013)
代々木青山街道踏切
UETAKE Kuniyoshi
Railroad Crossing to
Aoyama Avenue in Yoyogi
紙、フェルトペン、水彩
40.8cm×66.2cm
平成10年(1998)
画面右下: '98 8.10 代々木
青山街道踏切 K. Uetake
令和5年度 植竹壇氏寄贈



2709
植竹邦良
昭和3年(1928)－
平成25年(2013)
樹木*
UETAKE Kuniyoshi
Trees
紙、フェルトペン
54.0cm×45.5cm
平成13年(2001)
画面左下: K. Uetake
'01.8.20
令和5年度 植竹壇氏寄贈



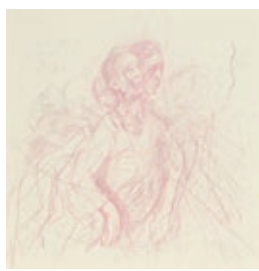
2710
植竹邦良
昭和3年(1928)－
平成25年(2013)
自画像*
UETAKE Kuniyoshi
Self-Portrait
紙、インク、水彩
37.4cm×29.8cm
制作年不詳
令和5年度 植竹壇氏寄贈



2711
諏訪敦
昭和42年(1967)－
大野一雄「天と地の結婚」を踊る川口隆夫
SUWA Atsushi
Takao KAWAGUCHI Dancing
"The Marriage of Heaven and Earth" by Kazuo OHNO
パペル、紙、鉛筆
32.5cm×41.0cm
令和2年(2020)
画面左下: 2020 Nov.16/5分
程度のパートを3回リピート
令和5年度 寄贈



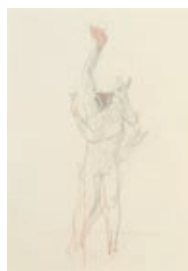
2712
諏訪敦
昭和42年(1967)－
大野一雄「タンゴ」を踊る川口隆夫
SUWA Atsushi
Takao KAWAGUCHI
Dancing "Tango" by
Kazuo OHNO
紙、鉛筆
35.2cm×24.9cm
令和2年(2020)
画面左下:
20200817/14.30 ~
令和5年度 寄贈



2713
諏訪敦
昭和42年(1967)－
大野一雄「タンゴ」を踊る川口隆夫
SUWA Atsushi
Takao KAWAGUCHI Dancing
"Tango" by Kazuo OHNO
パペル、紙、鉛筆
32.5cm×32.5cm
令和2年(2020)
画面左上: 2020
Nov.16/21 min. /
"Tango"
令和5年度 寄贈



2714
諏訪敦
昭和42年(1967)－
川口隆夫
SUWA Atsushi
Takao KAWAGUCHI
紙、鉛筆
36.3cm×25.7cm
令和2年(2020)
令和5年度 寄贈



2715
諏訪敦
昭和42年(1967)－
川口隆夫
SUWA Atsushi
Takao KAWAGUCHI
紙、鉛筆
36.3cm×25.7cm
令和2年(2020)
令和5年度 寄贈



2716
諏訪敦
昭和42年(1967)－
(Mimesis)のためのイメージボード
SUWA Atsushi
Image Board for
"Mimesis"
パペル、ミクストメディア
90.0cm×60.0cm
令和2-4年(2020-22)
令和5年度 寄贈

令和4年度

1. 「発見された日本の風景」連携展 孤高の高野光正コレクションが語る ただいま やさしき明治
[令和4年(2022)5月21日(土)–7月10日(日)]
2. 夏休みチャレンジ アートのたねをみつけよう!
[令和4(2022)年7月23日(土)–9月11日(日)]
3. アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで
[令和4年(2022)9月23日(金祝)–12月4日(日)]
4. 諏訪敦 「眼窩裏の火事」
[令和4年(2022)12月17日(土)–令和5年(2023)2月26日(日)]
5. 春の江戸絵画まつり 江戸絵画お絵かき教室
[令和5年(2023)3月11日(土)–5月7日(日)]

令和5年度

6. 発掘・植竹邦良 ニッポンの戦後を映す夢想空間
[令和5年(2023)5月20日(土)–7月9日(日)]
7. ばれたんサマー むら田もいっしょ!
[令和5年(2023)7月22日(土)–9月3日(日)]
8. インド細密画
[令和5年(2023)9月16日(土)–11月26日(日)]
9. 白井美穂 森の空き地
[令和5年(2023)12月16日(土)–令和6年(2024)2月25日(日)]
10. 春の江戸絵画まつり ほとけの国の美術
[令和6年(2024)3月9日(土)–5月6日(月休)]

1. 「発見された日本の風景」連携展 孤高の高野光正コレクションが語る ただいま やさしき明治

[令和4年(2022)5月21日(土)ー7月10日(日)]

開催趣旨：

忘れられた明治日本の古き良き姿が海外に残されていた。海外のオークションでこれを見た高野光正氏は以後約40年をかけ、海外に眠る日本人画家の水彩画を英米のコレクターから蒐集。現在、水彩画を中心に700点を超えるものとなり、これは明治洋画において日本有数の大規模コレクションとなっている。コレクションには、関東（日光、横浜など）や多摩、武蔵野を題材にした風景画が多く含まれ、明治洋画と武蔵野の深い関わりを示している。開館以来、当館も高野コレクションから十数点を収集してきた。

このたび、当館、京都国立近代美術館、長野県立美術館、および明治美術研究者との共同調査により、高野コレクションの全貌が次第に明らかにされてきた。これまで所在不明であった明治洋画の名品や著名作家の作品、さらに近年注目を集める笠木次郎吉の作品など、無名でありながらも価値の高い作品が多く含まれており、明治洋画史に新たな光を投じる発見が相次いでいる。

今回の展覧会は、日本の急速な近代化の中で人々が日本の風土とどのように共に生きてきたか、また日本の風景が英米社会でどれほど愛されてきたかを知る絶好の機会である。東京での初公開となる高野コレクションから約300点を厳選し、府中独自の解説冊子も制作して展示した。

観覧料：

一般700円(560円)、高校生・大学生350円(280円)、小・中学生150円(120円)* ()内は20名以上の団体料金

主催：府中市美術館、京都国立近代美術館、日本経済新聞社

後援：プリティッシュ・カウンシル

出品点数：363点

入場者数：

11,255名(開催日数：43日、1日平均261.7名)

印刷物：

[解説冊子] B5判128頁

[ポスター] B2判

[チラシ] A4判二つ折り4頁

関連イベント：

[展覧会講座]「高野光正コレクションが語るもの」講師：山梨絵美子(千葉市美術館館長)、5月21日(土)、市民ギャラリー(95名)

[展覧会講座]「ただいま やさしき明治」講師：志賀秀孝(当館学芸員)、7月9日(土)、市民ギャラリー(108名)

配信事業：

「府中市美術館『ただいま やさしき明治』展【展覧会紹介】」

「府中市美術館『ただいま やさしき明治』展【展覧会紹介】【コラム1 明治のやさしさ】」

「府中市美術館『ただいま やさしき明治』展【展覧会紹介】【コラム2 明治の写真と情緒】」

関連記事：

「海を渡った日本の風景 東京で『ただいま やさしき明治』展」南日本新聞、2022年6月4日朝刊

「開国期の明治描いた在外作品 日本人と来日画家の視点交錯」河北新報、2022年6月7日朝刊

「海を渡った日本の風景 東京・『ただいま やさしき明治』展 高野氏の収集活動顕彰」山形新聞、2022年6月8日朝刊

「海を渡った日本の風景 明治期の絵画300点 東京・府中市美術館」高知新聞、2022年6月9日朝刊

「『ただいま やさしき明治』展 海外に渡った日本の風景 高野光正氏の収集活動顕彰」長崎新聞、2022年6月8日朝刊

「海外に渡った日本の風景『ただいま やさしき明治』展 交差する画家の視線」日本海新聞、2022年6月9日朝刊

「海外に渡った日本の風景 高野氏収集の『明治』展」伊勢新聞、2022年6月11日朝刊

「海外に渡った日本の風景『ただいま やさしき明治』展」大阪日日新聞、2022年6月11日朝刊

「ただいま やさしき明治展 海を渡った日本の風景」京都新聞、2022年6月11日朝刊

「ただいま やさしき明治展 海外に渡った日本の風景 画家たちの交差する視線」茨城新聞、2022年6月12日朝刊

「都内で『ただいま やさしき明治』展 海外に渡った日本の風景」山梨日日新聞、2022年6月15日朝刊

「海を渡った明治日本の風景 東京で高野光正氏コレクション展」岐阜新聞、2022年6月15日朝刊

「海外に渡った日本の風景 高野光正コレクション『ただいま やさしき明治』展」熊本日日新聞、2022年6月15日朝刊

高野光正「海渡った明治の絵 里帰り 英米で700点買い付け日本に、安価で粗末なイメージ払拭」日本経済新聞、2022年6月17日朝刊

井手和子「『ただいま やさしき明治』展 海外に渡った日本の風景 高野光正さん収集の300点」中国新聞、2022年6月21日朝刊

「海外に渡った日本の風景 ただいま やさしき明治展 東京」東奥日報、2022年6月21日

「海を渡った明治日本の風景 実業家・高野光正コレクション 東京で展示」信濃毎日新聞、2022年6月27日朝刊

「海外に渡った日本の風景 ただいま やさしき明治展」埼玉新聞、2022年6月28日朝刊

宮崎正嗣「明治の絵画 帰国に貢献 愛知の高野さん40年で700点超 東京で展示 知られざる才能に光」中日新聞、2022年7月1日夕刊

出品作品

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
1	笠木治郎吉	農家の少女たち		紙、水彩	高野光正氏
2	笠木治郎吉	菊の畑		紙、水彩	高野光正氏
3	笠木治郎吉	花を持つ少女		紙、水彩	高野光正氏
4	笠木治郎吉	春の少女		紙、水彩	高野光正氏
5	笠木治郎吉	牡蠣を採る少女		紙、水彩	高野光正氏
6	笠木治郎吉	ウィリアム・アドルフ・ブグロー画「暁の女神」模写		紙、水彩	高野光正氏
7	笠木治郎吉	帰途の母子	明治45年(1912)	紙、水彩	高野光正氏
8	笠木治郎吉	荷馬		紙、水彩	高野光正氏
9	笠木治郎吉	猟師		紙、水彩	高野光正氏
10	笠木治郎吉	兎を捕った猟師		紙、水彩	高野光正氏
11	笠木治郎吉	狩人		紙、水彩	高野光正氏
12	笠木治郎吉	猟師		紙、水彩	高野光正氏
13	笠木治郎吉	帰猟		紙、水彩	府中市美術館
14	笠木治郎吉	収穫		紙、水彩	高野光正氏
15	笠木治郎吉	新聞配達人		紙、水彩	高野光正氏
16	笠木治郎吉	漁網を編む男性		紙、水彩	高野光正氏
17	笠木治郎吉	提灯屋の店先		紙、水彩	高野光正氏
18	笠木治郎吉	漁家の休憩		紙、水彩	高野光正氏
19	五雲亭(歌川)貞秀	再改横浜風景		紙本木版	高野光正氏
20	チャールズ・ワグマン	港	安政6年(1859)	紙、水彩	高野光正氏
21	チャールズ・ワグマン	広東の孔廟	慶應2年(1866)頃	紙、水彩	高野光正氏
22	チャールズ・ワグマン	河畔の釣人	安政6年(1859)	紙、水彩	高野光正氏
23	チャールズ・ワグマン	北京の哨兵		紙、水彩	高野光正氏
24	チャールズ・ワグマン	海岩	安政6年(1859)	紙、水彩	高野光正氏
25	チャールズ・ワグマン	髪結い		紙、水彩	高野光正氏
26	チャールズ・ワグマン	火鉢		紙、水彩	高野光正氏
27	チャールズ・ワグマン	頭巾の人		紙、水彩	高野光正氏
28	チャールズ・ワグマン	日傘をさす女	明治9年(1876)	紙、水彩	高野光正氏
29	チャールズ・ワグマン	侍	元治元年(1864)	紙、水彩	高野光正氏
30	チャールズ・ワグマン	侍	元治元年(1864)	紙、水彩	高野光正氏
31	チャールズ・ワグマン	ワグマン夫人立像		画布、油彩	高野光正氏
32	チャールズ・ワグマン	花を生ける娘たち		紙、水彩	高野光正氏
33	チャールズ・ワグマン	土間		紙、水彩	高野光正氏
34	チャールズ・ワグマン	街道		紙、水彩	高野光正氏
35	チャールズ・ワグマン	宿場町		紙、水彩	高野光正氏
36	チャールズ・ワグマン	見物する人々		紙、水彩	高野光正氏
37	チャールズ・ワグマン	一口香の店		紙、水彩	高野光正氏
38	チャールズ・ワグマン	富士山と貴人の行軍	明治4年(1871)	画布、油彩	高野光正氏
39	チャールズ・ワグマン	七里ヶ浜		画布、油彩	高野光正氏
40	チャールズ・ワグマン	七里ヶ浜		画布、油彩	高野光正氏
41	チャールズ・ワグマン	富士山		紙、水彩	高野光正氏
42	チャールズ・ワグマン	神奈川		画布、油彩	高野光正氏
44	チャールズ・ワグマン	山間清流		画布、油彩	高野光正氏
45	小澤一郎(チャールズ・A・ワグマン)	中禅寺湖畔の宿	明治33年(1900)	画布、油彩	高野光正氏
46	小澤一郎(チャールズ・A・ワグマン)	雪降る宿場町	明治37年(1904)	紙、水彩	高野光正氏
47	ウィリアム・シンプソン	明けの明星	明治7年(1874)	紙、水彩	高野光正氏
48	ウィリアム・シンプソン	富士山	明治22年(1889)	紙、水彩	高野光正氏
49	フランク・デイロン	京都郊外の茶屋		紙、水彩	高野光正氏
50	ジョージ・ホウィットフィールド	箱根峠から芦ノ湖の彼方に富士山を望む	明治11年(1878)	紙、水彩	高野光正氏
51	ウォルター・フェイン	増上寺の鐘楼		紙、水彩	高野光正氏
52	ウォルター・フェイン	地藏と富士山	明治7年(1874)	紙、水彩	高野光正氏
53	ロバート・チャールズ・ゴフ	中山道を宮ノ越宿へ帰る		紙、水彩	高野光正氏
54	ロバート・チャールズ・ゴフ	石山から琵琶湖を望む	明治10年(1877)	紙、水彩	高野光正氏
55	ロバート・チャールズ・ゴフ	江の島	明治10年(1877)	紙、水彩	高野光正氏
56	コンスタンス・フレデリカ・ゴードン=カミング	富士山と箱根湖	明治12年(1879)	紙、水彩	高野光正氏
57	コンスタンス・フレデリカ・ゴードン=カミング	箱根の大地獄(硫黄の沸く泉)を望んで宮ノ下へ向かう		紙、水彩	高野光正氏
58	チャールズ・クーバー=キング	横浜、東海道への途上		紙、水彩	高野光正氏
59	チャールズ・クーバー=キング	長崎、鎮西大社の石鳥居		紙、水彩	高野光正氏
60	チャールズ・クーバー=キング	長崎、牧島の湾岸への途上		紙、水彩	高野光正氏
61	チャールズ・クーバー=キング	横浜、宿営地に近い現地民の農村	慶應元年(1865)	紙、水彩	高野光正氏
62	チャールズ・クーバー=キング	横浜の金沢、丘からの眺望		紙、水彩	高野光正氏

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
63	アルフレッド・イースト	紅葉の茶屋		板、油彩	高野光正氏
64	アルフレッド・イースト	川辺の街		紙、水彩	高野光正氏
65	アルフレッド・イースト	海の見える春景		紙、水彩	高野光正氏
66	アルフレッド・イースト	農村		紙、水彩	高野光正氏
67	アルフレッド・イースト	雨後の傘干し		紙、水彩	高野光正氏
68	アルフレッド・イースト	春の雪		画布、油彩	高野光正氏
69	アルフレッド・イースト	“さよなら”		紙、水彩	高野光正氏
70	アルフレッド・イースト	朝霧に霞む富士山		紙、水彩	高野光正氏
71	アルフレッド・イースト	富士山		画布、油彩	府中市美術館
72	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	富士		紙、水彩	高野光正氏
73	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮島の千畳閣と五重塔	明治23年(1890)	紙、水彩	高野光正氏
74	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	祇園から山々を望む	明治24年(1891)	紙、水彩	高野光正氏
75	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	海辺の街	明治23年(1890)	紙、水彩	高野光正氏
76	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	農村を抜けて美濃へ行く	明治23年(1890)	紙、水彩	高野光正氏
77	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	子守の少女たち	明治23年(1890)	紙、水彩	高野光正氏
78	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	風景	明治24年(1891)	板、油彩	高野光正氏
79	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	鳥居		板、油彩	高野光正氏
80	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	商店	明治24年(1891)	板、油彩	高野光正氏
81	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	東京の芝の眺め	明治24年(1891)	紙、水彩	高野光正氏
82	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	寺の門	明治23年(1890)	板、油彩	高野光正氏
83	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	茶屋	明治24年(1891)	板、油彩	高野光正氏
84	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮詣	明治24年(1891)	画布、油彩	高野光正氏
85	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	日光東照宮鑄抜門	明治23年(1890)	紙、水彩	高野光正氏
86	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	春の東京	明治24年(1891)	板、油彩	高野光正氏
87	アルフレッド・パーソンズ	日光中禪寺湖の宿		紙、水彩	高野光正氏
88	アルフレッド・パーソンズ	雨の日		板、油彩	高野光正氏
89	アルフレッド・パーソンズ	富士山		紙、水彩	高野光正氏
90	アルフレッド・パーソンズ	雪中の仏像		画布、油彩	高野光正氏
91	ロバート・ウイアー・アラン	日光東照宮表門	明治40年(1907)	紙、水彩	高野光正氏
92	ロバート・ウイアー・アラン	門前		紙、水彩	高野光正氏
93	ロバート・ウイアー・アラン	舟遊		紙、水彩	高野光正氏
94	ロバート・ウイアー・アラン	富士山	明治41年(1908)	画布、油彩	高野光正氏
95	チャールズ・エドウィン・フリップ	夏の夕		紙、水彩、鉛筆	高野光正氏
96	チャールズ・エドウィン・フリップ	石山寺		紙、水彩	高野光正氏
97	チャールズ・エドウィン・フリップ	琵琶湖に近い村		紙、水彩	高野光正氏
98	チャールズ・エドウィン・フリップ	石山寺の門前		紙、水彩	高野光正氏
99	チャールズ・エドウィン・フリップ	赤地藏尊		紙、水彩	高野光正氏
100	チャールズ・エドウィン・フリップ	戎座		紙、水彩	高野光正氏
101	モーティマー・メンベス	菊花と自画像		紙、水彩	高野光正氏
102	モーティマー・メンベス	陽の当たる神社		紙、水彩	高野光正氏
103	モーティマー・メンベス	柘榴の乙女		ボード、油彩	高野光正氏
104	モーティマー・メンベス	Little Mother(小さなお母さん)	明治36年(1903)以前	紙、鉛筆、パステル	府中市美術館
105	モーティマー・メンベス	金工師		紙、水彩	高野光正氏
106	モーティマー・メンベス	道成寺		画布、油彩	高野光正氏
107	モーティマー・メンベス	雨		紙、鉛筆、水彩	高野光正氏
108	モーティマー・メンベス	芝居小屋		板、鉛筆、油彩	高野光正氏
109	アルフレッド・エドワード・エムスリー	子守		紙、水彩	高野光正氏
110	ジョン・ペダー	人力車横浜		紙、水彩	高野光正氏
111	ウォルター・ティンデル	ユダの木と清水寺		紙、水彩	高野光正氏
112	ウォルター・ティンデル	子守の少女		紙、水彩	高野光正氏
113	メアリー・ローズ・ヒル・バートン	傘をさす母子		紙、水彩	高野光正氏
114	メアリー・ローズ・ヒル・バートン	鐘楼と母子		紙、水彩	高野光正氏
115	メアリー・ローズ・ヒル・バートン	茶屋		紙、水彩	高野光正氏
116	クレメント・バーマー	帆船	明治35年(1902)	紙、水彩	高野光正氏
117	クレメント・バーマー	漁村	明治34年(1901)	紙、水彩	高野光正氏
118	クレメント・バーマー	門前の茶屋		紙、水彩	高野光正氏
119	トーマス・ホジソン・リデル	日光の杉並木		紙、水彩	高野光正氏
120	W・ロイド	夏の街並		紙、水彩	高野光正氏
121	ジェイムズ・グレイグ	藤花の庭		紙、水彩	高野光正氏
122	コンラッド・H・R・カレッリ	奈良		紙、水彩	高野光正氏
123	モンタギュー・スマイス	湖畔の宿		紙、水彩	高野光正氏
124	モンタギュー・スマイス	多宝塔		紙、水彩	高野光正氏

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
125	モンタギュー・スマイス	湖畔		紙、水彩	高野光正氏
126	モンタギュー・スマイス	海辺の樹々		紙、水彩	高野光正氏
127	エラ・デュ・ケイン	菖蒲の園		紙、水彩	高野光正氏
128	エラ・デュ・ケイン	庭園の喫茶		紙、水彩	高野光正氏
129	エラ・デュ・ケイン	東京の庭園		紙、水彩	高野光正氏
130	エラ・デュ・ケイン	宮島		紙、水彩	高野光正氏
131	فرانク・ベレスフォード	箱根	明治41年(1908)	板、油彩	高野光正氏
132	フランク・ベレスフォード	大磯からの富士を望む		画布、油彩	高野光正氏
133	フランク・ベレスフォード	京都の茶屋		紙、油彩	高野光正氏
134	フランク・ベレスフォード	大磯の岩崎家別邸の庭	明治41年(1908)	画布、油彩	高野光正氏
135	フランク・ベレスフォード	京都の芸妓		画布、油彩	高野光正氏
136	フランク・ベレスフォード	琴を弾く女性	明治41年(1908)	板、油彩	高野光正氏
137	ハリー・ハンフリー・ムーア	横浜の宿屋の厨房		板、油彩	高野光正氏
138	ハリー・ハンフリー・ムーア	日光の宿		板、油彩	高野光正氏
139	ハリー・ハンフリー・ムーア	子守の少年	明治14年(1881)	板、油彩	高野光正氏
140	ハリー・ハンフリー・ムーア	裁縫をする女性	明治14年(1881)	板、油彩	高野光正氏
141	ハリー・ハンフリー・ムーア	井戸への途上	明治14年(1881)	板、油彩	高野光正氏
142	ハリー・ハンフリー・ムーア	子守の子どもたち		板、油彩	高野光正氏
143	ハリー・ハンフリー・ムーア	門前の芸能者		板、油彩	高野光正氏
144	ハリー・ハンフリー・ムーア	雨中の子守の少女たち		板、油彩	高野光正氏
145	ハリー・ハンフリー・ムーア	三味線の稽古	明治14年(1881)	板、油彩	高野光正氏
146	ハリー・ハンフリー・ムーア	駕籠舁		板、油彩	高野光正氏
147	ハリー・ハンフリー・ムーア	駕籠舁	明治14年(1881)	板、油彩	高野光正氏
148	ハリー・ハンフリー・ムーア	食事中の宿屋の番頭	明治14年(1881)	板、油彩	高野光正氏
149	アーネスト・ワズワース・ロングフェロー	寺の門	明治36年(1903)	画布、油彩	高野光正氏
150	ヘレン・ハイド	新宿十二社の桜		紙、水彩	高野光正氏
151	ウイंकワース・アラン・ゲイ	松の大樹	明治13年(1880)	板、油彩	高野光正氏
152	ウイंकワース・アラン・ゲイ	漁村の浜辺の夕		画布、油彩	高野光正氏
153	カール・ザルツマン	四国の飯野山(讃岐富士)	明治12年(1879)	画布、油彩	高野光正氏
154	ジョルジュ・フェルディナン・ピゴ	伊豆修善寺の菊屋の厨房	明治20年(1887)	ボード、油彩	高野光正氏
155	ジョルジュ・フェルディナン・ピゴ	伊豆の国	明治20年(1887)頃	紙、水彩	高野光正氏
156	ジョルジュ・フェルディナン・ピゴ	伊豆の国		紙、水彩	高野光正氏
157	エーリヒ・キプス	鎌倉大仏		画布、油彩	高野光正氏
158	F・L・チャップマン	長崎	明治25年(1892)	紙、水彩	高野光正氏
159	G・プロッケルバンク	湖畔の宿		紙、水彩	高野光正氏
160	O・トレイシー	上野東照宮	明治7年(1874)	紙、水彩	高野光正氏
161	田村宗立	蒙古襲来図		絹本着色	高野光正氏
162	中山年次	花を持つ女		紙、水彩	高野光正氏
163	中山年次	帯を結ぶ日本の女		絹本着色	高野光正氏
164	山村柳祥	和装の西洋の女		絹本着色	高野光正氏
165	五姓田芳柳	かるた遊び		画布、油彩	高野光正氏
166	五姓田義松	河畔の道		紙、水彩	高野光正氏
167	五姓田義松	舞妓		紙、水彩	高野光正氏
168	五姓田義松	雪中の山門		紙、水彩	高野光正氏
169	五姓田義松	亀戸の藤浪		紙、水彩	高野光正氏
170	五姓田義松	北陸・東海道御巡幸記録画 越前敦賀港図		板、油彩	高野光正氏
171	五姓田義松	北陸・東海道御巡幸記録画 三島大社雨中之図		板、油彩	高野光正氏
172	五姓田義松	北陸・東海道御巡幸記録画		板、油彩	高野光正氏
173	五姓田義松	北陸・東海道御巡幸記録画 善光寺山門		板、油彩	高野光正氏
174	五姓田義松	北陸・東海道御巡幸記録画 天然瓦斯ヲ燈火ニ使用ノ図		画布、油彩	高野光正氏
175	五姓田義松	宿場町		紙、水彩	高野光正氏
178	五姓田芳柳(2世)	入浴の女たち		紙、水彩	高野光正氏
179	五姓田芳柳(2世)	横浜居留地		紙、水彩	高野光正氏
180	五姓田芳柳(2世)	川辺の洗濯場		紙、水彩	高野光正氏
181	山本芳翠	月下波上の船		紙、墨、鉛筆	高野光正氏
182	平木政次	宿場町	明治36年(1903)	紙、水彩	高野光正氏
183	渡辺文三郎	東海道薩埵峠之図	明治28年(1895)	画布、油彩	高野光正氏
184	本多錦吉郎	障子から覗く少女		紙、水彩	高野光正氏
185	本多錦吉郎	風景		紙、水彩	府中市美術館
186	本多錦吉郎	豊穰への道		画布、油彩	高野光正氏
187	小山正太郎	露梨子村山逕の松涛	明治41年(1908)	紙、鉛筆、水彩	高野光正氏
188	小山正太郎	村道		紙、鉛筆	高野光正氏

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
189	小山正太郎	秋景図	明治20年(1887)	画布、油彩	高野光正氏
190	松井昇	花籠を持つ少女		紙、水彩	高野光正氏
191	柳(高橋)源吉	芝増上寺	明治20年(1887)	画布、油彩	高野光正氏
192	安藤伸太郎	宮詣	明治20年(1887)	板、油彩	高野光正氏
193	安藤伸太郎	海辺の松林	明治34年(1901)	画布、油彩	高野光正氏
194	小林清親	厨ノ図		紙、油彩	高野光正氏
195	野崎華年	山道を帰る		紙、水彩	高野光正氏
196	沼辺強太郎	清水坂		紙、水彩	高野光正氏
197	沼辺強太郎	清水寺		紙、水彩	高野光正氏
198	沼辺強太郎	神社の門		紙、水彩	高野光正氏
199	沼辺強太郎	日光東照宮陽明門		紙、水彩	高野光正氏
200	沼辺強太郎	清水寺		紙、水彩	高野光正氏
201	河久保正名	風雨の大橋		紙、水彩	高野光正氏
202	河久保正名	提灯屋	明治38年(1905)	紙、水彩	高野光正氏
203	河久保正名	田植え		紙、水彩	高野光正氏
204	河久保正名	庭園の散策		紙、水彩	高野光正氏
205	河久保正名	釣人		紙、水彩	高野光正氏
206	河久保正名	日光東照宮陽明門		紙、水彩	高野光正氏
207	田淵保	桜咲く街道		紙、水彩	高野光正氏
208	田淵保	日光東照宮の石鳥居		紙、水彩	高野光正氏
209	五百城文哉	日光の村		紙、水彩	高野光正氏
210	五百城文哉	花嫁の行列		紙、水彩	高野光正氏
211	五百城文哉	農家の縁側の行商人		紙、水彩	高野光正氏
212	五百城文哉	猿曳		紙、水彩	高野光正氏
213	五百城文哉	日光東照宮の神庫		紙、水彩	高野光正氏
214	五百城文哉	仁和寺		紙、水彩	高野光正氏
215	五百城文哉	日光の神橋		紙、水彩	高野光正氏
216	五百城文哉	秋祭		紙、水彩	高野光正氏
217	五百城文哉	日光東照宮の銅鳥居		紙、水彩	高野光正氏
218	五百城文哉	日光山輪王寺の常行堂		画布、油彩	高野光正氏
219	五百城文哉	日光		紙、水彩	高野光正氏
220	五百城文哉	日光東照宮陽明門	明治31年(1898)	画布、油彩	高野光正氏
221	五百城文哉	富士山麓を行く荷馬		紙、水彩	高野光正氏
222	五百城文哉	富士山		紙、水彩	高野光正氏
223	川村清雄	黄海之戦	明治30年(1897)頃	画布、油彩	高野光正氏
224	高橋勝蔵	少女像	明治38年(1905)	板、油彩	高野光正氏
225	高橋勝蔵	伊豆下田	明治36年(1903)	紙、水彩	高野光正氏
226	高橋勝蔵	北米合衆国水師提督伯理上陸記念碑	明治34年(1901)	紙、水彩	高野光正氏
227	高橋勝蔵	葡萄	明治24年(1891)	画布、油彩	高野光正氏
228	渡辺豊洲	房州鴨川	明治36年(1903)	紙、水彩	高野光正氏
229	渡辺豊洲	東京の河口	明治35年(1902)	紙、水彩	高野光正氏
230	渡辺豊洲	隅田川の花見		紙、水彩	高野光正氏
231	渡辺豊洲	木曾の本山宿	明治36年(1903)	紙、水彩	高野光正氏
232	渡辺豊洲	湖畔の桜	明治38年(1905)	紙、水彩	高野光正氏
233	渡辺豊洲	農家の庭	明治37年(1904)	紙、水彩	高野光正氏
234	渡辺豊洲	山村の橋		紙、水彩	高野光正氏
235	渡辺豊洲	子守の少女	明治39年(1906)	紙、水彩	高野光正氏
236	渡辺豊洲	山岳溪流図		紙、水彩	高野光正氏
237	渡辺豊洲	川辺		紙、水彩	高野光正氏
238	渡辺豊洲	田子の浦		紙、水彩	高野光正氏
239	渡辺豊洲	漁船	明治39年(1906)	紙、水彩	高野光正氏
240	渡辺豊洲	大阪の天保山		紙、水彩	高野光正氏
241	渡辺豊洲	富士山		紙、水彩	高野光正氏
242	渡辺豊洲	海辺の夕		紙、水彩	高野光正氏
243	加藤英華	一新講		紙、水彩	高野光正氏
244	加藤英華	漁村の眺め		紙、水彩	高野光正氏
245	加藤英華	海の眺め		紙、水彩	高野光正氏
246	加藤英華	甘酒の棒手振		紙、水彩	高野光正氏
247	加藤英華	五重塔		紙、水彩	高野光正氏
248	加藤英華	五重塔		紙、水彩	高野光正氏
249	加藤英華	寺院の境内		紙、水彩	高野光正氏
250	加藤英華	伊豆修善寺小川之漁		紙、水彩	高野光正氏

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
251	加藤英華	湖畔の茶屋		紙、水彩	高野光正氏
252	加藤英華	香港の樓梯街		紙、水彩	高野光正氏
253	加藤英華	菊の畑		紙、水彩	高野光正氏
254	河合新蔵	富士		紙、水彩	府中市美術館
255	河合新蔵	桜		紙、水彩	高野光正氏
256	河合新蔵	漁船		紙、水彩	高野光正氏
257	河合新蔵	青梅街道		紙、水彩	高野光正氏
259	河合新蔵	富士山		紙、水彩	高野光正氏
260	丸山晚霞	千葉の渡船		紙、水彩	高野光正氏
261	丸山晚霞	千葉		紙、水彩	高野光正氏
262	丸山晚霞	銚子		紙、水彩	高野光正氏
263	丸山晚霞	宇田の浜辺		紙、水彩	高野光正氏
264	丸山晚霞	洗馬		紙、水彩	高野光正氏
265	丸山晚霞	大日堂		紙、水彩	高野光正氏
266	丸山晚霞	日光の杉並木		紙、水彩	高野光正氏
267	丸山晚霞	用賀村		紙、水彩	高野光正氏
268	丸山晚霞	花咲く庭園		紙、水彩	高野光正氏
269	丸山晚霞	花畑		紙、水彩	高野光正氏
270	丸山晚霞	川辺の宿		紙、水彩	高野光正氏
271	丸山晚霞	湖上の船		紙、水彩	高野光正氏
272	丸山晚霞	大原女		紙、水彩	高野光正氏
273	丸山晚霞	湖畔の茶屋		紙、水彩	高野光正氏
274	丸山晚霞	初夏の庭園	明治37年(1904)	紙、水彩	高野光正氏
275	丸山晚霞	菊の花咲く道		紙、水彩	高野光正氏
276	丸山晚霞	川辺の宿	明治36年(1903)	紙、水彩	高野光正氏
277	丸山晚霞	農村の初夏		紙、水彩	高野光正氏
278	丸山晚霞	川辺の宿		紙、水彩	高野光正氏
279	丸山晚霞	神苑	明治39年(1906)	紙、水彩	高野光正氏
280	吉田博	小丹波村		紙、鉛筆	高野光正氏
281	吉田博	中山道の上野豊岡		紙、鉛筆	高野光正氏
282	吉田博	武蔵鳥山村民家	明治35年(1902)	紙、水彩	高野光正氏
283	吉田博	水路		紙、水彩、鉛筆	高野光正氏
284	吉田博	武蔵御嶽の金井家	明治29年(1896)	紙、水彩	高野光正氏
285	吉田博	上野の前橋	明治35年(1902)	紙、鉛筆、水彩	高野光正氏
286	吉田博	秋祭		紙、水彩	高野光正氏
287	吉田博	橋を渡る子供たち		紙、水彩	高野光正氏
288	吉田博	海の見える風景		紙、水彩	高野光正氏
289	吉田博	和田の綱渡し		紙、水彩	高野光正氏
290	吉田博	観桜の茶屋		紙、水彩	高野光正氏
291	吉田博	仙桃山の門		紙、水彩	高野光正氏
292	吉田博	桜楼		紙、水彩	府中市美術館
293	吉田博	帆船		紙、水彩	高野光正氏
294	吉田博	観桜の茶屋		紙、水彩	高野光正氏
295	吉田博	富士山麓の五月幟		紙、水彩	高野光正氏
296	吉田博	門前町		紙、水彩	高野光正氏
297	吉田博	雨後の道	明治36年(1903)	紙、水彩	高野光正氏
298	吉田博	夜の灯		紙、水彩	高野光正氏
299	吉田博	霧の田園		紙、水彩	高野光正氏
301	吉田博	月下の水車小屋		紙、水彩	高野光正氏
302	吉田ふじを	鐘楼	明治36年(1903)頃	紙、水彩	府中市美術館
303	吉田ふじを	池畔の桃	明治36年(1903)	紙、水彩	高野光正氏
304	吉田ふじを	富士山	明治36年(1903)	紙、水彩	高野光正氏
305	吉田ふじを	池畔の花菖蒲	明治42年(1909)	紙、水彩	高野光正氏
306	中川八郎	大八車と馬		紙、水彩	高野光正氏
307	中川八郎	春日大社二之鳥居		紙、水彩	高野光正氏
308	中川八郎	水路		紙、パステル、水彩	高野光正氏
309	中川八郎	東照宮		紙、水彩	高野光正氏
310	中川八郎	泊船		紙、水彩	高野光正氏
311	中川八郎	春の雨		紙、水彩	府中市美術館
312	中川八郎	紀州田辺	明治40年(1907)	紙、水彩	高野光正氏
313	中川八郎	川辺の茶屋		紙、水彩	高野光正氏
314	中川八郎	風景(東京)		紙、水彩	府中市美術館

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
315	中川八郎	湖上の船	明治45年(1912)	画布、油彩	高野光正氏
316	中川八郎	神社の桜		紙、水彩	府中市美術館
317	中川八郎	境内の桜	明治38年(1905)	紙、水彩	高野光正氏
318	中川八郎	桜吹雪	明治38年(1905)	紙、水彩	高野光正氏
319	中川八郎	蓮池		紙、水彩	高野光正氏
320	中川八郎	雪の境内		紙、水彩	高野光正氏
321	中川八郎	雪林帰牧	明治30年(1897)	紙、木炭	高野光正氏
322	満谷国四郎	鳥居前		紙、水彩	高野光正氏
323	満谷国四郎	舟のある風景		紙、水彩	府中市美術館
324	満谷国四郎	宿場町の五月幟		紙、水彩	高野光正氏
325	満谷国四郎	洛東の陶器販売所		紙、水彩	高野光正氏
326	満谷国四郎	藤棚と茶屋		紙、水彩	高野光正氏
327	満谷国四郎	春日大社の巫女たち		紙、水彩	高野光正氏
328	満谷国四郎	宿場		紙、水彩	高野光正氏
329	満谷国四郎	農家の庭		紙、水彩	高野光正氏
330	満谷国四郎	傘をさす子守の少女(日暮里付近にて)		紙、水彩	高野光正氏
331	鹿子木孟郎	観桜		紙、水彩	高野光正氏
332	鹿子木孟郎	断崖上の小道		紙、水彩	高野光正氏
333	鹿子木孟郎	谷中総鎮守の諏方大明神		紙、水彩	高野光正氏
334	鹿子木孟郎	茶屋		紙、水彩	高野光正氏
335	鹿子木孟郎	上野不忍池		紙、水彩	高野光正氏
336	川島理一郎	神社の楼門		紙、水彩	高野光正氏
337	小笠原豊涯	日傘をさす少年	明治36年(1903)	絹、油彩	高野光正氏
338	永地秀太	宿場町	明治34年(1901)	画布、油彩	高野光正氏
339	永地秀太	神社の門	明治30年(1897)	画布、油彩	高野光正氏
340	磯部忠一	堀切菖蒲園	明治38年(1905)	紙、水彩	高野光正氏
341	石井柏亭	農村の鯉幟		紙、水彩	高野光正氏
342	石川寅治	漁船		紙、水彩	高野光正氏
343	小杉未醒	日光東照宮陽明門		紙、水彩	高野光正氏
344	小杉未醒	日光		紙、水彩	高野光正氏
345	前川千帆	農家の庭		紙、水彩	高野光正氏
346	前川千帆	水路のある町		画布、油彩	高野光正氏
348	石川欽一郎	春の茶店		紙、水彩	府中市美術館
349	石川欽一郎	街道		紙、水彩	高野光正氏
350	石川欽一郎	郊外を走る汽車		紙、水彩	高野光正氏
351	武内鶴ノ助	アンパレー		画布、油彩	高野光正氏
352	黒田清輝	野辺	明治27年(1894)	画布、油彩	高野光正氏
353	三宅克己	日光の宿場	明治29年(1896)	紙、水彩	高野光正氏
354	三宅克己	多摩川	明治41年(1908)	紙、水彩	府中市美術館
355	三宅克己	小田原		紙、水彩	高野光正氏
356	白滝幾之助	東海道の佐野	明治38年(1905)	紙、水彩	高野光正氏
357	大下藤次郎	相模の小倉	明治33年(1900)	紙、水彩	高野光正氏
358	大下藤次郎	藤棚と茶屋		紙、水彩	高野光正氏
359	大下藤次郎	小丹波		紙、水彩	高野光正氏
360	大下藤次郎	竹林の白百合	明治35年(1902)	紙、水彩	高野光正氏
361	大下藤次郎	蓮池		紙、水彩	高野光正氏
362	大下藤次郎	青梅の千ヶ瀬の庭園	明治34年(1901)	紙、水彩	高野光正氏
363	大下藤次郎	東京の庭園	明治35年(1902)	紙、水彩	高野光正氏
364	大下藤次郎	尾瀬	明治41年(1908)	紙、水彩	高野光正氏
特別展示					
1	小山正太郎	猿橋		紙、鉛筆	府中市美術館
2	鹿子木孟郎	府中 鶏争穀	明治26年(1893)	紙、鉛筆	府中市美術館
3	丸山晚霞	藤沢	明治31年(1898)	紙、淡彩、鉛筆	府中市美術館
4	吉田博	石橋		紙、淡彩、鉛筆	府中市美術館
5	吉田ふじを	河原と橋	明治35年(1902)	紙、淡彩、鉛筆	府中市美術館

2. 夏休みチャレンジ アートのたねをみつけよう!

[令和4年(2022)7月23日(土)－9月11日(日)]

開催趣旨：

夏休みの小中学生を主な対象として、「アートのたね」を探しながら作品の鑑賞を体験する展覧会を開催した。会場は「かたちのたねをみつけよう!」「いろのたねをみつけよう!」「きもちのたねをみつけよう!」の三部で構成した。それぞれのコーナーでは用意した三種のカードからお気に入りの一点を選んで自身のワークブックに差し込んでもらい、形をまねして描く、色をぬる、登場人物の気持ちを想像するなどの活動を通して、自分が選んだ作品を楽しみながら鑑賞することができる内容とした。最後の展示室は「アートの花咲く部屋」として、造作によって子どもの背丈ほどの花を模したオブジェを作り、そこに来館者が画用紙を花卉形に切り抜いたカードにお気に入りの作品について記入し貼り付けていくコーナーとした。家族やグループでそれぞれの感想を見せあったり、他の来館者の感想を読んで楽しんだりする姿が見られた。また一階のエントランスロビーには「ぬりえで模写!」として、正宗得三郎《白浜の波》をケース内に展示し、実物の作品を見ながら色鉛筆の模写に取り組むコーナーを設置した。夏休みの一日、美術館で楽しくゆったりと所蔵作品に親んでもらう機会となった。

観覧料：

一般400円(320円)、高校・大学生200円(160円)、小・中学生70円(50円)

* () 内は20名以上の団体料金

主催：府中市美術館

出品点数：38点

入場者数：8,588名(開催日数：44日、1日平均195.1名)

印刷物：

[ワークブック] B5判変形12頁、カード9種

[ポスター] B2判

[チラシ] A4判両面

出品作品

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
1	川村悦子	黄いろい花	平成29年(2017)	キャンバス、油彩	府中市美術館
2	富田有紀子	719	平成17年(2005)	キャンバス、油彩	府中市美術館
3	富田有紀子	723	平成17年(2005)	キャンバス、油彩	府中市美術館
4	長谷川繁	(タイトルなし)	平成16年(2004)	キャンバス、油彩	府中市美術館
5	牛島憲之	灯台のある島	昭和59年(1984)	キャンバス、油彩	府中市美術館
6	吉原治良	黒地に赤い円	昭和40年代(1965-1974)頃	キャンバス、油彩	府中市美術館
7	江田豊	印	昭和40年(1965)	キャンバス、アンダーペイント	府中市美術館
8	オノサトシノブ	作品	昭和45年(1970)	キャンバス、アクリル	府中市美術館
9	鶴岡政男	魚を突く人	昭和37年(1962)	紙、パステル	府中市美術館
10	鶴岡政男	ポコと友だち	昭和38年(1963)	キャンバス、油彩	府中市美術館
11	河野通勢	自画像	大正7年(1918)	紙、インク、コンテ	府中市美術館
12	川口起美雄	build a canal	平成29年(2017)	板、油彩、テンペラ	府中市美術館
13	植竹邦良	最終虚無僧	昭和49年(1974)	キャンバス、油彩	府中市美術館
14	襲嘯	21世紀への接近	昭和54年(1979)	紙、シルクスクリーン	府中市美術館
15	清水登之	チャイルド洋食店	大正13年(1924)	キャンバス、油彩	府中市美術館
16	牛島憲之	残夏	昭和21年(1946)	キャンバス、油彩	個人蔵 (府中市美術館寄託)
17	立石大河亞	登呂井富士	平成4年(1992)	キャンバス、油彩	府中市美術館
18	正宗得三郎	静物(スイカ・いちじく・プラム・ぶどう)	大正-昭和初期	キャンバス、油彩	府中市美術館
19	太田喜二郎	ベルギー風景	明治41-大正2年(1908-1913)	キャンバス、油彩	府中市美術館
20	曾谷朝絵	Washbowl	平成12年(2000)	パネル、油彩	府中市美術館
21	山田正亮	Work C.105	昭和37年(1962)	キャンバス、油彩	府中市美術館
22	末松正樹	しおざかい	昭和63年(1988)	キャンバス、油彩	府中市美術館
23	小山田二郎	夏の虫	昭和57年(1982)	紙、水彩	府中市美術館
24	椿貞雄	泰山木花	昭和31年(1956)*昭和32年加筆	板、油彩	府中市美術館
25	加納光於	風—寄り添うものⅢ	平成3-4年(1991-1992)	紙、カラーインクリア	府中市美術館
26	墨江武禅	月下山水図	江戸時代後期	絹本墨画	府中市美術館
27	海老原喜之助	スキーヤー	昭和5年(1930)	キャンバス、油彩	府中市美術館
28	山口長男	宙	昭和40年代(1965-1974)頃	合板、油彩	府中市美術館
29	桂ゆき	物価	昭和40年(1965)	キャンバス、油彩	府中市美術館
30	佐田勝	水芭蕉・立錦花	昭和45-54年(1970-1979)頃	板ガラス、油彩、金箔	府中市美術館
31	三木富雄	耳	昭和39-40年(1964-1965)頃	アルミニウム	府中市美術館
32	山本麻友香	Blue Pond	平成16年(2004)	キャンバス、油彩	府中市美術館

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
33	O JUN	此ノ兎-camellia	平成20年(2008)	キャンバス、油彩	府中市美術館
34	木下晋	正眼	平成21年(2009)	紙、鉛筆	府中市美術館
35	小山田二郎	手	昭和30-35年(1950年代後半)頃	合板、油彩	府中市美術館
36	金田実生	今日も何かが届けられる	平成14年(2002)	紙、油彩	府中市美術館
37	小西真奈	Awesome Rocks	平成19年(2007)	キャンバス、油彩	府中市美術館
38	正宗得三郎	白浜の波	昭和13年(1938)頃	キャンバス、油彩	府中市美術館

3. アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで

[令和4年(2022)9月23日(金祝)ー12月4日(日)]

開催趣旨：

世界に先駆けて産業革命を果たしたイギリス。19世紀にはその成果が人々の暮らしにまで行き渡っていた。多くの人がそれを謳歌する一方、急速な近代化に危機感を抱く人もいた。たとえば、評論家ラスキンは「機械が人間の労働から創造性を奪う」と警鐘を鳴らし、中世社会に理想を見出している。こうした思想に影響を受けたウィリアム・モリスは、建築家や画家の友人たちと力を合わせ、中世の職人たちがさながらに、壁紙や布、家具などを手作りし、販売に乗り出した。それは、大量生産では決して作れない、美術品にも負けないほど美しく上質な品々だった。モリスは生活に欠かせない日用品のあり方を問うこと通して、近代化で失われた自然を愛する心や手仕事の喜びを取り戻し、すべての人が生活の中で「美」を享受できる社会を実現しようとしたのである。彼が生み出したのは、単に部屋を飾る品ではなく、生活、生き方にまで通じる、強い信念に貫かれた「暮らしのデザイン」だった。

こうしたモリスの仕事に共感した多くのデザイナーや建築家たちが、「生活と美」を見つめて発展したのがアーツ・アンド・クラフツ運動である。その動きはモリスの在世中にイギリスで始まり、没後にも広がりを続け、ヨーロッパ全土、さらにはアメリカにまで及んだ。運動の展開はさきわめて多彩で、造形に影響を受けたり、思想を引き継ごうとしたりと、目指す方向はひとつではなかった。その多様さゆえ、時には機械化の推進などモリスとは正反対の方向へと向かうことさえあった。しかし、出発点は「身近な生活の中にこそ美が必要だ」と信じたモリスの信念である。本展は、モリスとイギリスのアーツ・アンド・クラフツ運動の生んだ作品を中心に、アメリカでの動向も加えて、その世界を紹介した。

観覧料：

一般900円(720円)、高校・大学生450円(360円)、小・中学生200円(160円)

* () 内は20名以上の団体料金

主催：府中市美術館、東京新聞

後援：プリティッシュ・カウンシル

協力：マナトレーディング株式会社

企画協力：株式会社プレントラスト

出品点数：168点

入場者数：32,302名(開催日数:63日、1日平均512.7名)

印刷物：

[図録] B5判168頁

[ポスター] B2判

[チラシ] A4判二つ折り4頁

関連イベント：

[展覧会講座]「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」講師：音ゆみ子(当館学芸員)10月30日、府中市生涯学習センター講堂(171名)

関連記事：

聞き手：音ゆみ子「栗原はるみさんに聞く 作る喜び 喜んでもらう幸せ 両方を感じて」東京新聞、2022年10月21日朝刊

福住廉「原点は友人との協働作業の楽しみに『アーツ・アンドー』展」伊勢新聞、2022年10月29日朝刊

福住廉「『アーツ・アンド・クラフツ』展 原点は友人との協働作業」北日本新聞、2022年10月29日朝刊

平林由梨「ウィリアム・モリス いちご泥棒 色あせぬ 生活の美」毎日新聞、2022年10月31日夕刊

福住廉「東京で『アーツ・アンド・クラフツ』展 デザイン、手仕事の歴史紹介 原点は協働作業の喜び」岩手日報、2022年11月1日朝刊

福住廉「機械生産に対する反骨精神 東京で『アーツ・アンド・クラフツ』展」山陰中央新報、2022年11月1日朝刊

福住廉「『アーツ・アンド・クラフツとデザイン』展 原点は協働作業の楽しみに」大阪日日新聞、2022年11月3日朝刊

福住廉「『アーツ・アンド・クラフツとデザイン』展 協働作業の楽しみ 原点」南日本新聞、2022年11月4日朝刊

福住廉「『アーツ・アンドー』展 協働の快楽 ものづくりの原点」熊本日日新聞、2022年11月8日朝刊

福住廉「協働作業の快楽が原点」中国新聞、2022年11月8日朝刊

福住廉「都内で『アーツ・アンド・クラフツとデザイン』展 協働作業の楽しみ 原点」静岡新聞、2022年11月8日夕刊

音ゆみ子「アーツ・アンド・クラフツとデザイン上 ウィリアム・モリス『格子垣』」東京新聞、2022年11月9日朝刊

福住廉「協働作業の快楽が原点ー『アーツ・アンドー』展」高知新聞、2022年11月10日朝刊

音ゆみ子「アーツ・アンド・クラフツとデザイン中 ウィリアム・モリス『いちご泥棒』」東京新聞、2022年11月10日朝刊

音ゆみ子「アーツ・アンド・クラフツとデザイン上 グスタフ・スティックリー『スピンドル・サイド・チェア』」東京新聞、2022年11月11日朝刊

福住廉「『アーツ・アンド・クラフツとデザイン』展 原点は協働作業の楽しみ」下野新聞、2022年11月26日朝刊

出品作品

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	製造業者	所蔵
1	ウィリアム・モリス(1834~1896)	格子垣	1864年	紙、木版、色刷り	モリス・マーシャル・フォークナー商会	個人蔵
2	ウィリアム・モリス	果実あるいは柘榴	1866年頃	紙、木版、色刷り	モリス・マーシャル・フォークナー商会	個人蔵
3	おそらくジョージ・ギルバート・スコット(1811~1878)	インディアン	1868~1870年	紙、木版、色刷り	モリス・マーシャル・フォークナー商会	個人蔵
4	ウィリアム・モリス	マリーゴールド	1875年	紙、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
5	ウィリアム・モリス	るりはこべ	1876年	紙、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
6	ウィリアム・モリス	ひまわり	1879年	紙、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	製造業者	所蔵
7	ケイト・フォークナー(1841~1898)	マロウ	1879年	紙、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
8	メイ・モリス(1862~1938)	すいかずら	1883年	紙、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
9	ウイリアム・モリス	ガーデン・チューリップ	1885年	紙、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
10	ウイリアム・モリス	フリレリイ(ばいも)	1885年	紙、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
11	ウイリアム・モリス	柳の枝	1887年	紙、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
12	ウイリアム・モリス	やぐるまぎく	1892年	紙、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
13	ジョン・ヘンリー・ダール(1859/60~1932)	ゴールデン・リリー	1899年	紙、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
14	ウイリアム・モリス	孔雀と竜	1878年	ウール、ジャカード手織り	モリス商会	個人蔵
15	ウイリアム・モリス	兄弟うさぎ(白)	1882年	木綿、インディゴ抜染、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
16	ウイリアム・モリス	いちご泥棒	1883年	木綿、インディゴ抜染、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
17	ウイリアム・モリス	イーヴンロード	1883年	木綿、インディゴ抜染、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
19	ウイリアム・モリス	メドウェイ	1885年	木綿、インディゴ抜染、木版、色刷り	モリス商会	個人蔵
20	トーマス・ウォードル(1831~1909)	二頭のライオン	1885年頃	リネン、木版、色刷り	ウォードル商会	個人蔵
21	ジョン・ヘンリー・ダール	チャーウェル	1887年	別珍、プリント	モリス商会	個人蔵
22	ジョン・ヘンリー・ダール	斜文トレイル	1893年頃	ウール、ジャカード手織り	モリス商会	個人蔵
23	ジョン・ヘンリー・ダール	〈栗鼠〉または〈狐と葡萄〉	1898年頃	ウール、ジャカード手織り	モリス商会	個人蔵
24	ジョン・ヘンリー・ダール	エルムコート	1900年頃	ウール・モヘア、ジャカード手織り	モリス商会	個人蔵
25	ジョン・ヘンリー・ダール	花づくし	1912~1914年	ウール、ジャカード手織り	モリス商会	個人蔵
26	ジョン・ヘンリー・ダール	リスとナイチンゲール	1895年頃	シルク・ダマスク織りにシルクとサテンの刺繍	モリス商会	個人蔵
27	ウイリアム・モリス	暖炉の衝立《花の鉢》	1890年頃	マホガニー枠、刺繍パネル	モリス商会	個人蔵
28	メイ・モリス	刺繍パネル	1890年頃	シルク、マホガニー枠	モリス商会	個人蔵
29	メイ・モリス	刺繍パネル	1890年頃	シルク	モリス商会	個人蔵
30		キャビネット	1900年頃	マホガニー、刺繍パネル	モリス商会	個人蔵
31	ジョージ・ワシントン・ジャック(1855~1931)	サーヴィル肘掛け椅子	1890年頃	マホガニー、布・ジャカード手織り、ウール(斜文トレイル)	モリス商会	個人蔵
32	おそらくフィリップ・ウェップ(1831~1915)	サセックス・シリーズの肘掛け椅子	1860年頃	黒檀色仕上げのブナ材、蔦草座	モリス・マーシャル・フォークナー商会	個人蔵
33	おそらくフォード・マドックス・ブラウン(1821~1893)	サセックス・シリーズの丸椅子	1865年頃	黒檀色仕上げの木材、蔦草座	モリス・マーシャル・フォークナー商会	個人蔵
34		ライティングデスク	1890年頃	オーク	モリス商会(刻印)	個人蔵
35	ウイリアム・モリス	ユートピア便り	1892年	ケルムスコット・プレス		個人蔵
36	ダンテ・ゲイブリエル・ロッセティ(デザイン:ウイリアム・モリス)	ソネットと抒情詩	1893年	ケルムスコット・プレス		個人蔵
37	ウイリアム・モリス	アミとアミールの友情	1894年	ケルムスコット・プレス		個人蔵
38	ウイリアム・モリス	クースタンス王と異国の物語	1894年	ケルムスコット・プレス		個人蔵
39	ウイリアム・モリス	サミュエル・テイラー・コウルリッジ詩選	1896年	ケルムスコット・プレス		個人蔵
40	ウォルター・クレイン(1845~1915)	夏	1870年	紙、ペンとインク、素描		個人蔵
41	ウォルター・クレイン	ミュージック(2枚組)	1870年	紙、色刷り		個人蔵
42	ウォルター・クレイン	孔雀	1860年代	紙、木版、色刷り		個人蔵
43	ウォルター・クレイン	オレンジの樹	1886年	紙、木版、色刷り	ジェフリー社	個人蔵
44	チャールズ・フランシス・アンズリー・ヴォイジー(1857~1941)	ふくろう	1899年	紙、木版、色刷り	エセックス社	個人蔵
45	C・F・A・ヴォイジー	小鳥と花「エセックス・No.A.14」	1907年頃	紙、木版、色刷り	エセックス社	個人蔵
46	ルイス・フォーマン・デイ(1845~1910)	花と葉		木綿、プリント	ターンブル&ストックデール	個人蔵
47	ルイス・フォーマン・デイ	ニュードット	1898年	木綿、プリント	ターンブル&ストックデール	個人蔵
48	C・F・A・ヴォイジー	ポピー	1895年頃	木綿、プリント	G・P&J・ペーカー社	個人蔵
49	C・F・A・ヴォイジー	花	1900年頃	モヘアブラシ天、プリント		個人蔵
50	C・F・A・ヴォイジー	小鳥	1918年頃	木綿、プリント	モートン・サンダー・ファブリック社	個人蔵
51	ウォルター・クレイン	シルク・ダマスクのドイリー	1893年	シルク・ダマスク	ジョン・ウイリソン&サンズ	個人蔵
52	ウイリアム・アーサー・スミス・ベンソン(1854~1924)	卓上ランプ	1890年頃	真鍮、ワセリンガラス	W・A・S・ベンソン社	個人蔵
53	ウイリアム・アーサー・スミス・ベンソン	卓上ランプ		真鍮、ワセリンガラス	W・A・S・ベンソン社	個人蔵
54	ウイリアム・アーサー・スミス・ベンソン	卓上ランプ		真鍮、ワセリンガラス	W・A・S・ベンソン社	個人蔵
55	ウイリアム・アーサー・スミス・ベンソン(ガラスジェームズ・ウエル・アンド・サンズ)	ペンダントライト	1898年頃	真鍮、すりガラス	W・A・S・ベンソン社	個人蔵
56	ウイリアム・アーサー・スミス・ベンソン	卓上ランプ	1900年頃	絹、銅、真鍮	W・A・S・ベンソン社	個人蔵
57	ウイリアム・アーサー・スミス・ベンソン	ケトルとスタンド	1900年頃	銅、真鍮、銅	W・A・S・ベンソン社	個人蔵
58	ウイリアム・モリス	ポピー	1870年代	タイル・パネル	モリス商会	個人蔵
59	おそらくフィリップ・ウェップ	ロングデン	1870年頃	タイル・パネル	モリス・マーシャル・フォークナー商会	個人蔵
60	ケイト・フォークナー	牡丹	1880年頃	タイル	モリス商会	個人蔵
61	ウイリアム・ド・モーガン(1839~1917)	バラと格子	1872年頃	タイル・パネル	ド・モーガン工房	個人蔵
62	ウイリアム・ド・モーガン	花と葉飾り		タイル・パネル		個人蔵
63	ウイリアム・ド・モーガン	ペルシアン・タイル	1882~1888年	タイル		個人蔵
64	ウイリアム・ド・モーガン	ベッドフォード・パーク・アネモネ	1882~1888年	タイル		個人蔵
65	ウイリアム・ド・モーガン	BBB・イエロー	1898年	タイル	サンズ・エンド・ポトリー	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	製造業者	所蔵
66	ウィリアム・ド・モーガン	フラム	1892～1907年	タイル	サンズ・エンド・ポトリー	個人蔵
67	ルイス・フォーマン・デイ	孔雀の羽根		タイル・パネル	ビルキントン・タイル・アンド・ポトリー社	個人蔵
68	C・F・A・ヴォイジー	魚と樹葉	1902年頃	タイル・パネル	ビルキントン・タイル・アンド・ポトリー社	個人蔵
69	C・F・A・ヴォイジー	樹葉	1902年頃	タイル	ビルキントン・タイル・アンド・ポトリー社	個人蔵
70	C・F・A・ヴォイジー	葉と花	1902年頃	タイル	ビルキントン・タイル・アンド・ポトリー社	個人蔵
71	おそらくC・F・A・ヴォイジー	花と葉	1903年以後	2枚組タイル・パネル	J・C・エドワーズ社(ルアボン)	個人蔵
72	ウォルター・クレイン	『社会主義のための原画集:社会主義・労働運動のための絵と詩 1886-1896』	1896年			個人蔵
73	ウォルター・クレイン	『幼子のオペラ』	1877年	カラー挿絵本	フレデリック・ウォーン社	個人蔵
74	ウォルター・クレイン	『夏の女王、あるいは百合と薔薇の騎馬試合』	1891年	カラー挿絵本	カッセル社	個人蔵
75	ウォルター・クレイン	『1898年イースターアート』	1898年	カラー挿絵本	J.S.ヴァーチュー社	個人蔵
76	ウォルター・クレイン	『花のファンタジー 古きイングランドの庭にて』	1899年	カラー挿絵本	ハーバー・アンド・ブラザーズ	個人蔵
77	ウォルター・クレイン	『フロラの饗宴』	1899年	カラー挿絵本	カッセル社	個人蔵
78	表紙デザイン:C・F・A・ヴォイジー	『ステューディオ誌』創刊号	1893年			個人蔵
79	リンジー・フリップ・バターフィールド(1869-1948)	チュールリップとリリー	1896年頃	絹とウールの二重織り	アレクサンダー・モートン商会	個人蔵
80		ポピー	1885年頃	プリント、ベルベット	シルヴァー・スタジオ	個人蔵
81	おそらくハリー・ナッバー(1860-1930)	カーテン布地	1890年代	プリント、木綿	シルヴァー・スタジオ	個人蔵
82		絹織物	1900年頃	絹	おそらくシルヴァー・スタジオ	個人蔵
83		ジャカード織り絹布地	1900年頃	ジャカード・絹、手織り	おそらくシルヴァー・スタジオ	個人蔵
84		ジャカード織り綿布地	1900年頃	木綿	おそらくシルヴァー・スタジオ	個人蔵
85	ジョージ・フォークナー・アーミテージ(1849-1937)	シルケット加工布地	1900年頃	木綿	アーサー・H・リー商会	個人蔵
86		リバティ・テキスタイル		別珍	リバティ商会	個人蔵
87		リバティ・テキスタイル		ウール	リバティ商会	個人蔵
88		リバティ・テキスタイル		木綿	リバティ商会	個人蔵
89	フリップ・クリセット(1817-1913)	肘掛け椅子	1890-1913年頃	トリネコ材、蔦草座		個人蔵
90	アーネスト・ギムソン(1864-1919)	ビーデイル・チェア	1910年代	オーク材、蔦草座		個人蔵
91	ゴードン・ラッセル(1892-1980)	肘掛け椅子	1920年代頃	イチイ材		個人蔵
92		テーブル	19世紀後半頃			個人蔵
93	英国アーツ&クラフツ作家	ミュージック・キャビネット	1890年頃	ブナ材		個人蔵
94	チャールズ・ロバート・アシュビー(1863-1942)	蓋付きマフィン銀皿	1900年頃	銀メッキ、ラピスラズリ	ギルド・オブ・ハンディクラフト	個人蔵
95	チャールズ・ロバート・アシュビー	銀製ポーリング	1907年	銀、緑玉髄	ギルド・オブ・ハンディクラフト	個人蔵
96	チャールズ・ロバート・アシュビー	緑のガラスと銀製の塩入れ		銀、ガラス、緑玉髄	ギルド・オブ・ハンディクラフト	個人蔵
97	チャールズ・ロバート・アシュビー	シール・トップ・スプーン	1927年	銀	ギルド・オブ・ハンディクラフト	個人蔵
98	チャールズ・ロバート・アシュビー	コーヒーポットとミルク、砂糖入れ	1944-1945年	銀	ギルド・オブ・ハンディクラフト	個人蔵
99	アルバート・エドワード・ジョーンズ(1878-1954)	銀製宝石箱	1900年頃	銀、エナメル		個人蔵
100	アーチボールド・ノックス(1864-1933)	ピューターとエナメルの置時計(マントルピース用の)		ピューター、エナメル	リバティ商会	個人蔵
101	アーチボールド・ノックス	ウェールズのミルク用水差し	1904年頃	銀	リバティ商会	個人蔵
102	アーチボールド・ノックス	ピューターとエナメルの3点組ティーセット	1900年頃	ピューター、エナメル	リバティ商会	個人蔵
103	アーチボールド・ノックス	ピューターのティーとコーヒーセット	1903年頃	ピューター	リバティ商会	個人蔵
104	エドワード・スペンサー(1872-1938)	銀ボウル	1915年頃	銀メッキ		個人蔵
105	オマー・ラムステン(1873-1939)	銀スプーン	1922年	銀	ジェームズ・ディクソン・アンド・サンズ	個人蔵
106		銀バターナイフ	1910年頃	銀メッキ	ジェームズ・ディクソン・アンド・サンズ	個人蔵
107	バーナード・インストーン(1891-1987年)	銀、エナメルのコーヒースプーンセット	1924、1957年	銀、エナメル		個人蔵
108	ジョン・ピアソン(1885-1910)	銅小箱	1904年	銅		個人蔵
109	おそらくジョン・ピアソン	銅緑の鏡	1890年頃	銅		個人蔵
110	おそらくハリー・パウエル(1853-1922)	ゴブレット花器		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ、ホワイトフライアーズ	個人蔵
111	おそらくハリー・パウエル	ゴブレット花器		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ、ホワイトフライアーズ	個人蔵
112	おそらくハリー・パウエル	タツア(脚付きカップ)		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ、ホワイトフライアーズ	個人蔵
113		ストローオパール・ガラス花器		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ、ホワイトフライアーズ	個人蔵
114	T.G.ジャクソン	デカンタ(ペア)		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ、ホワイトフライアーズ	個人蔵
115	ウィリアム・ボトラー	織条模様のボウル器		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ	個人蔵
116	ウィリアム・ボトラー	織条模様のボウル器		ガラス	ジェームズ・パウエル・アンド・サンズ	個人蔵
117		カットガラスの扇型花器		ガラス	ジョン・ウォルシュ・ウォルシュ	個人蔵
118		ワセリンガラス花器		ガラス	ジョン・ウォルシュ・ウォルシュ	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	製造業者	所蔵
119		扇型グリーン花器		ガラス	ジョン・ウォルシュ・ウォルシュ	個人蔵
120		ボウル器		ガラス	モンクリーフのモンアート、スコットランド	個人蔵
121		銀とエナメルのプレスレット		銀、エナメル	マール・ベネット商会	個人蔵
122		ペンダント	1900年頃	銀、アメジストとパールドロップ ネックレス	マール・ベネット商会	個人蔵
123	アーチボールド・ノックス	銀とエナメルのブローチ	1903年頃	銀、手彩エナメル	リバティ商会	個人蔵
124	アーチボールド・ノックス	銀とエナメルのブローチ	1903年頃	銀、手彩エナメル	リバティ商会	個人蔵
125		銀とエナメルのバックル	1908年	銀、エナメル	リバティ商会	個人蔵
126	ジェームズ・クロマー・ワット (1862~1940)	ホワイトメタルのエナメル・ペンダント	1920年頃	ホワイトメタル、エナメル	リバティ商会	個人蔵
127	おそらくエドワード・スベンサー	銀とムーンストーンネックレス		銀、ムーンストーン	アーティフィサーズ・ギルド	個人蔵
128	チャールズ・ホーナー(1837~1896)	銀とエナメルのペンダント・ネックレス		銀、エナメル		個人蔵
129		銀とエナメルのペンダント・ネックレス	1909年	銀、エナメル	ペンドルトン・アンド・サンズ	個人蔵
130		セルテック・リバイバル・ペナニユラ・ブローチ	20世紀初期	ワイヤーワーク・カボションカット の石		個人蔵
131		セルテック・リバイバル・ペナニユラ・ブローチ	20世紀初期	ワイヤーワーク・ガーネット		個人蔵
132		銀とエナメルのブローチ	1905年頃	銀、エナメル		個人蔵
133	ジェームズ・フェントン	銀とエナメルのブローチ	1907年	銀、エナメル		個人蔵
134	シビル・ダンロップ(1889~1968)	銀とアメジストとペリドットのプレスレット		銀、アメジストとペリドット		個人蔵
135	マリイ・ソウ様式(1876~1953)	グラスゴー派・銀の手彩ブローチ	1910年頃	銀、磁器		個人蔵
136	挿絵:ジェシー・マリオン・キング (1875~1949)	『エレーン・国王牧歌』	1903年		ジョージ・ラウトリッジ・アンド・サンズ出版社	個人蔵
137	挿絵:ジェシー・マリオン・キング	『グイネヴィア・国王牧歌』	1903年		ジョージ・ラウトリッジ・アンド・サンズ出版社	個人蔵
138	表紙:ジェシー・マリオン・キング	『ロビンフッドの人生の冒険』	1904年			個人蔵
139	表紙デザイン:ジェシー・マリオン・キング	『若者のための教訓的な物語』	1904年			個人蔵
140	ジェシー・マリオン・キング	『ステューディオ誌』クリスマス増刊号	1913年			個人蔵
141	グスタフ・スティックリー (1858~1942)	スピンドル・サイド・チェア	1907~1910年頃		ザ・クラフツマン・ワークショップ	個人蔵
142	レオポルド・アンド・ジョン・ジョージ・スティックリー	ロッキング・チェア		オーク、皮革	L&J・G・スティックリー	個人蔵
143		スピンドル・テーブル			スティックリー・ブラザーズ	個人蔵
144		机と椅子	1912~1924年	オーク、銅	L&J・G・スティックリー	個人蔵
145		8枚パネルのミカランプ	1910年頃	ガラス、銅	ザ・ハンデル・カンパニー	個人蔵
146		テーブルランプ	1910年頃	ブロンズ、ファブリル・ガラス	ティファニー・スタジオ	個人蔵
147		三輪のリイの金色ランプ	1901~1925年	金メッキ・ブロンズ、オパール色の 光沢ガラス	ティファニー・スタジオ	個人蔵
148		脚のあるグラス	1905年頃	ファブリル・ガラス	ティファニー・スタジオ	個人蔵
149		卓上用ピクチャー・フレーム		金メッキ・ブロンズ、スラグガラス	ティファニー・スタジオ	個人蔵
150		ブドウのつるに覆われたインク壺		ブロンズ、ガラス	ティファニー・スタジオ	個人蔵
151		バインニードル模様のペン置き		ブロンズ、ガラス	ティファニー・スタジオ	個人蔵
152		くもの巣模様のペン皿		ブロンズ、ガラス	ティファニー・スタジオ	個人蔵
153		デスク・カレンダー		ブロンズ、ガラス	ティファニー・スタジオ	個人蔵
154		バインニードル模様のスタンプボックス		金メッキ・ブロンズ、ガラス	ティファニー・スタジオ	個人蔵
155		フクロウのブックエンドと吸取紙の台		銅	ザ・ロイクロフターズ	個人蔵
156		バーベチュアル・カレンダー(万年暦)		銅	ザ・ロイクロフターズ	個人蔵
157	フランク・ロイド・ライト(1867~1959)	マーティン邸のステンドグラス・ドア	1904年頃	鉛、ガラス	リンデングラス社	個人蔵
158	フランク・ロイド・ライト	オスカー・ステファンス邸のステンドグラス・窓	1909年	鉛、ガラス、		個人蔵
159	グスタフ・スティックリー	『ザ・クラフツマン誌』vol.3 10月号	1902年 1902年			個人蔵
160	グスタフ・スティックリー	『ザ・クラフツマン誌』vol.5 3月号	1904年 1904年			個人蔵
161	グスタフ・スティックリー	『ザ・クラフツマン誌』vol.6 6月号	1904年 1904年			個人蔵
162	グスタフ・スティックリー	『ザ・クラフツマン誌』vol.6 7月号	1904年 1904年			個人蔵
163	グスタフ・スティックリー	『ザ・クラフツマン誌』vol.23 3月号	1913年 1913年			個人蔵
164	グスタフ・スティックリー	『ザ・クラフツマン誌』vol.24 7月号	1913年 1913年			個人蔵
165	エルバルト・ハバード(1856~1915)	『リトルジャーニーズ・英国の著作者 のもとへ:ジョン・ミルトン』	1899年		ロイクロフト・プレス	個人蔵
166	エルバルト・ハバード	『リトルジャーニーズ・偉大な音楽家 のもとへ:ジュゼッペ・ヴェルディ』	1901年		ロイクロフト・プレス	個人蔵
167	エルバルト・ハバード	『リトルジャーニーズ・偉大な教育者 のもとへ:アルフレッド大王』	1908年		ロイクロフト・プレス	個人蔵
168	エルバルト・ハバード	『リトルジャーニーズ・偉大な実業家 のもとへ:A.T.ステュワート』	1909年		ロイクロフト・プレス	個人蔵

4. 諏訪敦 「眼窩裏の火事」

[令和4年(2022)12月17日(土)ー令和5年(2023)2月26日(日)]

開催主旨：

諏訪敦(昭和43年(1967)北海道生まれ)は、緻密で再現性の高い画風で知られる写実画家である。諏訪はしばしば、過去の出来事や亡き人の肖像など、制作の時点ですでに視ることの適わなくなった事象を、丹念な取材と重層的な思索を重ねることで再構築し絵画化している。それは、眼前の物事を忠実に写し取るという一般的な写実のイメージとは、大きく異なる。その一方で、あたかも実在するかのような説得力を持って物事を視覚化するという、写実の特性を踏まえたものでもある。この展覧会では、諏訪が近年取り組んでいるいくつかのプロジェクトを取り上げ、「写実絵画」の可能性を拡張し探究し続けるこの画家の特異性を掘り下げた。「第1章 棄民」では、病床の父に取材した《father》から、終戦直後に満州の難民収容所で病没した祖母をモチーフにした《HARBIN 1945 WINTER》まで、諏訪が家族を描いた作品群を紹介した。ここでは、取材中に制作された関連作品や制作過程を伝える映像もともに展示し、その特徴的な作画プロセスの一端を示した。「第2章 静物画について」では、主にコロナ禍のなかで制作された静物画に焦点をあてた。これらの作品は、西洋絵画や高橋由一の静物画を引用したものも多く、静物画の歴史に対する諏訪ならではの解釈を垣間見せる。「第3章 わたしたちはふたたびであう」は、遺族から依頼された既に亡くなった家族の肖像や、若いころから繰り返し取材し描いてきた舞踏家・大野一雄の肖像によって構成した。絵画を経由して対象との再会を果たす、ということをやテーマに、諏訪はこれらの作品を制作している。会期中には17,000人を超える多数の入場者を迎える一方で、新聞・雑誌・テレビ他で数多くの批評が重ねられるなど、大きな反響をあつめる企画であった。また、川口隆夫による2時間に及ぶ本格的なパフォーマンス公演など、関連事業も充実した内容であった。

観覧料：

一般700円(560円)、高校生・大学生350円(280円)、小・中学生150円(120円)* ()内は20名以上の団体料金

主催：府中市美術館

特別協力：成山画廊

協力：NPO法人ダンスアーカイヴ構想、東屋

出品点数：57点

入場者数：17,833人(開館日数：57日、1日平均312.8名)

印刷物：

[図録] A4判184頁

[ポスター] B2判

[チラシ] A4判二つ折り4頁

関連イベント：

[トークイベント]「山田五郎×諏訪敦 クロストーク」スピーカー：諏訪敦(画家)、山田五郎(編集者、評論家)、1月7日(土)、市民ギャラリー(107名、事前申込制)

[パフォーマンス]「川口隆夫 ライブパフォーマンス『大野一雄について』」演者：川口隆夫(パフォーマー)、1月28日(土)、エントランスロビー(121名)、主催：府中市美術館、NPO法人ダンスアーカイヴ構想

[トークイベント]「藝術探検隊喫茶室」スピーカー：諏訪敦(画家)、猿山

修(デザイナー、ギムレイアウトスタジオ主宰)、森岡督行(森岡書店 銀座店 店主)、伊熊泰子(編集者、探検相談役)、2月18日(土)、創作室(15名、事前申込制)

関連記事：

永田晶子「諏訪敦『眼窩裏の火事』(府中市美術館)レポート。『みること、あらかずこと』を問い続ける絵画 不可視の存在を精緻に描く」TOKYO ART BEAT、2022年12月20日公開

「土方明司の知りたい美のヒミツ 第32回 諏訪敦(画家)」『月刊美術』2023年1月号、2022年12月20日刊行

Ryutaro Hayashi「写実絵画と戦う男。諏訪敦さん(画家)が描き出すもの」Esquire、2022年12月27日公開

「ART EXHIBITION NAVI Column③ 今号の“原寸”美術館作品の全貌はこちら! 諏訪敦『依代』」『和楽』2023年2・3月号、2022年12月28日刊行

宮坂早苗「諏訪敦さん東京で展覧会 府中市美術館3章で構成した57点 2011年諏訪市美術館で作品展」長野日報、2023年1月12日朝刊

小田原のどか「今月の展覧会 諏訪敦「眼窩裏の火事」」『Numéro TOKYO』2023年3月号、2023年1月27日刊行

住吉智恵「ART 写実を超えた画力が描き出す、目では捉えきれない対象の本質「諏訪敦『眼窩裏の火事』」『PEN』2023年3月号No.538、2023年1月27日刊行

平林由梨「評展覧会 諏訪敦 眼窩裏の火事 取材が支えるリアル」毎日新聞、2023年2月1日夕刊

「諏訪敦『眼窩裏の火事』開催中 府中市美術館」日本教育新聞、2023年2月6日刊行

大西若人「画家・諏訪敦 大規模個展 写実に宿る積み重ねた「時間」故人に視線合わせ丹念に取材 人物・生物…本質を問い続けて」朝日新聞、2023年2月7日夕刊

村田真「ウェブ美術 諏訪敦「眼窩裏の火事」見えない向こう側まで描く」北海道新聞、2023年2月17日夕刊

「インタビュー諏訪敦 絵画を通して何度でも出会う」『美術の窓』3月号、2023年2月20日刊行

小田原のどか「ぐるぐるキョロキョロ展覧会記 第32回「物事のありのまま」を真に描く 諏訪敦「眼窩裏の火事」」『芸術新潮』3月号、2023年2月25日刊行

対談 諏訪敦×山本聡美「第2特集 諏訪敦 死者たちの声を描く 棄民と九相図と語り継がれる物語」『芸術新潮』3月号、2023年2月25日刊行

平井倫行「でも、これからやらなければならないことを 可視性と意識(記憶)の射程を思考する画家の「眼」を論ずる公式展覧会図録」図書新聞3568号、2023年4月8日刊行

上村麻里恵「府中市美術館『諏訪敦 眼窩裏の火事』一作品と展示の形式から」Hokkaido Art Forum、2023年5月16日公開

出品作品

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
1-1	諏訪敦	father	平成8年(1996)	パネル、油彩、テンペラ	佐藤美術館寄託
1-2	諏訪敦	father / 14 JUL	平成11年(1999)	紙、鉛筆	作家蔵
1-3	諏訪敦	father / 15 JUL	平成11年(1999)	紙、色鉛筆	作家蔵
1-4	諏訪敦	gaze	平成11年(1999)/平成22年(2010)	トレーシングペーパー、グラフ用紙、鉛筆、油彩、インクジェットプリント	作家蔵
1-5	諏訪敦	こども	平成20年(2008)	白亜地パネル、鉛筆、水彩	作家蔵
1-6	諏訪敦	つまさき	平成21年(2009)	白亜地パネル、鉛筆、水彩	作家蔵
1-7	諏訪敦	こども	平成21年(2009)	紙、鉛筆	作家蔵
1-8	諏訪敦	棄民	平成23-25年(2011-13)	キャンバス、パネル、油彩	個人蔵
1-9	諏訪敦	鶴岡の少年(諏訪豊)	平成24年(2012)/令和3年(2021)	便箋、鉛筆	作家蔵
1-10	諏訪敦	鶴岡の少年(石原莞爾)	平成24年(2012)/令和3年(2021)	便箋、鉛筆	作家蔵
1-11	諏訪敦	哈爾濱桃山小学校(現・哈爾濱市兆麟小学校)	平成24年(2012)	キャンバス、パネル、ミクストメディア	作家蔵
1-12	諏訪敦	HARBIN 1945 AUTUMN	平成25年(2013)/令和3年(2021)	パネル、鉛筆、顔料、水彩	個人蔵
1-13	諏訪敦	日本人は樹を植えた	平成26年(2014)	紙、パネル、ミクストメディア	個人蔵
1-14	諏訪敦	Untitled(未完成)	平成29年(2017)/令和3-4年(2021-22)	キャンバス、パネル、油彩	作家蔵
1-15	諏訪敦	HARBIN 1945 WINTER(Esquisse)	平成27年(2015)	段ボール、墨	作家蔵
1-16	諏訪敦	HARBIN 1945 WINTER(Esquisse)	平成27-28年(2015-16)	グラフ用紙、鉛筆	個人蔵
1-17	諏訪敦	女性顔部	平成27年(2015)/令和3年(2021)	パネル、鉛筆	作家蔵
1-18	諏訪敦	HARBIN 1945 WINTER	平成27-28年(2015-16)	キャンバス、パネル、油彩	広島市現代美術館
1-19	諏訪敦	依代	平成28-29年(2016-17)	紙、パネル、ミクストメディア	個人蔵
1-20	諏訪敦	曼珠沙華	平成29年(2017)	白亜地パネル、油彩	個人蔵
1-21	諏訪敦	取材資料一式			作家蔵
2-1	諏訪敦	荷風	平成20年(2008)	白亜地パネル、鉛筆、墨	個人蔵
2-2	諏訪敦	不在	平成27年(2015)	キャンバス、パネル、油彩	個人蔵
2-3	諏訪敦	東と西	平成27年(2015)	キャンバス、パネル、油彩	個人蔵
2-4	諏訪敦	水を注ぎ、満ちし、冷やす	平成27年(2015)	キャンバス、パネル、油彩	鶴の来る町ミュージアム
2-5	諏訪敦	Phenomenon	令和2年(2020)	白亜地パネル、油彩	個人蔵
2-6	諏訪敦	Chromatophore	令和2-4年(2020-22)	白亜地パネル、油彩	作家蔵
2-7	諏訪敦	柿図	令和2年(2020)	白亜地パネル、油彩	個人蔵
2-8	諏訪敦	表面張力	令和2年(2020)	白亜地パネル、油彩	個人蔵
2-9	諏訪敦	岩戸へ	令和2年(2020)	白亜地パネル、油彩	個人蔵
2-10	諏訪敦	AMATERASU	令和2年(2020)	プラチナ29g	作家蔵
2-11	諏訪敦	まるさんかくしかく	令和2-4年(2020-22)	キャンバス、油彩	作家蔵
2-12	諏訪敦	そこにあるはずの	令和2年(2020)	紙、鉛筆、水彩	個人蔵
2-13	諏訪敦	目の中の火事	令和2年(2020)	白亜地パネル、油彩	個人蔵
2-14	諏訪敦	眼窩裏の火事	令和2-4年(2020-22)	白亜地パネル、油彩	作家蔵
2-15	諏訪敦	薔薇	令和3年(2021)	白亜地パネル、油彩	作家蔵
3-1	諏訪敦	身長165cm 体重50kgの上半身	平成29年(2017)	石膏、植物繊維	作家蔵
3-2	諏訪敦	ふたり	平成16年(2004)/令和4年(2022)	パネル、ミクストメディア	作家蔵
3-3	諏訪敦	峯村リエ	平成22-23年(2010-11)	紙、パネル、鉛筆	作家蔵
3-4	諏訪敦	珠取海士	平成25-28年(2013-16)	紙、パネル、鉛筆、墨	個人蔵
3-5	諏訪敦	ジャーナリスト 佐藤和孝氏の肖像(三十歳代の佐藤和孝)	平成7-9年(1995-97)/平成10年(1998)	キャンバス、パネル、油彩	個人蔵
3-6	諏訪敦	佐藤和孝(四十歳代の佐藤和孝)	平成14年(2002)	キャンバス、パネル、油彩	作家蔵
3-7	諏訪敦	山本美香(Esquisse)	平成25年(2013)	白亜地パネル、鉛筆、水彩	作家蔵
3-8	諏訪敦	山本美香(五十歳代の佐藤和孝)	平成25-26年(2013-14)	白亜地パネル、油彩	個人蔵
3-9	諏訪敦	Solaris	平成29-令和3年(2017-21)	白亜地パネル、油彩	作家蔵
3-10	諏訪敦	大野一雄立像	平成11年(1999)/令和4年(2022)	綿布、パネル、油彩	作家蔵
3-11	諏訪敦	大野一雄	平成18年(2006)	紙、鉛筆	作家蔵
3-12	諏訪敦	大野一雄	平成18年(2006)	紙、鉛筆	作家蔵
3-13	諏訪敦	大野一雄	平成18年(2006)	紙、鉛筆	作家蔵
3-14	諏訪敦	大野一雄	平成20年(2008)	キャンバス、油彩、テンペラ	個人蔵(佐藤美術館寄託)
3-15	諏訪敦	「ラ・アルヘンチーナ頌」を踊る川口隆夫	令和2年(2020)	紙、パネル、鉛筆	作家蔵
3-16	諏訪敦	大野一雄「タンゴ」を踊る川口隆夫	令和2年(2020)	紙、鉛筆	作家蔵
3-17	諏訪敦	大野一雄「タンゴ」を踊る川口隆夫	令和2年(2020)	紙、パネル、鉛筆	作家蔵
3-18	諏訪敦	川口隆夫	令和2年(2020)	紙、鉛筆	作家蔵
3-19	諏訪敦	川口隆夫	令和2年(2020)	紙、鉛筆	作家蔵
3-20	諏訪敦	《Mimesis》のためのイメージボード	令和2-4年(2020-22)	パネル、ミクストメディア	作家蔵
3-21	諏訪敦	Mimesis	令和4年(2022)	キャンバス、パネル、油彩	作家蔵

5. 春の江戸絵画まつり 江戸絵画お絵かき教室

[令和5年(2023)3月11日(土)–5月7日(日)]

開催主旨：

これまで当館で開催した江戸絵画展は、何れも美術史の視点から作品を眺めるものだった。そこで、初めての試みとして、純粹に「描く」ことに注目した。江戸絵画の表現手法は実に様々だが、ものの表し方や構図に注目したり、当時の「お絵かき本」ともいべき絵手本を紹介したり、あるいは、伊藤若冲の「筋目描き」のような特殊技法を探ったりと、「描く」という点から江戸絵画のあれこれを探った。

このような展覧会を考えたのは、毎年「春の江戸絵画まつり」に、多くの画家や漫画家、イラストレーターやアニメーション制作に関わる人たちが来場し、江戸絵画に大きな刺激を受けていることを知ったからである。江戸絵画は、西洋の技術や芸術観を土台とする現代のアートとは異なる別世界であり、現代人には新鮮に映るのかもしれない。また、描き方に正面から目を向ければ、趣味で絵を描く人たちにとってもヒントとなるだろう。

「一枚の絵を考え、作り上げるとは、どういうことなのか？」という視点で作品に向き合うことで、画家・流派・主題・様式といった美術史の知識を通して作品を「理解」していた時とは違う、新たな発見につながり、画家の生の姿を感じることもできたのではないだろうか。

観覧料：

一般700円(560円)、高校生・大学生350円(280円)、小・中学生150円(120円)* ()内は20名以上の団体料金

主催：府中市美術館

出品点数：182点

入場者数：14,189名(開催日数：51日、1日平均278.2名)

印刷物：

[図録] A5判変形272頁

[ワークシート] A5判8頁

[ポスター] B2判

[チラシ] A4判二つ折り4頁

関連イベント：

[ワークショップ]「採み紙体験」講師：仲政明(嵯峨美術大学教授)、4月1日(土)、創作室(12名、事前申込制、参加費300円)

[トークイベント]「語って楽しむ『江戸絵画お絵かき教室』」スピーカー：仲政明(嵯峨美術大学教授)、金子信久(当館学芸員)、4月16日(土)、生涯学習センター講堂(234名)

[子ども向けイベント]「お絵かき探検隊」会期中随時(7,757名)

関連記事：

虹「【レヴュー】『春の江戸絵画まつり 江戸絵画お絵描き教室』府中市美術館で5月7日まで『描く』視点で江戸絵画を『見る』応挙・若冲・蘆雪に挑戦!」美術展ナビ、2023年4月5日公開

出品作品

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵	文化財指定
1	長沢蘆雪	唐子遊図屏風	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
2	長沢蘆雪	雀図扇面	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
3	長沢蘆雪	躑躅群雀図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
4	長沢蘆雪	藤花雀図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
5	長沢蘆雪	旭日雀図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
6	長沢蘆雪	長春花小禽図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
7	長沢蘆雪	群雀図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
8	円山応挙	雪中狗子図	安永7年(1778)	絹、墨、絵具	個人蔵	
9	円山応挙	狗子図屏風	天明4年(1784)	紙、墨、絵具	滋賀県立琵琶湖文化館	
10	円山応挙	遊狗子図	天明7年(1787)	絹、墨、絵具	個人蔵	
11	円山応挙	雪中狗子図	天明4年(1784)	絹、墨、絵具	個人蔵	
12	円山応挙	狗子図屏風	安永7年(1778)	紙、金砂子	個人蔵	
13	酒井抱祝	群狗喜嬉図	大正-昭和期(20世紀)	絹、墨、絵具	個人蔵	
14	中村芳中	狗子図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
15	長沢蘆雪	狗子図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	摘水軒記念文化振興財団(府中市美術館寄託)	
16	長沢蘆雪	亀図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
17	河鍋暁斎	狼図	明治時代(19世紀)	紙、墨	個人蔵	
18	森周峰	鹿図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
19	森狙仙	鹿図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、墨	摘水軒記念文化振興財団(府中市美術館寄託)	
20	蓑虫山人	月下群雁図	江戸時代後期-明治時代(19世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
21	楸形蕙斎	鳥獸略画式	近代 *初版は寛政9年(1797)刊	書籍	個人蔵	

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵	文化財指定
22	長沢蘆雪	布袋図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
23	池大雅	月下扁舟図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
24	池大雅	文永賀茂祭図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
25	伊藤若冲	寒山拾得図	寛政5年(1793)	紙、墨	秋田市立千秋美術館	
26	与謝蕪村	春景人物図	江戸時代中期(18世紀)	絹、墨、絵具	個人蔵	
27	八田古秀	飲中八仙図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
28	円山応挙	漁夫・樵夫図	寛政6年(1794)	絹、墨、絵具	個人蔵	
29	耳鳥斎	絵本水や空	近代(複製本展示) *初版は安永9年(1780)刊	書籍	個人蔵	
30	谷文晁	十二月月山水図押絵貼屏風	文政元年(1818)	絹、墨、絵具	本間美術館	
31	淵上旭江	真景図帖	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀後半)	絹、墨、絵具	府中市美術館	
32	曾我蕭白	叡山図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨	滋賀県立琵琶湖文化館	
33	司馬江漢	相州江之島見淵図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、墨、絵具	府中市美術館	
34	蓑虫山人	安房国鋸山之図	明治時代(19世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
35	蓑虫山人	羽後男鹿島立鳥之図	明治時代(19世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
36	蓑虫山人	岩代国磐代山之図	明治時代(19世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
37	伊年印	牡丹図	江戸時代前期(17世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
38	宋紫石	蝦蟇仙人・牡丹図	江戸時代中期(18世紀)	絹、墨、絵具	個人蔵	
39	正田柳湖	岩に牡丹図	文政4年(1821)	絹、墨、絵具	府中市美術館	
40	鳥田元直	牡丹金鶏図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
41	森田顕忠	牡丹に小禽図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	摘水軒記念文化振興財団	
42	俵屋宗達	三十六歌仙 藤原高光	江戸時代前期(17世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
43	俵屋宗達	三十六歌仙 中務	江戸時代前期(17世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
44	野々口立圃	菊花図自画賛	江戸時代前期(17世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
45	伊藤若冲	松鶴図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
46	伊藤若冲	叭々鳥図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
47	白隠慧鶴	楊柳観音図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
48	円山応挙	猿図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
49	森狙仙	猿図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
50	松尾秀山	西洋人物図	江戸時代後期(19世紀)	紙、墨	個人蔵	
51	谷文晁	金碧山水図	享和3年(1803)	絹、墨、絵具、金泥	秋田市立千秋美術館	
52	東東洋	赤壁図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
53	呉春	山村春闌図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
54	源琦	太夫図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	摘水軒記念文化振興財団 (府中市美術館寄託)	
55	原在中	郭子儀図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)	絹、墨、絵具	敦賀市立博物館	
56	長沢蘆雪	恵比寿図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
57	伝 土佐光起	四季花鳥図巻	江戸時代(18世紀頃か)	絹、墨、絵具	個人蔵	
58	長沢蘆雪	寒山図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
59	長沢蘆雪	黄初平図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
60	円山応挙	雲竜図	安永元年(1772)	紙、墨	個人蔵	
61	円山応挙	竜虎図	安永7年(1778)	紙、墨、絵具	個人蔵	
62	広渡湖秀	雪中小禽図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
63	谷文晁	雲竜図	文化3年(1806)	絹、墨、絵具	個人蔵	
64	浦上玉堂	清溪釣舟図	文化12年(1815)	紙、墨、絵具	個人蔵	
65	谷文晁	天台垂瀑図	文化9年(1812)	絹、墨、絵具	個人蔵	
66	長沢蘆雪	旭日富士図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
67	谷文晁	孔雀図	文化12年(1815)	絹、墨	秋田市立千秋美術館	
68	横井金谷	鴉図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
69	作者不詳	蘆原図屏風	江戸時代前期(17世紀)	紙、墨、絵具、金泥、銀泥、金箔など	個人蔵	
70	作者不詳	柳橋水車図屏風	江戸時代前期(17世紀)	紙、墨、絵具、金泥、銀泥、金箔など	個人蔵	
71	彭城百川	蓮花図	寛延2年(1749)	絹、墨、絵具、真鍮泥	個人蔵	
72	塩川文麟	夏夜花火図	江戸時代後期-明治時代(19世紀)	絹、墨、絵具、金泥	個人蔵	
73	岡島清曠	雪中山水図襖	江戸時代後期(19世紀)	紙、墨、絵具	敦賀市立博物館	
74	呉春	松間紅葉図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	敦賀市立博物館	
75	菅井梅閑	蛸図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、墨	個人蔵	
76	奥文鳴	寒塘水禽図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)	絹、墨、絵具	敦賀市立博物館	
77	松村景文	白桃小禽図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
78	重欣堂田善	山水人物図押絵貼屏風	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、墨、絵具	須賀川市立博物館	
79	鈴木其一	猫図	江戸時代後期(19世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
80	水上景邨	蓬萊図	江戸時代後期-明治時代(19世紀)	絹、墨、絵具	個人蔵	
81	鈴木其一	芥子図	江戸時代後期(19世紀)	絹、墨、絵具	個人蔵	
82	田中抱二	蓮に翡翠図	江戸時代後期(19世紀)	絹、墨、絵具	個人蔵	

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵	文化財指定
83	鈴木守一	紅葉図	江戸時代後期(19世紀)	絹、墨、絵具	個人蔵	
84	円山応挙	瀑布図	天明8年(1788)	絹、墨	個人蔵	
85	円山応挙	柿に目白図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
86	与謝蕪村	胡瓜図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
87	伊藤若冲	雨竜図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	秋田市立千秋美術館	
88	伊藤若冲	双鶏見蜻蛉図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)	紙、墨	個人蔵	
89	伊藤若冲	花鳥魚図押絵貼屏風	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
90	司馬江漢	生花図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	府中市美術館	
91	長沢蘆雪	文君当炉図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
92	亜欧堂田善	墨堤観桜図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹、絵具(油絵具)	個人蔵(府中市美術館寄託)	
93	作者不詳	墨堤観桜図模写(写真展示)	江戸時代後期-明治時代(19世紀-20世紀)	絹、絵具(油絵具)	個人蔵	
94	亜欧堂田善	甲州猿橋之眺望	江戸時代後期(19世紀前半)	絹、絵具(油絵具)	府中市美術館	
95	司馬江漢	円窓唐美人図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、絵具(油絵具)	府中市美術館	
96	曾我蕭白	寒山拾得図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨	個人蔵	
97	狩野教信	桃図	江戸時代後期(19世紀半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
98	狩野貞信	楼閣人物図	江戸時代前期(17世紀前半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
99	土佐光起	鶉図	江戸時代前期(17世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
100	伝 徽宗	狗子図	北宋時代(12世紀)か	絹、墨、絵具	嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学附属博物館	
101	狩野探信	遊狗図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹、墨、絵具	摘水軒記念文化振興財団(府中市美術館寄託)	
102	森狙仙	双狗図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)	絹、墨、絵具	摘水軒記念文化振興財団	
103	円山応挙	傲呉道子山水図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨	個人蔵	
104	原在中	菊に鶏図	天明5年(1785)	絹、墨、絵具	敦賀市立博物館	
105	原在中	牡鶏育雛図	安永2年(1773)	絹、墨、絵具	個人蔵	
106	雪舟等楊	傲夏珪山水図	室町時代(15世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
107	伝 雪舟等楊	白衣観音図	室町時代(15世紀-16世紀)	紙、墨、絵具	奈良県立美術館	
108	雲谷等益	山水人物花鳥図押絵貼屏風	江戸時代前期(17世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
109	雲谷等律	西湖図	江戸時代中期(18世紀)頃	絹、墨、絵具	個人蔵	
110	狩野安信	富士三保松原図	江戸時代前期(17世紀)	紙、墨	茨城県立歴史館	重要文化財
111	司馬江漢	駿州矢部富士図	寛政元年(1789)	絹、墨、絵具	個人蔵	
112		長谷川家粉本	江戸時代-明治時代(16世紀-19世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
113	ヤン・ラウケン、カ スバル・ラウケン 著・画(銅版)	人間の職業	1704年刊	書籍	府中市美術館	
114	司馬江漢	皮工図	天明5年(1785)	紙、銅版画、筆彩	府中市美術館	
115	ヤン・コンストン	動物図譜	1660年刊	書籍	府中市美術館	
116	司馬江漢	ライオン図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	摘水軒記念文化振興財団(府中市美術館寄託)	
117	司馬江漢	泥炭掘図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
118	円山応挙	楚蓮香図	寛政6年(1794)	絹、墨、絵具	個人蔵	
119	長沢蘆雪	楚蓮香図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
120	円山応震	楚蓮香図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
121	円山応挙	鯉図	寛政4年(1792)	絹、墨、絵具	個人蔵	
122	円山応挙	鯉図	天明2年(1782)	絹、墨、絵具	個人蔵	
123	岸駒	鯉図	天明3年(1783)	絹、墨、絵具	個人蔵	
124	長沢蘆雪	鯉図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
125	岸駒	猛虎図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹、墨、絵具	本間美術館	
126	狩野山楽	竜虎図屏風	江戸時代前期(17世紀)	紙、墨、金泥	個人蔵	
127	宋紫山	虎図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵(府中市美術館寄託)	
128	与謝蕪村	豊干経行図	宝暦5年(1755)	絹、墨、絵具	個人蔵	
129	円山応挙	虎皮写生図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	本間美術館	
130	円山応挙	猛虎図	天明2年(1782)	紙、墨、絵具	摘水軒記念文化振興財団(府中市美術館寄託)	
131	長沢蘆雪	象背戯童図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
132	長沢蘆雪	富士見西行図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	山形美術館 (山)長谷川コレクション)	
133	月岡雪鼎	里芋図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
134	佐竹曙山	松之図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	秋田市立千秋美術館	
135	長沢蘆雪	竜図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨	個人蔵	
136	柴田是真	漆絵帖	明治時代初め(19世紀後半)	紙、漆、絵具	個人蔵	
137	司馬江漢	秋景双鳩図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、絵具(油絵具)	個人蔵(府中市美術館寄託)	
138	司馬江漢	七里ヶ浜図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、絵具(油絵具)	個人蔵(府中市美術館寄託)	
139	歌川国芳	東都名所 かすみが関	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、木版画 (浮世絵)大判	個人蔵	

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵	文化財指定
140	歌川国芳	東都御厩川岸之図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、木版画 (浮世絵)大判	個人蔵	
141	歌川国芳	東都名所 洲崎初日出の図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、木版画 (浮世絵)大判	個人蔵	
142	歌川国芳	東都三ッ股の図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、木版画 (浮世絵)大判	個人蔵	
143	岡島清曠	金魚図	江戸時代後期(19世紀)	絹、墨、絵具	個人蔵	
144	河田小竜	遊鯉図	江戸時代後期(19世紀)	絹、墨、絵具	個人蔵	
145	黒田稲臈	鯉に椿図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
146	桑山玉洲	藻鯉図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
147	岡田鶴川	亀図	江戸時代後期(19世紀)	絹、墨、絵具	個人蔵	
148	円山応挙	滝鯉図	寛政6年(1794)	絹、墨、絵具	個人蔵	
149	歌川国芳	小子部栖軽豊浦里捕雷	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、木版画 (浮世絵)大判	個人蔵	
150	歌川国芳	曲亭翁精著八犬士随一 犬川莊 介・犬山道節	天保8年(1837)	紙、木版画 (浮世絵)大判	個人蔵	
151	歌川国芳	城四郎長茂空中に怪異を見る図	江戸時代後期(19世紀)	紙、木版画 (浮世絵)大判 三枚続	個人蔵	
152	歌川国芳	武田信玄諏訪頼重の陳中を打く づす図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、木版画 (浮世絵)大判 三枚続	個人蔵	
153	歌川国芳	玉取り(海女と大蛸)	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、木版画 (浮世絵)大判 三枚続	個人蔵	
154	歌川国芳	鬼若丸と大緋鯉	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、木版画 (浮世絵)大判 三枚続	個人蔵	
155	歌川国芳	坂田怪童丸	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、木版画 (浮世絵)大判	個人蔵	
156	池大雅	離合山水図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
157	歌川広重	甲州二瀬越・遠州四十八瀬図	江戸時代後期(19世紀)	絹、墨、絵具	個人蔵	
158	司馬江漢	蘭人観桜図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	府中市美術館	
159	住吉弘定	百鬼夜行図巻	江戸時代後期(19世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
160	浮田一薫	蛙に落花図	江戸時代後期(19世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
161	松野親信	美人に禿図	江戸時代中期(18世紀前半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
162	狩野養信	源氏物語図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
163	張月樵	双鼠図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)	紙、墨、絵具	摘水軒記念文化振興財団	
164	長沢蘆雪	鶏親子図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
165	森一鳳	鼬図	江戸時代後期(19世紀)	絹、墨、絵具	摘水軒記念文化振興財団	
166	逸見一信	富士山に猪図	江戸時代後期(19世紀後半)	絹、墨、絵具	個人蔵	
167	伊藤若冲	鶴図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
168	伊藤若冲	鶴図	寛政3年(1791)	紙、墨	個人蔵	
169	長沢蘆雪	唐子遊図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
170	長沢蘆雪	狗児図扇面	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	本間美術館	
171	与謝蕪村	拾得図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
172	与謝蕪村	田楽茶屋図屏風	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵(府中市美術館寄託)	
173	池大雅	富岳図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
174	池大雅	河豚図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
175	蓑虫山人	福神・達磨図	江戸時代後期-明治時代(19世紀)	紙、墨、絵具	個人蔵	
176	白隠慧鶴	面壁達磨図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨	個人蔵	
177	林十江	唐人物図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
178	佐竹蓬平	松下閑談図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙、墨、絵具	個人蔵	
179	遠藤日人	蛙の相撲図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)	紙、墨、絵具	摘水軒記念文化振興財団	
180	仙厓義梵	仙厓和尚書画卷	江戸時代後期(19世紀前半)	紙、墨	個人蔵	
181	徳川家光	竹に雀図	江戸時代前期(17世紀前半)	紙、墨	個人蔵	
182	徳川家光	兎図	江戸時代前期(17世紀前半)	紙、墨	個人蔵	

6. 発掘・植竹邦良 ニッポンの戦後を映す夢想空間

[令和5年(2023)5月20日(土)－7月9日(日)]

開催趣旨：

植竹邦良(昭和3年(1928)－平成25年(2013))は昭和初期の東京・品川に生まれ、赤羽で育ち、東京工専印刷科(現・千葉大学)に入学。戦争末期の混乱のなか青年期を過ごした。戦後は赤穴宏に絵を学び、猪熊弦一郎主宰の田園調布純粹美術研究所に通って、昭和23年(1948)新制作派展に初入選を果たす。しかし次第に1950年代のリアリズム運動に接近し、ニッポン展、前衛美術会展等で活動した。1954年以降は府中市に暮らし、1960年代後半は虚無僧や電車、70年代後半以降は地形模型や建築など、自身が関心を持ったモチーフを繰り返し取り上げながら、時には戦時中の記憶を混入させ、時には同時代の世相を反映し、それらが混ざり合いながら反復するダイナミックな作品群を作り続けた。当館では平成16年(2004)に作家本人から6点の寄贈を受けて以来、しばしば常設展で作品を紹介してきた。本展では残された作品・資料の調査を基礎として、大画面を埋め尽くす濃密かつ細密な描写、不可思議なモチーフの縦横無尽な構成、それによって喚起されるストーリー性や独自の世界観、戦後日本の政治や社会に対する視点といった、植竹作品の複合的な魅力を紹介した。また「1960前後の『前衛』」と題した特集展示を設け、池田龍雄・中村宏・尾藤豊・桂川寛の4作家の作品から、当時の社会派画家をめぐる時代状況をあわせて紹介した。埋もれた地域ゆかりの作家を改めて顕彰し、戦後日本美術の一側面に光を当てる機会となった。

観覧料：

一般700円(560円)、高校生・大学生350円(280円)、小・中学生150円(120円)* ()内は20名以上の団体料金

主催：府中市美術館

出品点数：53点

入場者数：6,167名(開催日数：44日、1日平均140.1名)

印刷物：

[図録] A4判116頁

[ポスター] B2判

[チラシ] A4判両面

*本展の図録は、「全国カタログ展」産経新聞社賞図録部門銀賞を受賞した。

関連イベント：

[展覧会講座]「植竹邦良案内記」講師：小林真結(当館学芸員)、5月28日(日)、講座室(60名)

[展覧会講座]「戦後の社会と美術家」講師：足立元(美術史家、二松学舎大学准教授)、6月25日(日)、市民ギャラリー(66名)

配信事業：

「府中市美術館『発掘・植竹邦良 ニッポンの戦後を映す夢想空間』【展覧会ダイジェスト】」

「府中市美術館『発掘・植竹邦良 ニッポンの戦後を映す夢想空間』みどころ」

関連記事：

村田真「発掘・植竹邦良 ニッポンの戦後を映す夢想空間」artscape、2023年6月4日公開

平林由梨「ART 戦後と東京 三者三様の筆」毎日新聞、2023年6月12日夕刊

大西若人「『最終虚無僧』植竹邦良」朝日新聞、2023年6月13日夕刊

大西若人「知られざる画家・植竹邦良 巨大な虚無僧とうねる列車で何を描いた?」朝日新聞DIGITAL、2023年6月13日公開

「植竹邦良 前衛夢幻ループ」『芸術新潮』2023年7月号、2023年6月23日刊行

福住廉「あわいの闘争 2023年現代美術回顧」『図書新聞』3623号、2024年1月20日刊行

出品作品

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
I-1	植竹邦良	自画像	制作年不詳	紙、インク、水彩	個人蔵
I-2	植竹邦良	風景スケッチ	昭和23年(1948)	紙、インク、水彩	個人蔵
I-3	植竹邦良	人物スケッチ	昭和22年(1947)	紙、鉛筆	個人蔵
I-4	植竹邦良	人物スケッチ	昭和30年(1955)	紙、鉛筆、水彩	個人蔵
I-5	植竹邦良	千枝子と檀と	昭和30年(1955)	紙、鉛筆、水彩	個人蔵
I-6	植竹邦良	檀をかく	昭和30年(1955)	紙、鉛筆、水彩	個人蔵
I-7	植竹邦良	工事現場スケッチ	昭和31年(1956)頃	紙、鉛筆、水彩	個人蔵
I-8	植竹邦良	工事現場スケッチ	昭和31年(1956)頃	紙、鉛筆、水彩	個人蔵
I-9	植竹邦良	工事現場スケッチ	昭和31年(1956)頃	紙、鉛筆、水彩	個人蔵
I-10	植竹邦良	工事現場スケッチ	昭和31年(1956)頃	紙、鉛筆、水彩	個人蔵
I-11	植竹邦良	風景スケッチ	昭和31年(1956)	紙、鉛筆、水彩	個人蔵
I-12	植竹邦良	風景スケッチ	昭和31年(1956)	紙、鉛筆、水彩	個人蔵
I-13	植竹邦良	女性像	1940年代後半～50年代	キャンバス、油彩	個人蔵
I-14	植竹邦良	迷いこんだ矢印	1950年代後半～60年代前半	キャンバス、油彩	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
I-参考1	赤穴宏	白い家	昭和24年(1949)	キャンバス、油彩	武蔵野美術大学 美術館図書館
I-参考2	尾藤豊	街(赤羽)	昭和22年(1947)	キャンバス、油彩	東京都現代美術館
II-1	植竹邦良	6月の手記	昭和35年(1960)	キャンバス、油彩	個人蔵
II-2	植竹邦良	雲の刑場	昭和43年(1968)	板、油彩	府中市美術館
II-3	植竹邦良	人形の行く風景	昭和44年(1969)	キャンバス、油彩	府中市美術館
II-4	植竹邦良	最終虚無僧	昭和49年(1974)	キャンバス、油彩	府中市美術館
II-5	植竹邦良	窓より(東アジア展望)	昭和51年(1976)	キャンバス、油彩	府中市美術館
II-6	植竹邦良	スピナリオ電車	昭和52年(1977)	キャンバス、油彩	個人蔵
II-7	植竹邦良	シェル記 - 卵殻-	昭和54年(1979)	キャンバス、油彩	府中市美術館
II-8	植竹邦良	案内記・コロセウム篇	昭和58年(1983)	キャンバス、油彩	個人蔵
II-9	植竹邦良	案内記・食堂篇	昭和59年(1984)	キャンバス、油彩	個人蔵
II-10	植竹邦良	案内記・日章旗篇	昭和63年(1988)	キャンバス、油彩	個人蔵
特集-1	池田龍雄	にんげん	昭和54年(1979)	紙、インク、油彩、水彩	府中市美術館
特集-2	池田龍雄	装甲虫	昭和56年(1981)	紙、インク、油彩、水彩	府中市美術館
特集-3	池田龍雄	ユークリッド	昭和59年(1984)	紙、インク、油彩、水彩	府中市美術館
特集-4	尾藤豊	抗して	昭和35年(1960)	キャンバス、油彩	板橋区立美術館
特集-5	中村宏	蜂起せよ少女	昭和34年(1959)	キャンバス、油彩	練馬区立美術館
特集-6	中村宏	飛行機不時着す	昭和38年(1963)	キャンバス、油彩	練馬区立美術館
特集-7	桂川寛	おんどりと鉄骨	昭和32年(1957)	キャンバス、油彩	板橋区立美術館
特集-8	桂川寛	それでも彼らは行く	昭和35年(1960)	キャンバス、油彩	豊島区寄託
特集-9	桂川寛	パニック	昭和43年(1968)	キャンバス、油彩	豊島区
III-1	植竹邦良	陸橋にて	昭和51年(1976)	キャンバス、油彩	個人蔵
III-2	植竹邦良	佐渡より	昭和52年(1977)	キャンバス、油彩	個人蔵
III-3	植竹邦良	葉表峠	昭和52年(1977)	キャンバス、油彩	株式会社ニシムラ精密地形模型
III-4	植竹邦良	鉄橋篇	昭和54年(1979)	キャンバス、油彩	個人蔵
III-5	植竹邦良	溢れでる山脈	平成元年(1989)	キャンバス、油彩	個人蔵
III-6	植竹邦良	案内記・東京湾篇	昭和63年(1988)	キャンバス、油彩	個人蔵
III-7	植竹邦良	風景スケッチ	昭和60年(1985)	紙、フェルトペン、水彩	個人蔵
III-8	植竹邦良	風景スケッチ	昭和60年(1985)	紙、フェルトペン、水彩	個人蔵
III-9	植竹邦良	一橋大学本館	制作年不詳	キャンバス、油彩	個人蔵
III-10	植竹邦良	籠原秩父セメント工場	平成4年(1992)	紙、フェルトペン、水彩	個人蔵
III-11	植竹邦良	高炉より	平成5年(1993)	キャンバス、油彩	個人蔵
III-12	植竹邦良	溝の口スケッチ1	平成8年(1996)	紙、フェルトペン	個人蔵
III-13	植竹邦良	溝の口スケッチ2	平成8年(1996)	紙、フェルトペン	個人蔵
III-14	植竹邦良	溝の口スケッチ3	平成8年(1996)	紙、フェルトペン	個人蔵
III-15	植竹邦良	構築記	平成9年(1997)	キャンバス、油彩	府中市美術館
III-16	植竹邦良	代々木青山街道踏切	平成10年(1998)	紙、フェルトペン、水彩	個人蔵
III-17	植竹邦良	樹木スケッチ	平成13年(2001)	紙、フェルトペン	個人蔵
追加出品	植竹邦良	タワー記	平成6年(1994)	キャンバス、油彩	個人蔵
資料	植竹邦良	スクラップブック	平成8-15年(1996-2003)		個人蔵

7. ばれたんサマー むら田もいっしょ!

[令和5年(2023)7月22日(土)－9月3日(日)]

開催趣旨:

絵の国の妖精ばれたんとむら田の案内で、府中市美術館の所蔵品を楽しむ展覧会。シリーズ11回目の本展覧会は、「夏にしたいこと」の全てを美術館で体験してもらうというテーマを設定した。「絵の国 夏まつり」、「絵の国 きもだめし」、「なぞなぞキャンプ」「星空かんさつ会」の4つのコーナーを設置。さらに「絵の国 夏まつり」には、「いろいろかき氷」「○△□つり」「ぴかぴか花火」という3つのミニコーナーを設けた。また、ロビーには、ぬり絵やお面の工作、ばれたん工作の展示コーナーを設けた。

観覧料:

一般400円(320円)、高校・大学生200円(160円)、小・中学生70円(50円)

* () 内は20名以上の団体料金

主催: 府中市美術館

出品点数: 24点

入場者数: 10,381名(開催日数: 38日、273.1名)

印刷物:

[ワークブック] B5判16頁

[ポスター] B2判

[チラシ] A4判両面

出品作品

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
1	オノサトトシノブ	作品	昭和45年(1970)	キャンバス、アクリル	府中市美術館
2	菅井汲	朝	昭和39年(1964)	キャンバス、油彩	府中市美術館
3	鶴岡政男	魚を突く人	昭和37年(1962)	紙、パステル	府中市美術館
4	山田正亮	Work B.163	昭和33年(1958)	キャンバス、油彩	府中市美術館
5	浅野竹二	街角	昭和46年(1971)	紙、木版	府中市美術館
6	浅野竹二	イメージA	昭和63年(1988)	紙、木版	府中市美術館
7	奈良達雄	マクロタイム“チ”	平成9年(1997)	綿布、アクリル	府中市美術館
8	今井俊満	花火	昭和47年(1972)	色紙、アクリル、水彩、他	府中市美術館
9	今井俊満	Ciel brule	昭和47年(1972)	色紙、アクリル、水彩、他	府中市美術館
10	東恩納裕一	untitled (FL.100-03)	平成14年(2002)	キャンバス、スプレーペイント	府中市美術館
11	岡本太郎	コンポジション	昭和26年(1951)	キャンバス、油彩	府中市美術館
12	山本貞	アリス考	昭和52年(1977)	キャンバス、油彩	府中市美術館
13	ポール・ガシェ	過去	1897年	紙、エッチング	府中市美術館
14	ポール・ガシェ	女性の顔	1897年	紙、エッチング	府中市美術館
15	吉川一溪	白狐図	江戸時代後半	絹本着色	摘水軒記念文化振興財団 (府中市美術館寄託)
16	小山田二郎	顔	昭和36年(1961)	キャンバス、油彩	個人蔵(府中市美術館寄託)
17	田嶋宏行	砂の中	昭和45年(1970)	紙、木版	府中市美術館
18	北岡文雄	北国の海辺	昭和27年(1952)	紙、木版	府中市美術館
19	牛島憲之	五月	昭和13年(1938)	キャンバス、油彩	個人蔵(府中市美術館寄託)
20	北岡文雄	女の顔	昭和27年(1952)	紙、木版	府中市美術館
21	高松次郎	No.297 (photographer)	昭和45年(1970)	キャンバス、油彩	府中市美術館
22	加山四郎	造船	昭和44年(1969)	キャンバス、油彩	府中市美術館
23	富田菜摘	九平次	平成28年(2016)	金属廃材、ミクストメディア	府中市美術館
24	富田菜摘	ブン	平成28年(2016)	金属廃材、ミクストメディア	府中市美術館

8. インド細密画

[令和5年(2023)9月16日(土)－11月26日(日)]

開催趣旨：

インド美術の精華とも呼ばれる細密画は、主に16世紀後半から19世紀前半にムガル帝国の宮廷や、ラージプの藩主国の画工房で生み出されたものである。「絵と一対一で対話する」という絵画観のもと、10数センチから30センチ以下という小さな画面に緻密な筆で描かれた。多くの画派による多様なスタイルがあるが、鮮やかな色彩と流麗な線といった工芸的な美しさを大きな特徴としている。そして、画題は多岐に渡り、神話や宗教的なエピソードを描いたもの、恋物語、肖像画、花鳥画、さらに、音楽を図像化した絵画もある。

インド細密画と西洋美術との関係を考えてみると、そのジャンル自体が、西洋の影響を受けて発展したものであるものの、画法も主題の扱い方も、全く独自の展開をとげた。さらに、インド細密画は特に19世紀以降、ヨーロッパの工芸や絵画にも影響を与えた。一方、同じ頃、現地では植民地支配により伝統的な細密画が姿を消していき、19世紀末には完全に消滅する。こうした細密画の歴史は、例えば、日本の洋風画や浮世絵との共通点や違いも浮かび上がらせる。本展覧会では、畠中光亨氏のコレクションによりインド細密画の世界を紹介した。同コレクションは日本唯一最大のインド細密画コレクションである。良質なコレクションを通して、日本人にはまだ馴染みのないインド細密画の魅力を紹介し、さらには、日本美術や西洋美術とは違う美術のあり方についても考える機会を提供した。

観覧料：

一般900円(720円)、高校・大学生450円(360円)、小・中学生200円(160円)* ()内は20名以上の団体料金

主催：府中市美術館、日本経済新聞社、東京新聞

応援：インド大使館

出品点数：127点

入場者数：19,448名(開催日数：62日、1日平均313.6名)

印刷物：

[図録] A4判変形168頁

[ポスター] B2判

[チラシ] A4判二つ折り4頁

関連イベント：

[府中市生涯学習センター連携事業]「インド細密画と古典音楽を楽しむトーク&コンサート」演奏：サワン・ジョシ(シタール奏者)、逆瀬川健治(タブラ奏者)、解説：音ゆみ子(当館学芸員)、11月11日(土)、府中市生涯学習センター講堂(331名)

関連記事：

『『インド細密画』開催中』日本教育新聞、2023年9月25日

菊池麻衣子「【レビュー】『インド細密画』府中市美術館で11月26日まで 小さな絵の中の濃密なインド体験記」美術展ナビ、2023年10月2日公開
高山羽根子「美術評『インド細密画』展」東京新聞、2023年10月6日夕刊

「インド細密画」『週刊新潮』2023年10月12日刊行

聞き手：音ゆみ子「アーティスト・駐日インド大使夫人 ジョイス・ジョン・ポンプーレトウさんに聞く」東京新聞、2023年10月31日朝刊

松沢奈々子「インドの美 細密画と対話 東京・府中市美術館」朝日新聞、2023年11月14日夕刊

松沢奈々子「インド細密画は、手のひらサイズに世界観 動物の毛1本の細い線まで」朝日新聞DIGITAL、2023年11月15日公開

赤塚佳彦「インド美術の神髄 世界を魅了した布や細密画の展覧会」日本経済新聞、2023年10月11日朝刊

出品作品

No.	描かれた地方/作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
1	ラージプ絵画	貴婦人	1760年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
2	ビハール地方またはベンガル地方(インド東部)	密教経典写本	11-12世紀	パームヤシの葉、着彩	畠中光亨氏
3	カトマンズ盆地(ネパール)	仏教経典挿絵	14世紀	紙、着彩	畠中光亨氏
4	グジャラート地方(インド北西部)	ヒンドゥー教説話挿絵	15世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
5	おそらくデリー(ハラム)	笛を吹くクリシュナ	1520-40年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
6	ムガル絵画	聖者たちの集い	17世紀中期-後期	紙、着彩	畠中光亨氏
7	ムガル絵画	貴族の肖像	17世紀前期	紙、着彩	畠中光亨氏
8	ムガル絵画	宮廷婦人の肖像	17世紀中期-後期	紙、着彩	畠中光亨氏
9	ムガル絵画	流れの側に座す女	1800年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
10	ラージプ絵画	憩うクリシュナとラーダー	1780-90年	紙、着彩	畠中光亨氏
11	ラージプ絵画	バンチャム・ラーギニー	1750年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
12	ラージプ絵画	貴族の肖像	1760年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
13	ラージプ絵画	女性修行者	1750年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
14	ラージプ絵画	ガルーダに乗る ヴィシュヌ	1780年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
15	ラージプ絵画	ヴィシュヌとガルーダ	1790年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
16	ラージプ絵画	シヴァが監視する中で賢者に召喚されるヴィシュヌ	18世紀初期	紙、着彩	畠中光亨氏
17	ラージプ絵画	ヴィシュヌとラクシュミー	19世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏

No.	描かれた地方/作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
18	ラージプト絵画	魚に化身したヴィシュヌ	1810年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
19	ラージプト絵画	亀に化身したヴィシュヌ	18世紀後期	紙、着彩	畠中光亨氏
20	ラージプト絵画	魔神と戦うヴァラーハ	1800年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
21	ラージプト絵画	ヴィシュヌの9番目の化身 ブッダ	18世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
22	ラージプト絵画	ヴィシュヌの10番目の化身 カルキ	18世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
23	ラージプト絵画	シヴァに敬意を払う王	1720年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
24	ラージプト絵画	ドゥルガーを礼拝する魔神	1770-80年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
25	ラージプト絵画	スーリヤ	18世紀後期	紙、着彩	畠中光亨氏
26	ラージプト絵画	クリシュナ	1770年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
27	ラージプト絵画	赤子の交換	1640年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
28	ラージプト絵画	幼年クリシュナ	18世紀初期	紙、着彩	畠中光亨氏
29	ラージプト絵画	バターミルクを盗むクリシュナとバララマ	1820年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
30	ラージプト絵画	叱られるクリシュナ	1830年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
31	ラージプト絵画	幼年クリシュナ	1820年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
32	ラージプト絵画	シュリナートジー	1850年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
33	ラージプト絵画	クリシュナを讃える女性たち	18世紀前期	紙、着彩	畠中光亨氏
34	ラージプト絵画	夕べの祈り	1750-60年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
35	ラージプト絵画	宮廷のラーマ	1680-1700年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
36	ラージプト絵画	聖者ヴィシュヴァーミトラ とジャナカ王	1750-60年	紙、着彩	畠中光亨氏
37	ラージプト絵画	ヒマラヤの薬草山を持ち帰るハスマーン	1710-20年	紙、着彩	畠中光亨氏
38	ラージプト絵画	『ラーマヤナ』の一場面	1720年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
39	ラージプト絵画	王座のラーマとシターに 捧げ物をするハスマーン	1730-50年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
40	ラージプト絵画	『マハーバータ』の一場面	1670-80年	紙、着彩	畠中光亨氏
41	ムガル絵画	闘うクシャ(『ラズムナーマ』より)	1616年	紙、着彩	畠中光亨氏
42	ラージプト絵画	神の出現	18世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
43	ラージプト絵画	タージマハルに詣でるジャハーンダール	1720年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
44	ムガル絵画	詩人ルーミーに拝謁するバハードゥル・シャー1世と息子たち	18世紀中期-後期	紙、着彩	畠中光亨氏
45	ムガル絵画	シャー・ジャハーンの肖像	17世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
46	ラージプト絵画	マハ・シングの肖像	1740-50年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
47	ラージプト絵画	王の肖像	1780年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
48	ラージプト絵画	貴族の肖像	18世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
49	ラージプト絵画	ガジシング王の肖像	1787年	紙、着彩	畠中光亨氏
50	ラージプト絵画	王と聖者	1760-80年	紙、着彩	畠中光亨氏
51	ラージプト絵画	神々を礼拝するマーン・シング王	1795年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
52	ラージプト絵画	花火をする女たち	1807年	紙、着彩	畠中光亨氏
53	ラージプト絵画	女性修行者	1740年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
54	ラージプト絵画	二人の女	19世紀初期	紙、着彩	畠中光亨氏
55	ムガル絵画	楽器を弾く女	18世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
56	ラージプト絵画	夜に音楽を楽しむクリシュナとラーダー	1780年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
57	ラージプト絵画	カーモド・ラーギニー	1640年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
58	ラージプト絵画	バトマンジャリ・ラーギニー	1640年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
59	ラージプト絵画	アサヴァリ・ラーギニー	17世紀後期	紙、着彩	畠中光亨氏
60	ラージプト絵画	アサヴァリ・ラーギニー	1760年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
61	ラージプト絵画	ケデラ・ラーガ	1790年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
62	ラージプト絵画	バンガリ・ラーギニー	1700年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
63	ラージプト絵画	バイラヴィ・ラーギニー	1730-40年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
64	ラージプト絵画	バイラヴィ・ラーギニー	1720-40年	紙、着彩	畠中光亨氏
65	ラージプト絵画	ガウディ・ラーギニー	1730-40年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
66	ラージプト絵画	マンガラ・プトラ	1730-40年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
67	ラージプト絵画	グジャリ・ラーギニー	1720年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
68	ラージプト絵画	バスカラ・ラーガ	1730-40年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
69	メワール地方	牛	19世紀初期	布、着彩	畠中光亨氏
70	ラージプト絵画	バドミニと鸚鵡	17世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
71	ラージプト絵画	ジェシュター月(バラマサー・シリーズより)	17世紀後期	紙、着彩	畠中光亨氏
72	ラージプト絵画	女と虎	1730-40年	紙、着彩	畠中光亨氏
73	ラージプト絵画	スワイ	1820-30年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
74	ラージプト絵画	ウツタル・アサダ	1820-30年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
75	ムガル絵画	蛇をくわえる山羊	17世紀後期	紙、着彩	畠中光亨氏
76	ムガル絵画	動物で構成された牛に乗るシヴァ	17世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
77	ラージプト絵画	ナンディン、シヴァと パールヴァティー	19世紀初期	紙、墨	畠中光亨氏
78	ラージプト絵画	鹿	18世紀末期-19世紀初期	紙、墨、着彩	畠中光亨氏
79	ラージプト絵画	にわか雨	1800年頃	紙、着彩	畠中光亨氏

No.	描かれた地方/作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
80	ラージブト絵画	川のほとりのクリシュナとラーダー	1790-1800年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
81	ラージブト絵画	バニ・タニの肖像	1760-70年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
82	ラージブト絵画	森の中のクリシュナとラーダー	19世紀初期	紙、着彩	畠中光亨氏
83	ラージブト絵画	クリシュナとラーダー	18世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
84	ラージブト絵画	クリシュナとラーダー	18世紀前期	紙、着彩	畠中光亨氏
85	ラージブト絵画	恋人を想う女	1760-70年	紙、着彩	畠中光亨氏
86	ラージブト絵画	愛の場面	1670年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
87	ラージブト絵画	愛の場面	18世紀後期	紙、着彩	畠中光亨氏
88	ラージブト絵画	二人の女	1763年	紙、着彩	畠中光亨氏
89	ムガル絵画	アッバース1世の肖像	17世紀末期	紙、着彩	畠中光亨氏
90	ラージブト絵画	ワインを飲む女	1790-1800年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
91	ラージブト絵画	王の肖像	1700年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
92	ラージブト絵画	若き日のガジ・シング王の肖像	18世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
93	ラージブト絵画	ラーガマラ	1720-30年	紙、着彩	畠中光亨氏
94	ラージブト絵画	森の修行者に会いに来たダマヤンティー	1820年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
95	ムガル絵画	トリシューラをもつ女性修行者	18世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
96	ラージブト絵画	ラーダーと侍女たち	1780年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
97	ラージブト絵画	夜の狩り	1790年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
98	ラージブト絵画	川で戯れる娘たち	1740-50年	紙、着彩	畠中光亨氏
99	ラージブト絵画	五王子とドラウバディー	1790年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
100	アレクサンドル・カバネル	エステル女王	19世紀末頃	キャンバス、油彩	府中市美術館
101	ムガル絵画	ワイングラスを持つ西洋婦人の肖像	17世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
102	ムガル絵画	祈るマグダラのマリア	17世紀前期	紙、着彩	畠中光亨氏
103	ラージブト絵画	鹿と戯れる女性	1750年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
104	司馬江漢	円窓唐美人図	寛政年間(1789-1801)前半頃	絹本油彩	府中市美術館
105	司馬江漢	月下柴門美人図	天明年間(1781-89)前半頃	絹本着色	摘水軒記念文化振興財団(府中市美術館寄託)
106	ラージブト絵画	クリシュナとラーダー	1790年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
107	ラージブト絵画	クリシュナとラーダー	1680-90年	紙、着彩	畠中光亨氏
108	ラージブト絵画	クリシュナ	1801年	紙、着彩	畠中光亨氏
109	ムガル絵画	森の遊楽	17世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
110	ラージブト絵画	糸繰りをする女性	1800年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
111	ラージブト絵画	ヨーヨー遊びをする女性	1765年	紙、着彩	畠中光亨氏
112	ラージブト絵画	恋する女性	1750年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
113	ムガル絵画	ポーズをする女性	1780年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
114	ムガル絵画	ポーズをする女性	1780年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
115	ラージブト絵画	水煙草を喫う男性	1760年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
116	ラージブト絵画	水煙草を喫う男性	1760-70年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
117	ラージブト絵画	会見の場面	1780-90年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
118	ラージブト絵画	話し合いをする廷臣たち	1780-90年	紙、着彩	畠中光亨氏
119	ムガル絵画	宮廷婦人の肖像	18世紀前期	紙、着彩	畠中光亨氏
120	ラージブト絵画	ウドット・シング王の肖像	1730年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
121	ムガル絵画	風揚げをするアラスツ・ジャー	1800年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
122	ムガル絵画	宮廷の情景	18世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
123	ラージブト絵画	愛の場面	18世紀中期	紙、着彩	畠中光亨氏
124	ムガル絵画	ダナー・シェリー・ラーギニー	1770年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
125	ムガル絵画	宮廷のクリシュナ	1770-80年	紙、着彩	畠中光亨氏
126	ラージブト絵画	狩りをする サングラーム・シング王	1730年頃	紙、着彩	畠中光亨氏
127	ラージブト絵画	楽器を持つ女	1760年頃	紙、着彩	畠中光亨氏

9. 白井美穂 森の空き地

[令和5年(2023)12月16日(土)ー令和6年(2024)2月25日(日)]

開催趣旨：

白井美穂(しらいみお)は、昭和37年(1962)京都に生まれ、小学校入学の頃から東京で育った。東京藝術大学美術学部で学んだ後、1980年代末から大規模なインスタレーションを旺盛に発表して注目を集める。平成5年(1993)アジア・カルチュラル・カウンシル(ACC)の助成を得てニューヨークに渡り、平成18年(2006)まで同地を拠点に活動する。帰国後は住み慣れた東京西部に戻り、映像や絵画、立体作品等を制作している。平成6年(1994)にファーレ立川にパブリックアート《Round Trip》と《Cut》を設置。個展のほか、「アーティスト・ファイル2008」(平成20年(2008)国立新美術館・東京)、「あいちトリエンナーレ」(平成25年(2013)愛知県美術館・愛知)等に参加している。作品に通底する、洗練された造形と、意味を複雑に重ねて提示する深い思考は、35年以上のあいだ驚異的な質を維持している。バブル経済が終焉に向かう1980年代末から90年代に白井は、社会的慣習や風俗を巧みに引用、流用し、家具や境界など既製品を用いて大胆なインスタレーションを展開した。平成のただなかにあった2000年代半ば以降は、ピンクや水色といった明るい色が登場し、布や糸など柔らかい素材が用いられ、また絵画が中心的役割を果たすようになる。宇宙や生命の循環への思索が、高らかに発せられる。本展は、メディアを自在に横断し旺盛に制作を続ける、白井美穂の美術館初個展となった。1990年代前半の立体作品を約30年ぶりに展示し、加えて2000年代から最新作の絵画を中心に、映像やオブジェを交えて構成した。

観覧料：

一般700円(560円)、高校生・大学生350円(280円)、小・中学生150円(120円)* ()内は20名以上の団体料金

主催：府中市美術館

出品点数：28点

入場者数：7,609名(開催日数：57日、1日平均133.4名)

印刷物：

[図録] A4判124頁

[ポスター] B2判

[チラシ] A4判両面

関連イベント：

[トークイベント]「アーティストトーク 白井美穂」スピーカー：白井美穂(美術作家)、12月16日(土)、企画展示室(103名)

[トークイベント]「白井美穂映像作品上映会・アーティストトーク」スピーカー：白井美穂

第1回 ゲスト：松浦寿夫(画家・美術批評家)、1月13日(土)、講座室(72名)

第2回 ゲスト：沢山遼(美術批評家)、2月12日(月祝)、講座室(86名)

[府中の森芸術劇場連携事業]出張コンサート「管弦楽のしらべ」出演：日本フィルハーモニー楽団、1月20日(土)、エントランスロビー、主催：府中の森芸術劇場

[府中観光協会連携事業]「府中市美術館スペシャルアートナイト～『白井美穂 森の空き地』夜間特別鑑賞会～」2月17日(土)、企画展示室(25名)、主催：府中観光協会

[トークイベント]「豊嶋康子と見る、白井美穂展」スピーカー：白井美穂(美術作家)、豊嶋康子(美術作家)2月18日(日)、1階エントランスロビー(164名)* イベントの様子は後日アーカイブ配信を行なった。

関連記事：

福島夏子「『白井美穂 森の空き地』(府中市美術館)作家の言葉とともにレポート。迷宮を彷徨い、差し込む光に出会うように」TOKYO ART BEAT、2023年12月19日公開

村田真「水先案内人のおすすめ」ぴあニュース、2023年12月23日公開
静居絵里「美術家・白井美穂の活動の全貌を紹介。作家初的美術館での個展が府中市で開催中【府中市美術館】」Sfumart、2023年12月27日公開

齋藤萌「メディアを自在に横断し制作を続ける、白井美穂の美術館初個展」ARTAgenda、2024年1月10日公開

榎木野衣「美術評『白井美穂 森の空き地』展」東京新聞、2024年1月19日夕刊

平林由梨「ART 身近な素材で問う2人の展覧会」毎日新聞、2024年1月22日夕刊

大西若人「社会・日常から導かれる異空間」朝日新聞、2024年1月30日夕刊

白坂由里「白井美穂 森の空き地」ぴあニュース、2024年1月31日公開
宮崎正嗣「現代美術家・白井美穂さん東京で個展」中日新聞、2024年2月2日夕刊

聞き手：沢山遼「ARTIST INTERVIEW 白井美穂」『美術手帖』2024年4月号

出品作品

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵
1	白井美穂	長い休息／立ち入り禁止	平成元年(1989)	鉄、鉛、コンクリート、ロープ	佐藤春喜氏(ギャラリー古今)
2	白井美穂	前へ前へとノックする	平成元年(1989)	スキー板、鉄、コンクリート、ステンレス、油性塗料	佐藤春喜氏(ギャラリー古今)
3	白井美穂	前進と疲労	平成2年(1990)	ラッカー、ステンレス、鉛、木、アルミニウム、ラバー	佐藤春喜氏(ギャラリー古今)
4	白井美穂	Circular Time	平成27年(2015)	油絵具、アクリル、メッキ塗装、麻、鉄、パイ皿	作家蔵
5	白井美穂	Lemon Song	平成27年(2015)	木、麻、石粉粘土、フォーム、針金、油絵具	作家蔵
6	白井美穂	卓上噴水	平成2年(1990)	4冊の本、インク、テーブル、椅子、段ボール	作家蔵
7	白井美穂	Six Tables	平成3年(1991)	木、照明器具	作家蔵
8	白井美穂	Zero Light Year	平成4年(1992)	写真、額縁、照明器具	佐藤春喜氏(ギャラリー古今)
9	白井美穂	Zero Light Year	平成4年(1992)	写真、額縁、照明器具	佐藤春喜氏(ギャラリー古今)
10	白井美穂	Table	平成4年(1992)	椅子、人工樹木、木、塗料	千葉市美術館
11	白井美穂	Waterfall(Why are You Afraid of Black and White?)	平成5年(1993)	人口毛髪、木	作家蔵
12	白井美穂	Cut	平成5年(1993)	ゼラチンシルバープリント、松葉杖、木、ほか	府中市美術館
13	白井美穂	女は女である	平成8年(1996)、平成27年(2015)	キャンバスに油彩	府中市美術館
14	白井美穂	斜辺	平成5年(1993)	ベルトコンベアー、アルミニウム、鉄、音響	作家蔵
15	白井美穂	Forever Afternoon	平成20年(2008)	短編映画(15分)	府中市美術館
16	白井美穂	凍結時	昭和64年(1989)	アルミニウム、木、鉄、ワックス、塗料	作家蔵
17	白井美穂	Across the River	平成17年(2005)	布、糸、アルミニウム、アクリル	作家蔵
18	白井美穂	Mountain Moves	平成27年(2015)	アクリル、麻、綿、ケーキ型、車輪、木	作家蔵
19	白井美穂	終わりのないゲーム	平成29年(2017)	アクリル、麻、木	個人蔵
20	白井美穂	Cards-High Noon	平成30年(2018)	木に油彩	個人蔵
21	白井美穂	Cards-Hill	平成30年(2018)	木に油彩	個人蔵
22	白井美穂	Cards-Full Moon	平成30年(2018)	木に油彩	個人蔵
23	白井美穂	反転波	平成30年(2018)	キャンバスに油彩	府中市美術館
24	白井美穂	Conversion	令和2年(2020)	木に油彩、フォーム、銅	コレクション
25	白井美穂	落下する水	令和5年(2023)	キャンバスに油彩	作家蔵
26	白井美穂	Anima Mundi	令和5年(2023)	キャンバスに油彩	作家蔵
27	白井美穂	到来	令和5年(2023)	キャンバスに油彩	作家蔵
28	白井美穂	回廊	平成3年(1991)	ゼラチンシルバープリント、額縁、紙、ドラム	作家蔵

10. 春の江戸絵画まつり ほとけの国の美術

[令和6年(2024)3月9日(土)–5月6日(月休)]

開催主旨：

江戸時代の画家の制作の背景に仏教の信仰があったことは、折に触れて紹介されてきた。しかし、僧と画家のつながり、仏教的主題がそれを示すだけでなく、当時の仏教はもっと広く深く、画家たちを包み込んでいた。例えば、相国寺に納められた伊藤若冲の《動植綵絵》は、いわゆる仏画とは異なり、さまざまな動植物が生きる姿を仏の世界として表現している。若冲の篤い信仰心が生んだ制作と言えるだろう。改めて見渡せば、江戸時代には、仏教なしには生まれ得なかったものが多い。白隠や仙厓らの愉快な禅画は善の教えを普及する役目も果たし、また、多くの画家が、中世以来の人々の心にあった地獄と極楽の世界を色々なアイデアで表現している。更に、愛おしい動物の絵が盛んに描かれた背景にも、生きとし生けるものを尊ぶ仏教の教えがあるだろう。

本展では、現代人を魅了する様々な作品が、実は仏教という世界から生まれたことを紹介し、江戸時代の絵画を中心に、京都・二尊院所蔵の《二十五菩薩来迎図》のほか、近世以前の仏教美術の優品も展示した。来迎図から若冲まで、「ほとけの国」で生まれた、美しくアイデアに溢れた作品によって、仏教が多彩で豊かな創作を産んできたことを実感できる機会とした。

観覧料：

一般700円(560円)、高校生・大学生350円(280円)、小・中学生150円(120円)* ()内は20名以上の団体料金

主催：府中市美術館

出品点数：117点

入場者数：22,157名(開催日数：52日、1日平均426.0名)

印刷物：

[図録] A4判変型240頁

[ワークシート] A5判8頁

[ポスター] B2判

[チラシ] A4判二つ折り4頁

関連イベント：

[府中市生涯学習センター連携事業]「ほとけの国の美術 来迎図から子犬の絵まで」講師：金子信久(当館学芸員)、4月27日(土)、府中市生涯学習センター講堂(294名)

[会場内イベント]「ほとけの国の探検隊」会期中随時(12,239名)

配信事業：「映像で楽しむほとけの国の美術展」

関連記事：

鮫島圭代「鮫島圭代の『この名画を見に、ミュージアムへ! vol.45』春の江戸絵画まつり ほとけの国の美術」美術展ナビ、2024年3月19日公開

出品作品

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵	文化財指定
1		観経変相曼荼羅図 (当麻曼荼羅)	鎌倉時代(13世紀)	絹本着色	敦賀市・西福寺 (福井県立歴史博物館寄託)	重要文化財
2		蓮池阿弥陀如来像	室町時代(15世紀)	絹本着色	個人蔵	
3		阿弥陀二十五菩薩来迎図	鎌倉時代(13世紀)	絹本着色	福島県立博物館	重要文化財
4	土佐行広	二十五菩薩来迎図	室町時代(15世紀前半)	絹本着色	京都市・二尊院	重要美術品
5	狩野養信	日月岩波図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹本着色	敦賀市立博物館	
6	円山応挙	旭日・竜・亀図	寛政7年(1795)	絹本墨画淡彩	個人蔵	
7		柳橋水車図屏風	安土桃山時代(16世紀)	紙本金地着色	京都国立博物館	
8	狩野了承	二十六夜待図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹本着色	個人蔵	
9		春日宮曼荼羅図	鎌倉時代(13世紀–14世紀)	絹本着色	個人蔵	
10	冷泉為恭	小野小町木像模写	嘉永4年(1851)	絹本着色	敦賀市立博物館	
11		十王図	江戸時代前期(17世紀)	紙本着色	個人蔵	
12		地獄極楽図	江戸時代後期(19世紀)	紙本着色	金沢市・照円寺	
13	源信著・八田華堂画	平かな絵入往生要集	明治時代(19世紀後半) *初版は嘉永年間(1848–54)	版本	個人蔵	
14	岩佐又兵衛	達磨図	江戸時代前期(17世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	
15	遂翁元盧	隻履達磨図	江戸時代中期(18世紀)	紙本墨画	個人蔵	
16	白隠慧鶴	達磨図	江戸時代中期(18世紀)	紙本墨画	個人蔵	
17	長谷川等意	叭々鳥図	江戸時代前期(17世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	
18	甫雪等禅	叭々鳥図	室町時代(16世紀)	紙本墨画	個人蔵	
19	風外本高	虎図自画賛	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画淡彩	個人蔵	
20	仙厓義梵	竹虎図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	
21	鈴木芙蓉	蝦蟇鉄拐図	江戸時代中期–後期 (18世紀後半–19世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	
22	狩野山雪	松に小禽・泉図	江戸時代前期(17世紀)	紙本墨画淡彩	摘水軒記念文化振興財団 (府中市美術館寄託)	
23	仙厓義梵	文殊菩薩像	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵	文化財指定
24	喜多元規	隠元・即非・木庵像	延宝7年(1679)	紙本着色	個人蔵	
25	白隠慧鶴	拝牛図	江戸時代中期(18世紀)	紙本墨画	個人蔵	
26	仙厓義梵	三福神図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	
27	仙厓義梵	恵比寿図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	
28	白隠慧鶴	恵比寿図	江戸時代中期(18世紀)	紙本墨画	個人蔵	
29	狩野探幽	文殊菩薩騎獅像	江戸時代前期(17世紀)	絹本着色	個人蔵	
30	谷文晁	八臂弁才天像	文化3年(1806)	絹本着色	個人蔵	
31	鈴木其一	毘沙門天像	嘉永7年(1854)	絹本墨画金泥	個人蔵 (京都国立博物館寄託)	
32	大岡春卜	毘沙門天像	江戸時代中期(18世紀)	絹本着色	個人蔵	
33	鈴木其一	茶枳尼天像	江戸時代後期(19世紀)	絹本着色	個人蔵	
34	菊池容斎	釈迦三尊・十六羅漢・十大弟子像	明治4年(1871)	絹本着色	東京都墨田区・回向院	
35	冷泉為恭	五髻文殊菩薩像	天保14年(1843)	絹本着色	個人蔵	
36	酒井抱一	文殊菩薩像	江戸時代後期(19世紀前半)	絹本着色	個人蔵	
37	豪潮	日天・月天像	文政12年(1829)	紙本墨画淡彩	個人蔵	
38	冷泉為恭	弘法大師・不動明王・地藏菩薩像	江戸時代後期(19世紀後半)	絹本着色	敦賀市立博物館	
39		星曼荼羅図	江戸時代中期(18世紀)	紙本着色	個人蔵	
40	曾我蕭白	寒山拾得図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹本墨画	個人蔵	
41	原在中	寒山拾得図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本墨画	個人蔵	
42	徳川綱吉	寒山拾得図	江戸時代前期-中期 (17世紀後半-18世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	
43	白隠慧鶴	豊干禪師・寒山拾得図	江戸時代中期(18世紀)	紙本墨画	個人蔵	
44	仙厓義梵	豊干禪師図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	
45	月岡雪鼎	見立豊干禪師図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹本着色	個人蔵	
46	曾我蕭白	雪山童子図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本着色	松阪市・継松寺	三重県指定有形文化財
47	近藤勝信	鍾馗と遊女図	江戸時代中期(18世紀前半)	紙本着色	個人蔵	
48	風外本高	鍾馗と鬼図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画淡彩	個人蔵	
49	冷泉為恭	不動明王像	嘉永7年(1854)	絹本着色	敦賀市立博物館	
50	谷文晁・喜多武清	逆立ちする不動明王と兎と蛙	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	
51	椿椿山	白衣観音図	弘化4年(1847)	絹本墨画淡彩	個人蔵	
52	中林竹溪	観音像	江戸時代後期(19世紀)	絹本着色	個人蔵	
53	白隠慧鶴	観音図	江戸時代中期(18世紀)	絹本墨画淡彩	個人蔵	
54	清原雪信	鯉魚観音図	江戸時代前期(17世紀)	紙本着色	個人蔵	
55	河鍋曉斎	波乗り観音図屏風	明治時代(19世紀後半)	紙本着色	個人蔵 (府中市美術館寄託)	
56		釈迦如来十六羅漢図	鎌倉時代(14世紀前半)	絹本着色	須賀川市立博物館	重要美術品
57	伊藤若冲	石峰寺図	寛政元年(1789)	絹本墨画	京都国立博物館	
58	逸見一信	降竜伏虎羅漢図	江戸時代後期(19世紀)	紙本墨画淡彩金泥	個人蔵	
59	鈴木鷺湖	十六羅漢図	江戸時代後期(19世紀)	絹本墨画淡彩	個人蔵	
60	仙厓義梵	十六羅漢図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	
61	歌川国芳	美達 住楼久楽甃	嘉永2-5年(1849-52)	大判錦絵	個人蔵	
62	白隠慧鶴	辰松布袋図	江戸時代中期(18世紀)	紙本墨画	個人蔵	
63	白隠慧鶴	すたすた坊主図	江戸時代中期(18世紀)	紙本墨画	個人蔵	
64	葛飾北斎	布袋図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本着色	個人蔵	
65	酒井鶯蒲	布袋図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画淡彩	個人蔵	
66	春叢紹珠	皿回し布袋図	江戸時代中期-後期 (18世紀後半-19世紀前半)	紙本墨画	個人蔵	
67	悟心元明	阿弥陀如来像	宝暦4年(1754)	紙本墨画淡彩	個人蔵	
68	英一蝶	大仏見物順礼図	江戸時代中期(18世紀前半)	紙本着色	個人蔵	
69	歌川国芳	奈良の大仏と浅草観音	弘化3-嘉永元年(1846-48)	間倍判錦絵	個人蔵	
70	歌川国芳	下女如来障子へうつる法のかげ	嘉永2年(1849)	大判錦絵	個人蔵	
71	歌川国芳	お盆を拭くお竹	嘉永2年(1849)	大判錦絵	個人蔵	
72	歌川国芳	於竹大日如来の伝	嘉永2年(1849)	大判錦絵	個人蔵	
73	歌川国芳	婢女於竹之説	嘉永2年(1849)	大判錦絵	個人蔵	
74	歌川国芳	おたけ大日如来 略えんぎ	嘉永2年(1849)	大判錦絵	個人蔵	
75	歌川国芳	於竹大日如来	嘉永2年(1849)	大判錦絵	個人蔵	
76	歌川国芳	おたけ大日如来	嘉永2年(1849)	大判錦絵	個人蔵	
77	歌川国芳	於竹大日如来 だい所どうぐさんけいのづ	嘉永2年(1849)	大判錦絵	個人蔵	
78	歌川国芳	於竹大日如来	嘉永2年(1849)	大判錦絵	個人蔵	
79	円空	聖観音菩薩立像	江戸時代前期(17世紀)	木造	個人蔵	
80	円空	十一面観音菩薩立像	江戸時代前期(17世紀)	木造	個人蔵(埼玉県立歴史と民俗の博物館寄託)	埼玉県指定有形文化財

No.	作者名	作品名	制作時期	材質・技法	所蔵	文化財指定
81	円空	秋葉大権現及び両脇侍立像	江戸時代前期(17世紀)	木造	個人蔵(埼玉県立歴史と民俗の博物館寄託)	埼玉県指定有形文化財
82	円空	制吒迦童子立像	江戸時代前期(17世紀)	木造	個人蔵(埼玉県立歴史と民俗の博物館寄託)	埼玉県指定有形文化財
83	円空	矜羯羅童子立像	江戸時代前期(17世紀)	木造	個人蔵(埼玉県立歴史と民俗の博物館寄託)	埼玉県指定有形文化財
84	木喰	五智如来・普賢菩薩像	文化2年(1805)	木造	個人蔵	
85		仏涅槃図	鎌倉時代(13世紀後半-14世紀前半)	絹本着色	個人蔵	
86		八相涅槃図	享保12年(1727)	絹本着色	名古屋市・西来寺	
87		仏涅槃図	江戸時代中期(18世紀)	紙本着色	個人蔵	
88	伊藤若冲	白象図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本墨画	個人蔵	
89	柴田義董	動物図押絵貼屏風	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画淡彩	摘水軒記念文化振興財団	
90	長沢蘆雪	春景群鳥図	寛政10年(1798)	絹本着色	個人蔵	
91	狩野栄信	牡丹子犬図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹本着色	個人蔵	
92	長沢蘆雪	藤花颯図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹本着色	個人蔵	
93	森徹山	狸図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本着色	摘水軒記念文化振興財団(府中市美術館寄託)	
94	円山応挙	雪溪双熊図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本着色	個人蔵	
95	狩野雅信	蘆舟鷺図	江戸時代後期(19世紀)	絹本墨画淡彩	個人蔵	
96	毛利就楨	颯と雀図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹本着色	個人蔵	
97	狩野永泰	放生図	江戸時代後期(19世紀前半)	絹本着色	個人蔵	
98		梅花三猿図	室町時代(15世紀-16世紀)	紙本墨画	個人蔵	
99	岸勝	猿の坐禅図	江戸時代後期-明治時代(19世紀)	絹本墨画	摘水軒記念文化振興財団(府中市美術館寄託)	
100	森狙仙	猿図	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)	絹本墨画淡彩	個人蔵	
101	伊藤若冲	猿蟹図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本墨画	個人蔵	
102	円山応挙	猿猴図	寛政4年(1792)	絹本墨画淡彩	個人蔵	
103	佐脇英之	業平朝臣涅槃図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本着色	個人蔵	
104	上田公長	芭蕉涅槃図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨画淡彩	個人蔵	
105	吉村孝敬	蜘蛛・鷹・熊図	天保4年(1833)	絹本着色	個人蔵	
106	部関月	熊・蟻螂・蜘蛛図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本墨画	摘水軒記念文化振興財団	
107	長沢蘆雪	月下蜘蛛図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本墨画淡彩	個人蔵	
108	円山応挙	芭蕉と虫図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本墨画	個人蔵	
109	伊藤若冲	垣豆群虫図	寛政2年(1790)	絹本着色	個人蔵	
110	長沢蘆雪	牡丹群蟻図	江戸時代中期(18世紀後半)	絹本着色	個人蔵	
111	俵屋宗達	狗子図	江戸時代前期(17世紀)	紙本墨画	個人蔵	
112	円山応挙	時雨狗子図	明和4年(1767)	絹本墨画淡彩	府中市美術館	
113	円山応挙	雪中狗子図	安永7年(1778)	絹本墨画淡彩	個人蔵	
114	長沢蘆雪	童子に狗子図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本着色	個人蔵	
115	長沢蘆雪	枯木狗子図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本墨画淡彩	個人蔵	
116	長沢蘆雪	狗児図	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本墨画	個人蔵	
117	長沢蘆雪	子犬図屏風	江戸時代中期(18世紀後半)	紙本着色	個人蔵	

3 | コレクション展

当館では開館以来「常設展」として、会期ごとにテーマを定めて所蔵作品から約80～120点を選び、常設展示室にて展示している。しかし「常設展」という名称が常に同じ作品が展示されているという印象を与え、会期ごとに展示替えを行っていることやテーマ性のある展示を行っていることが伝わりにくいため、令和5年度から通称として「コレクション展」という名称を使用している。

令和4年度

- 第Ⅰ期 「牛島憲之の『かたち』」「府中・多摩を描く／府中・多摩で描く」
令和4年(2022)5月21日(土)～7月10日(日)
- 第Ⅱ期 「版画いろいろ」
令和4年(2022)7月23日(土)～9月11日(日)
- 第Ⅲ期 「くらしのなかの美術—5つのテーマから見る府中市美術館コレクション」
「牛島憲之名作選」
令和4年(2022)9月23日(金祝)～12月4日(日)
- 第Ⅳ期 「みること・つくること・さわること」
「牛島憲之名作選」
令和4年(2022)12月17日(土)～令和5年(2023)2月26日(日)
- 第Ⅴ期 「コレクション・ア・ラ・カルト」
令和5年(2023)3月11日(土)～5月7日(日)

令和5年度

- 第Ⅰ期 「戦後のリアルと幻想」
「F市 縦軸の旅」
「牛島憲之 水辺を描く」
「府中・多摩ゆかりの美術」
令和5年(2023)5月20日(土)～7月9日(日)
- 第Ⅱ期 「5つの部屋」
令和5年(2023)7月22日(土)～9月3日(日)
- 第Ⅲ期 「コレクション・セレクション」
「牛島憲之 しぜんのかたち」
「ものがたる絵画」
令和5年(2023)9月16日(土)～11月26日(日)
- 第Ⅳ期 「コレクション選 江戸から現代まで」
令和5年(2023)12月16日(土)～令和6年(2024)2月25日(日)
- 第Ⅴ期 「色彩のイマージュ」
「牛島憲之の街歩き」
「現代美術コレクション2000～2020」
令和6年(2024)3月9日(土)～5月6日(月休)

2 | 美術資料の修復

令和4年度

小山田二郎《鳥女》

令和5年度

吉田博《川のある風景》

3 | 作品貸出状況

展覧会名

会場 会期

貸出作品

令和4年度

「うらわ美術館開館22周年 芸術家たちの住むところ」

うらわ美術館 令和4年(2022)4月23日(土)～8月28日(日)

鹿子木孟郎《日本髪の裸婦》

鹿子木孟郎《赤羽風景》

鹿子木孟郎《埼玉県北足立郡与野町》

鹿子木孟郎《中山道原村》

鹿子木孟郎《画塾》

鹿子木孟郎《画塾》

瑛九《眠りの理由》

「亜欧堂田善没後200年記念展—銅版画の世界—」

須賀川市立博物館 令和4年(2022)4月26日(火)～6月5日(日)

亜欧堂田善《甲州猿橋之眺望》

亜欧堂田善《墨堤観桜図》(寄託)

亜欧堂田善《海浜アイヌ図》(寄託)

「展覧会 岡本太郎」

大阪中之島美術館 令和4年(2022)7月23日(土)～10月2日(日)

東京都美術館 令和4年(2022)10月18日(火)～12月28日(水)

愛知県美術館 令和5年(2023)1月28日(土)～4月2日(日)

岡本太郎《コンポジション》

「生誕140年 ふたつの旅 青木繁×坂本繁二郎」

アーティゾン美術館 令和4年(2022)7月30日(土)～10月16日(日)

久留米市美術館

令和4年(2022)10月29日(土)～令和5年(2023)1月22日(日)

青木繁《海景》

青木繁《少女群舞》

「国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術」

福岡市美術館 令和4年(2022)9月3日(土)～10月16日(日)

円山応挙《時雨狗子図》

円山応挙《猛虎図》(寄託)

長沢蘆雪《狗子図》(寄託)

森狙仙《群獣図巻》(寄託)

「鉄道と美術の150年」

東京ステーションギャラリー

令和4年(2022)10月8日(土)～令和5年(2023)1月9日(月祝)

鹿子木孟郎《滝の川村字田端》

松田諦晶《迫暮の羽犬塚駅》

「桃源郷通行許可証」

埼玉県立近代美術館

令和4年(2022)10月22日(土)～令和5年(2023)1月29日(日)

山田正亮《Work C.105》

「黒川弘毅——彫刻／触覚の理路」

武蔵野美術大学 美術館・図書館

令和4年(2022)10月24日(月)～11月20日(日)

黒川弘毅《Eros no.35》

黒川弘毅《Eros no.36》

黒川弘毅《Eros no.37》

黒川弘毅《Eros no.38》

「没後200年 亜欧堂田善 江戸の洋風画家・創造の軌跡」

福島県立美術館 令和4年(2022)10月29日(土)～12月18日(日)

千葉市美術館 令和5年(2023)1月13日(金)～2月26日(日)

亜欧堂田善《海浜アイヌ図》(寄託)

司馬江漢《オランダ馬図》(寄託)

ヤン・ヨンストン《動物図譜》

「雰囲気のかたち—見えないもの、形のないもの、そしてここにあるもの」

うらわ美術館

令和4年(2022)11月15日(火)～令和5年(2023)1月15日(日)

牛島憲之《昼の月》

牛島憲之《堤》

牛島憲之《残夏》(寄託)

令和5年度

「栃木市立美術館開館記念展 明日につなぐ物語」

栃木市立美術館 令和5年(2023)4月15日(土)～6月18日(日)

清水登之《チャイルド洋食店》

「没後20年 麻生三郎展 三軒茶屋の頃、そしてベン・シャーン」

世田谷美術館 令和5年(2023)4月22日(土)～6月18日(日)

麻生三郎《赤い壁と人》

「イギリス風景画と国木田独歩」

茅ヶ崎市美術館 令和5年(2023)6月18日(日)～8月27日(日)

アルフレッド・イースト《富士山》

チャールズ・ワーグマン《街道風景》

鹿子木孟郎《小金井》
鹿子木孟郎《綾瀬》
鹿子木孟郎《北多摩郡府中駅》
鹿子木孟郎《板橋》
鹿子木孟郎《ヴェネツィア風景》
鹿子木孟郎《赤羽風景》
沼辺強太郎《小さな社のある浜》
丸山晚霞《藤沢》
五百城文哉《小金井の桜》
吉田博《雨上がりの少年のいる風景》
吉田ふじを《鳥居のある風景》
本多錦吉郎《風景》
小山正太郎《猿橋》
満谷国四郎《馬のいる渡船場》
吉沢儀造《鶏の遊ぶ村》
大下藤次郎《青梅附近》
牧野義雄《チェルシー発電所遠望》
牧野義雄《テムズ川からウインザー城を望む》
石川欽一郎《八瀬にて》

「奇想天外×大胆不敵 浮世絵師 歌川国芳展」
秋田県立近代美術館 令和5年(2023)9月9日(土)～11月5日(日)
司馬江漢《異国戦闘図》(寄託)

「春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」
東京ステーションギャラリー 令和5年(2023)9月16日(土)～11月12日(日)
栃木県立美術館 令和6年(2024)1月13日(土)～3月3日(日)
長野県立美術館 令和6年(2024)3月16日(土)～5月12日(日)
碧南市藤井達吉現代美術館 令和6年(2024)5月25日(土)～7月7日(日)
河野通勢《芝居図》
倉田三郎《風景》

「特別展 いぬねこ彩—東アジアの犬と猫の絵画—」
大和文華館 令和5年(2023)10月7日(土)～11月12日(日)
円山応挙《時雨狗子図》
長沢蘆雪《狗子図》(寄託)
狩野養信《牡丹に猫図》(寄託)
狩野探信《遊狗図》(寄託)

「激動の時代 幕末明治の絵師たち」
サントリー美術館 令和5年(2023)10月11日(水)～12月3日(日)
安田雷州《丁未地震》
安田雷州《鷹図》(寄託)

「栃木県誕生150年記念 下野新聞創刊145周年記念 県立美術館 企画展 文晁と北斎—このふたり、ただものにあらず」
栃木県立美術館 令和5年(2023)10月21日(土)～12月24日(日)
葛飾北斎《雪中鷺図》(寄託)
葛飾北斎《糸瓜に雀図》(寄託)
谷文晁《夏山霽靄図》

谷文晁《駱駝図》(寄託)
谷文晁《桃に綬帯鳥・芥子に蝶・牡丹に蝶図》(寄託)

「芥川龍之介と美の世界 二人の先達—夏日漱石、菅虎雄」
久留米市美術館
令和5年(2023)10月28日(土)～令和6年(2024)1月28日(日)
神奈川県立近代美術館 葉山
令和6年(2024)2月10日(土)～4月7日(日)
石井柏亭《並蔵》

「ミュシャとパリの画塾」
堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市立文化館)
令和5年(2023)12月2日(土)～令和6年(2024)3月31日(日)
ラファエル・コラン《フロリアル》
ラファエル・コラン《田園恋愛詩》
ジャン＝ポール・ローランス《イレーヌ》
ジャン＝ポール・ローランス《オリエントの皇后》
ジャン＝ポール・ローランス《ピエトロ》
鹿子木孟郎《シヨールをまとう女》
鹿子木孟郎《室内》
鹿子木孟郎《ヴェネツィア風景》
鹿子木孟郎《ノルマンディーの浜》
鹿子木孟郎《橋の下》
中村不折《八重の潮路》
中村不折《竜眠帖》

「『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本」
京都府京都文化博物館
令和5年(2023)12月16日(土)～令和6年(2024)2月4日(日)
板橋区立美術館 令和6年(2024)3月2日(土)～4月14日(日)
三重県立美術館 令和6年(2024)4月27日(土)～6月30日(日)
瑛九《眠りの理由》
小山田二郎《手》

「藤島武二没後80年 鹿子木孟郎生誕150年 洋画の青春—明治期・三重の若き画家たち」
三重県立美術館 令和6年(2024)1月27日(土)～4月14日(日)
鹿子木孟郎《日本髪裸婦》
鹿子木孟郎《野菜図》
鹿子木孟郎《横向きの男》
鹿子木孟郎《根津権現》
鹿子木孟郎《北豊島郡田畑谷田橋》
鹿子木孟郎《人物写生会ニテ》
鹿子木孟郎《田無駅》
鹿子木孟郎《上板橋之一寺》
鹿子木孟郎《吉野山》
鹿子木孟郎《高野山》
鹿子木孟郎《画塾》
鹿子木孟郎《画塾》
吉沢儀造《鶏の遊ぶ村》

「印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵」
 東京都美術館 令和6年(2024)1月27日(土)–4月7日(日)
 郡山市立美術館 令和6年(2024)4月20日(土)–6月23日(日)
 東京富士美術館 令和6年(2024)7月6日(土)–9月29日(日)
 あべのハルカス美術館
 令和6年(2024)10月12日(土)–令和7年(2025)1月5日(日)
 児島虎次郎《ルクサンブール公園の噴水》
 中沢弘光《舞子》

「ここは未来のアーティストたちが眠る部屋となりえてきたか?——国立
 西洋美術館65年目の自問 | 現代美術家たちへの問いかけ」
 国立西洋美術館 令和6年(2024)3月12日(火)–5月12日(日)
 松浦寿夫《中庭の微風》

4 | 図書及びその他の資料

美術図書室

府中市美術館には、全国的に見ても美術図書室としては有数の規模を誇る、美術に関する資料を集めた図書館がある。ここでは、国内外の古い雑誌のバックナンバーや展覧会カタログを含む、主に近現代の美術を中心とする文献資料や情報を収蔵しており、これを無料で公開している。

利用者は検索コンピュータを利用し、図書の自由な検索ができる。図書の貸出しは行なっていないが、著作権の問題が生じない範囲内で複写を利用できる。また、企画展の開催にあわせて「展覧会関連本」紹介コーナーを設けている。

蔵書一覧

		令和3年度以前	令和4年度	令和5年度	蔵書数
受入数(冊)		68,760	1,409	1,425	71,594
内訳	書籍	46,279	1,152	1,050	48,481
	雑誌	22,438	257	375	23,070
	その他(DVD、複製本など)	43	0	0	43

3

教育普及事業

1 | 公開制作・公開制作関連事業

公開制作は、美術各分野の専門家を招聘し、美術館常設の公開制作室で作品制作をしてもらい、そのプロセスとテクニックを公開する事業である。芸術家と市民が直接ふれあう機会をつくり、一般的な講座等では得られない創造性を媒介とした、生きた学習の場を提供することを目的としている。多岐にわたる美術ジャンル、すぐれた美術作家の中から、教育的な観点、現代的な話題性などを考慮し、ふさわしい作家を紹介している。各作家は、基本的に

美術館に通って制作を行う。期間中、アーティストトークやワークショップなど、観客が参加できるイベントを交え、現代の美術表現の紹介とともに教育普及活動としての複合効果もねらっている。また「公開制作アーカイブ」は、公開制作の記録を整理し、過去の資料とあわせて公開するものである。1プログラム(作家)ごとに、写真、映像、印刷物、書類等をまとめ、美術館活動の記録とするとともに、現代の作品制作の基礎資料の形成を目指している。

令和4年度

公開制作84 幸田千依「空と競馬場」

令和4年(2022)4月16日(土)～7月10日(日)

公開制作85 スポークンワーズプロジェクト「スポークンワーズプロジェクトによるスポークンワーズプロジェクト」

令和4年(2022)7月23日(土)～12月4日(日)

公開制作アーカイブ

令和4年(2022)12月17日(土)～令和5年(2023)3月26日(日)

令和5年度

公開制作86 馬場稔郎「animalier ～白いキリンの夢～」

令和5年(2023)4月15日(土)～7月9日(日)

公開制作87 今井俊介

令和5年(2023)7月22日(土)～11月26日(日)

公開制作88 高田安規子・政子「くり返すカタチ」

令和5年(2023)12月16日(土)～令和6年(2024)2月25日(日)

公開制作アーカイブ

令和6年(2024)3月9日(土)～3月24日(日)

公開制作 84

「空と競馬場」

アーティスト：幸田千依

会期：令和4年(2022)4月16日(土)～7月10日(日)

制作日：

4月16日(土)・24日(日)、5月1日(日)・4日(水祝)・31日(火)、6月4日(土)・7日(火)・12日(日)・19日(日)・28日(火)(全10回)

制作場所：公開制作室

展示：6月29日(水)～7月10日(日)

土日の13:00～17:00は、普及員がガイド活動を行った(計4日)。

関連イベント：

[ワークショップ]「みんなの点が山になる」講師：幸田千依、7月2日(土)、18名
[トークイベント]「アーティストトーク 幸田千依」スピーカー：幸田千依、7月3日(日)、10名

制作内容：

幸田千依は、日本各地の様々な場所に滞在しながら制作を行うレジデンスプログラムを中心として活動を重ねてきた作家である。滞在先の日常生活に根差した何気ない風景を印象的に描き出してきた。自身が絵を描くこと、そして絵の前で人と出会うことを重視して、公開制作も数多く行っている。

今回の制作にあたり、幸田は過去に訪れたことのある東京競馬場を題材として選んだ。当初、2月に現地を取材して制作した《2月の空と競馬場》という、夕方の競馬場が描かれた作品をもとにドローイングを重ね、大画面の作品を完成させる構想であった。しかし公開制作室を訪れる人々の東京競馬場への想いや数々のエピソードを聞いたことで計画を変更し、5月の競馬場を題材とした作品を描くこととなった。幸田は5月末に行われた日本ダービーを取材し、その日の様子を描いた《5月の空と競馬場》という作品を完成させた。完成作品には「日本ダービー」という一大レースの開始を目前に控えた熱



気渦巻く東京競馬場の様子と、それとは対照的に穏やかに広がる空とが描かれた。

昭和8年(1933)に府中に移転してきた東京競馬場は今日では府中の名所の一つとなっており、公開制作室を訪れた実に多くの人々が、自身と競馬場との関わりや様々な思い出を幸田と語り合った。府中という場所に立地する美術館ならではの公開制作となった。

ワークショップ：

幸田千依を講師に、小学校3年生以上を対象としたワークショップ「みんなの点が山になる」を実施した。小学生から一般まで幅広い年齢層の参加者たちは、幸田の指示のもと、様々な色で点や線を描いていき、最後に18人の参加者の作品をつなぎ合わせて、大きな山の姿が描き出された。完成作は、幸田の作品と共に展示された。

アーティストトーク：

幸田がこれまで全国で重ねてきた滞在制作を中心に、絵画制作の歩みを振り返るとともに、今回の公開制作について振り返る機会となった。

「スポークンワーズプロジェクトによるスポークンワーズプロジェクト」

アーティスト：

スポークンワーズプロジェクト (spoken words project:ファッションデザイナー、アパレル主宰、代表飛田正浩、三橋菜穂子)

会期：令和4年(2022)7月23日(土)～12月4日(日)

制作日：

7月23日(土)、9月10日(土)・11日(日)・25日(日)、10月8日(土)・23日(日)、11月12日(土)・19日(土)(全8回)

制作場所：公開制作室

展示：11月23日(水)～12月4日(日)

土日祝日の13:00～17:00は、普及員がガイド活動を行った(計4日)。

関連イベント：

[ワークショップ]「今日にも着たい服をつくろう サイコーの1着・子ども編」講師：スポークンワーズプロジェクト、8月20日(土)、創作室、19名

[ワークショップ]「今日にも着たい服をつくろう サイコーの1着・ティーンズ編」講師：スポークンワーズプロジェクト、8月21日(日)、創作室、10名

[ワークショップ]「今日にも着たい服をつくろう サイコーの1着・エピソード付き大人編」講師：スポークンワーズプロジェクト、8月27日(土)、28日(日)(2日連続)、創作室、12名

[トークイベント]「アーティストトーク スポークンワーズプロジェクト」スピーカー：飛田正浩(スポークンワーズプロジェクト)、11月26日(土)、講座室、30名

[公開制作作家派遣連携事業]府中市立浅間中学校2年生6クラス、講師：飛田正浩(スポークンワーズプロジェクト)、11月25日(金)6校時、210名

制作内容：

デザイナーの飛田正浩が主宰するファッションブランド、スポークンワーズプロジェクトは、1995年東京コレクションに参加、以後手作業による染めやプリントを活かした服を発表している。舞台美術やテキスタイルデザインに加えて、ワークショップや展示活動も積極的にを行い、ファッションの領域を超えて常に新しい試み続ける。

公開制作では、衣料の大量廃棄の問題をテーマとし、一般から古着を集めて、スポークンワーズプロジェクトの代表的なプリントを加えて、服を生まれ変わらせる制作を行った。参加者が自らプリントするワークショップも行い、好評を得た。

後半はspoken words project が得意としてきた、手作業による生地づくりを行った。夏のワークショップの経験からインスピレーションを得て、これまでにない新しいプリント生地を作り出した。残念ながら製品化までいたらなかったが、創作の源泉が垣間見られた公開制作となった。展示期間中の来場者の関心も高く、身近なファッションについて再発見してもらう機会となった。

公開制作やワークショップで古着をリメイクするとき、スポークンワーズプロジェクトは、来館者とじっくり話をしてその人と服との関わりを聞き出していた。効率性からほど遠い、見返りが保証されない行為である。個別に服と付き合うとは、このように時間のかかるプロセスをとるのだということが、しっかりと伝わってきた。



ワークショップ：

「今日にも着たい服をつくろう」(全3回)

8月後半は3回4日間、ワークショップ「今日にも着たい服をつくろう」を開催した。参加者が持参した服に、新たにプリントを加えて、「サイコーの1着」に生まれ変わらせる。型紙を用いたシルクスクリーンプリントは、スポークンワーズプロジェクトの代名詞ともいえる。「子ども編」、「ティーンズ編」では、スポークンワーズプロジェクトの型紙を使ってリメイク。たくさんあるアーカイブのなかから好きなものを選び出し、配置と色を決めて、プリントした。自由な発想のデザインが生まれていた。「エピソード付き大人編」では、型紙から参加者が作った。リメイクのポイントを探するために、服との思い出や服の特徴などについて話し合う。翌日に型紙を切り抜き、プリントした。仕事のときに気持ちがあがる服、くつろげる服、自分が好きになる服など、参加者にとってかけがえのない服ができあがっていた。

アーティストトーク：

これまでの活動を、豊富なスライドとともに説明した。また、公開制作について振り返った。

公開制作作家派遣連携事業：

府中市立浅間中学校の2年を対象に、派遣授業で初めて中学生向けにレクチャーを行った。ファッション分野に限らず、将来のことや、既存の価値観を覆すようなアーティストの発想に、生徒たちは刺激と励ましを得ていた様子だった。

「animalier ～白いキリンの夢～」

アーティスト：馬場稔郎

会期：令和5年(2023)4月15日(土)～7月9日(日)

制作日：

4月15日(土)・23日(日)、5月6日(土)・7日(日)・21日(日)・28日(日)、6月3日(土)・4日(日)・11日(日)・25日(日)

制作場所：公開制作室

展示：6月27日(火)～7月9日(日)

土日祝日の13:00～17:00は、普及員がガイド活動を行った(計4日)。

関連イベント：

[ワークショップ]「木彫道場」講師：馬場稔郎、4月29日(土祝)、5月27日(土)、6月24日(土)(3回連続)、創作室、12名

[トークイベント]「アーティストトーク 馬場稔郎 animalier ～白いキリンの夢～」スピーカー：馬場稔郎、7月1日(土)、講座室、40名

[公開制作作家派遣連携事業]府中市立府中第四小学校5年生2クラス、講師：馬場稔郎、11月7日(火)5・6校時、12月12日(火)1・2校時、69名

制作内容：

彫刻家・馬場稔郎は、木彫という伝統的な技法を用いて動物を題材とした作品を数多く制作してきた作家である。『animalier』と名付けられた動物彫刻のシリーズの出発点となったのが、「白いキリン」だった。当初、馬場の空想の産物として制作された存在だったが、その後アフリカに白いキリンが実在することを知り、馬場にとってより重要なモチーフとなっていった。

今回の公開制作で、馬場はこれまで何度も取り組んできた「白いキリン」に改めて取り組んだ。体長1メートルほどのキリンが木曽檜を用いて制作された。足や胴体など、分割されたパーツを組み合わせる「寄木造り」の手法を用い、丁寧に形を整え彩色が施されていった。公開制作室には馬場がこれまで手掛けてきた動物彫刻の作品や、制作過程がわかるような作品も置かれ、今にも語りだしそうな動物の姿に惹かれて多くの人々が訪れた。この場ではじめて「木彫」という技法と出会った人々も少なくなく、彫刻刀や鑿などの道具や馬場の作業を興味深く見つめていた。



ワークショップ：

馬場は、自身の公開制作を木彫という技法自体の普及活動ととらえ、積極的に取り組んできた。本公開制作においては「木彫道場」と名付けた連続ワークショップを開催し、各自で制作したい題材を持ち寄り、モチーフを図面に起こすところから彩色に至るまでの工程に取り組んだ。彫刻刀を握るのは小学校以来という参加者も多かったが、馬場の丁寧なサポートもあり、皆思い思いの動物の姿を完成させていった。

アーティストトーク：

「animalier」シリーズの動物彫刻を中心に、馬場のこれまでの作品の数々を振り返り、肖像彫刻とは異なるアプローチについて馬場の思いが語られた。また今回の制作のプロセスを一つ一つ丁寧に確認する機会となった。

公開制作作家派遣連携事業：

「ゲストティーチャーによるスペシャル図工 めざせアニマリア!ぐるぐるまきまき動物」と題し、府中市立府中第四小学校5年生2クラスに授業を行った。最初に学年全体に対して馬場の作家活動について紹介したのち、クラスごとにペットボトルと針金を芯材とし、表面をテーピングテープで造形する動物の制作に取り組んだ。思い思いの動物の姿が完成し、完成作品は府中第四小学校の展示会にも展示された。

「今井俊介」

アーティスト：今井俊介

会期：令和5年(2023)7月22日(土)～11月26日(日)

制作日：

7月22日(土)、7月23日(日)、8月6日(日)、8月27日(日)、9月3日(日)、9月17日(日)、9月23日(土祝)、10月7日(土)、10月21日(土)、10月22日(日)、11月4日(土)、11月12日(日)

制作場所：公開制作室

展示：11月18日(土)～11月26日(日)

土日祝日の13:00～17:00は、普及員がガイド活動を行った(計5日)。

関連イベント：

[トークイベント・ワークショップ]「イマシュンさん、公開制作の調子はいかがで



すか?」講師:今井俊介、9月2日(土)、トークイベント:公開制作室、9名/ワークショップ:創作室、17名

[ワークショップ]「イマシユンと一緒に風景画を描こう!」講師:今井俊介、9月30日(土)、創作室、17名

[トークイベント]「アーティストトーク 今井俊介」スピーカー:今井俊介、ゲスト:千葉正也(画家)、11月25日(土)、講座室、37名

[公開制作作家派遣連携事業]府中市立府中第二小学校6年生6クラス、講師:今井俊介、9月15日(金)5・6校時、12月20日(水)3・4校時、202名
制作内容:

今井俊介の絵は、具象であり抽象でもあることで、現実の空間と絵画の空間をリアルにつなげる。現代的な色彩とデザイン感覚も魅力である。その制作はシステム化されており、多くの手順が定式化されている。まずコンピューター上でグラフィックソフトを用いて矩形や円を配した図柄を作り、紙に出力する。紙を曲げて図柄を物理的に歪ませ、写真に撮る。その写真データを、再びコンピューターで加工して原画をつくる。自作の色チップをつかって色を決める。スライドを用いて、図をキャンバスに転写する。キャンバスは手製の木軸パネルの上にローキャンバス(地塗りのないキャンバス)を張ったもので、下地も自分で塗っている。細筆2本と平筆1本を中心に、ときに刷毛を用いて、色面を塗り分けていく。描き終わると、キャンバスを別の木枠に張り直す。この木枠も手作りだ。

これらの作業が、公開制作室で繰り返された。今井は、マスキング等の補助材は使わず、フリーハンドで描いていた。その手を止めることなく、訪れた人たちの質問に答えていた。最終的に、16点の絵が生まれた。

ワークショップ:

「イマシユンさん、公開制作の調子はいかがですか?」では、前半を振り返っての報告会と、今井俊介の絵を追体験するミニワークショップを行った。「イマシユンと一緒に風景画を描こう!」では、今井俊介の絵づくりを追体験した。府中の森公園で撮影した写真をもとに、拡大やトリミング、色の変換を行い絵を描いた。視点を変えることが、風景画を描く出発点となった。

アーティストトーク:

ゲストに千葉正也(画家)を迎え、同世代で多摩地域にスタジオを持つ画家どうし、気になる画家をスライドで紹介しながら、存分に絵について語り合った。

公開制作作家派遣連携事業:

府中市立府中第二小学校で出張授業を実施した。最初の授業では、今井がこれまでの活動や作品について話し、児童からたくさんの質問に答えた。その後図工専科の浅岡先生が引き継ぎ、児童は校舎の風景を撮影し、その風景と自分との関わりを考え、部分を拡大したり実際とは異なる着彩をしたりして、絵を描いた。卒業を前に、6年間の学校生活を振り返る時間ともなった。完成作品は11月の学校の展覧会で展示された。12月に再び子どもたちは集まり、今井とともに作品を鑑賞した。グループ鑑賞を通して、作品を語る言葉を探し、他者の言葉を理解しようとする経験を持った。画家として独立する今井の話聞くことで、将来への想像力を育む機会ともなった。集まり、今井とともに作品を鑑賞した。グループ鑑賞を通して、作品を語る言葉を探し、他者の言葉を理解しようとする経験を持った。画家として独立する今井の話聞くことで、将来への想像力を育む機会ともなった。

公開制作 88

「くり返すカタチ」

アーティスト: 高田安規子・政子

会期: 令和5年(2023)12月16日(土)~令和6年(2024)2月25日(日)

制作日:

12月16日(土)・23日(土)・27日(水)、1月7日(日)・14日(日)・17日(水)・24日(水)・28日(日)、2月7日(水)・10日(土)

制作場所: 公開制作室

展示: 2月12日(月祝)~2月25日(日)

土日祝日の13:00~17:00は、普及員がガイド活動を行った(計5日)。

関連イベント:

[ワークショップ]「くり返すカタチをつくろう!」講師:高田安規子・政子、2月3日(土)、創作室・府中の森公園、26名

[トークイベント]「アーティストトーク 高田安規子・政子」スピーカー:高田安規子・政子、2月23日(金祝)、講座室、77名

制作内容:

高田安規子・政子は一卵性双生児の姉妹で、2000年代半ばからユニットを組んで活動している。彼女たちは身近な事物や風景を加工して時間と空間のスケールを変化させ、緻密で親密な世界をつくり出す。

初めての公開制作にあたり高田安規子・政子は、美術館を囲む公園の自然に着目した。部分と全体が同じ構造を持つという自己相似性「フラクタル」の原理と、螺旋構造をテーマとした。ただし、作品を完成させることにはこだわらず(作品の完成は当プログラムでは絶対条件ではない)、着地点を決めずに作業を進めていった。作品の素材となる貝や角、材料の枝や絵葉書や家



具雑貨、画材のスタンプや用紙、展示ケースなど、さまざまなものが運び込まれた。高田たちは、来館者との対話や、ワークショップの成果などを、柔軟に取り入れながら、制作を進めた。最終的に、資料や試作、そして小さな作品が凝縮された、創作のための実験室のような部屋が生まれた。

ワークショップ:

小学生を対象とし(親子での参加を含む)、公園で自然観察した後、創作室でシダの葉や松ぼっくりをスタンプで写し取り、くり返すカタチをあらわした。

アーティストトーク:

これまでの活動を、主題としてきた「スケール」の説明を軸に紹介した。また、公開制作について振り返った。

2 | アートスタジオ

アートスタジオは、10代の青少年を対象に美術の学習を支援するプログラムとして、「ティーンズスタジオ」の名称で平成19年度にスタートした。土曜日午後を中心に、若手アーティストである講師の指導とボランティアスタッフのサポートにより、さまざまな表現活動を楽しみ、また学芸員のレクチャーや展覧会を鑑賞する活動を行った。平成24年度からは対象者を広げたワークショップシリーズとして、名称を「アートスタジオ」に改めて再スタート。平成21年度から第1土曜日に誰でも手軽に体験できるオープンプログラムが、平成24年度からは最終土曜日に美術の理論等をレクチャーするトークプログラムが加わった。

令和2年度以降は、コロナ禍で対面プログラム実施が困難となったため、オンラインでの開催を手探りで開始した。「アートスタジオ☆WEB」として、通信でのワークショップやトークプログラム、プログラム配信を実現した。感染状況を鑑みながら、対面のワークショップも徐々に再開。少人数制や予約制で行うこと、開催時間を短縮すること、換気や手指消毒につとめ道具の共用を避けることなどに留意し、開催回数を増やした。

令和4年度以降は対面プログラムの回数をさらに増やし、予約不要のワークショップも再開した。また内容面での制約も少なくなり、参加者同士の交流も行っている。対象年齢や内容のバランスをとりながら、月に1、2回程度の開催を続けている。

各事業は概ね次の順序で記載した。

名称、開催日、対象・参加人数(同伴者を含む)、講師、内容

令和4年度

・「創作室であそぼう! えのぐの日」

令和4年(2022)6月4日(土)、対象年齢制限なし・30名

常見龍太郎(彫刻家・当館学芸補助職員)、小林真結(当館学芸員)

絵の具を使って自由に絵を描く。

・「アートなたねをみつけよう!」展関連ワークショップ「粘土でつくる!でこぼこ模写」

令和4年(2022)7月30日(土)、31日(日)(全2回)、小学3年生以上・20名

常見龍太郎(彫刻家・当館学芸補助職員)、小林真結(当館学芸員)、大澤真理子(当館学芸員)

「アートなたねをみつけよう!」展の絵画作品を鑑賞し、粘土を使ってでこぼこした立体的な模写を作る。

・「夏休み自由工房 ●●動物親子」

令和4年(2022)8月6日(土)、7日(日)(全2回)、小学3～6年生・29名
馬場稔郎(彫刻家)、安藤はるか(造形作家)

「●●(まるまる)」に入る言葉を自由に考えて、木材などを使い、動物の親子を作る。

・「夏のびじゅつしつ ○○にへんしんしよう!」

令和4年(2022)8月10日(水)、17日(水)(全2回)、対象年齢制限なし・44名

神山亮子(当館学芸員)、常見龍太郎(彫刻家・当館学芸補助職員)、

倉田歩(当館学芸補助職員)

創作室にある材料を使って自分が変身したいものになるアイテムを作り、工作のプロセスを楽しむ。

・「色のかげらのサンキャッチャーを作ろう▲□◆」

令和4年(2022)9月3日(土)、小学生以上・21名

渡辺望(美術家)

さまざまな形の「色のかげら」が揺れ動く、カラフルなサンキャッチャーを作る。

・「テキスタイルデザイン入門 模様をデザインして消しゴムハンコに彫ろう」

令和4年(2022)10月15日(土)、小学4年生以上・13名

林瑠璃(テキスタイルデザイナー)

好きなモチーフを模様でデザインし、消しゴムハンコで紙や布にプリントする。

・「秋のびじゅつしつ ○○にへんしんしよう!」

令和4年(2022)11月2日(水)、5日(土)(全2回)、4歳～小学2年生／小学生以上・26名

神山亮子(当館学芸員)、常見龍太郎(彫刻家・当館学芸補助職員)、倉田歩(当館学芸補助職員)

創作室にある材料を使って自分が変身したいものになるアイテムを作り、工作のプロセスを楽しむ。

・「紙をつないで分身ちゃん」

令和4年(2022)11月27日(日)(全2回)、4歳以上／小学生以上・30名
水野明香(ワークショップデザイナー)

大きな紙から自分の分身を作って遊ぶ。

・「石から絵の具を作ろう!」

令和5年(2023)1月21日(土)(全2回)、小学生以上・37名

須恵朋子(画家)

ラピスラズリやいろいろな石をすりつぶして絵の具を作り、はがきに絵を描く。

・「ぐるぐるまきまき! 動物を作ろう!」

令和5年(2023)2月4日(土)、小学生・20名

馬場稔郎(彫刻家)

ペットボトルを芯にして、針金やテープを使って動物彫刻を作る。

・「立ち上がれ! 芯から考える動物彫刻」

令和5年(2023)2月5日(日)、中学生以上・15名

馬場稔郎(彫刻家)

ペットボトル、テーピングテープを使い、骨格や肉付けを考えて「立つ」動物彫刻を作る。

・「光と影であそぼう 幻灯機で映す絵物語」

令和5年(2023)3月18日(土)、19日(日)(全2回)、小学生／小学5年生以上・18名

久保萌菜(画家)

小さな透明板にカラーペンやカラーシートで絵を描き、幻灯機で拡大して映し出す、カラフルな絵物語を作る。

令和5年度

・「わたし応援、推しうちわをつくろう」

令和5年(2023)4月22日(土)、5月20日(土)(全4回)、対象年齢制限なし・20名

神山亮子(当館学芸員)、常見龍太郎(彫刻家・当館学芸補助職員)

自分を応援することばや形をうちわに貼って、オリジナルの(自分)推しうちわを作る。

・「リズムペインティングで太鼓づくり」

令和5年(2023)7月27日(木)、7月30日(日)(全4回)、対象年齢制限なし・78名

林瑠璃(テキスタイルデザイナー)、佐竹玲奈(音楽家)

子ども大人も一緒に、リズムに合わせてペイントしたキャンバスを使ってアフリカの民族楽器のような太鼓を作る。

・「線であそぼう 線でえがこう」

令和5年(2023)8月9日(水)、8月10日(木)(2日連続)、小学生・19名

久保萌菜(画家)

さまざまな素材で描いたり、短い時間で描いたり、大きな紙に描いたり、2日間かけて線で絵を描くさまざまな方法を体験して、自分だけの線、自分だけの絵を探す。

・「夏休み自由工房 カラフル昆虫ランド」

令和5年(2023)8月19日(土)、20日(日)(全2回)、小学3～6年生・32名

安藤はるか(造形作家)、馬場稔郎(彫刻家)

カラフル昆虫ランドに住む昆虫を想像しながら、木材と身近な素材を組み合わせて、オリジナルの楽しい昆虫を作る。

・「しゅつげん!色と光の不思議ないきもの」

令和5年(2023)10月28日(土)(全2回)、小学生以上・40名

渡辺望(美術家)

透明なシートやテープを貼り合わせて「いきもの」を作る。

・「秋のびじゅつしつ 思いつくまま工作しよう」

令和5年(2023)11月3日(金)、11月4日(土)(全2回)、対象年齢制限なし・42名

石崎朝子(画家)、齋藤愛里彩(画家)、近江詩織(画家)

創作室にある材料を使って自由に工作し、つくるプロセスを楽しむ。

・「ジェッツ・スクラッチで作る小さなおうち」

令和5年(2023)11月19日(日)、小学生以上・19名

フクシマチヒロ(画家)

透明アクリル板の裏に下地絵具を塗り、削ったところにさらに絵具を塗っていく「ジェッツ・スクラッチ」の技法で、小さなおうちのオブジェを作る。

・「冬のびじゅつしつ 思いつくまま描いてみよう」

令和5年(2023)12月23日(土)、対象年齢制限なし・19名

近江詩織(画家)、岡本敏枝(画家)

創作室にある絵の具を使い、自由にからだを動かして絵を描く時間を楽しむ。

・「石から絵の具を作ろう」

令和6年(2024)2月11日(日祝)(全2回)、小学生以上・39名

須恵朋子(画家)、藤野麻由羅(画家)

ラピスラズリやいろいろな石をすりつぶして絵の具を作り、はがきに絵を描く。

・「プリーツ・デ・コレクション」

令和6年(2024)3月20日(水祝)、対象年齢制限なし・20名

水野明香(ワークショップデザイナー)

プリーツの洋服工場から出るプリーツ紙を使って、大人も子供も一緒にオリジナルの衣装を作ってファッションショーを楽しむ。

・「はるのびじゅつしつ いろいろな紙で自由に作ってみよう」

令和6年(2024)3月24日(日)、3月27日(水)(全2回)、対象年齢制限なし・42名

安藤はるか(造形作家)、水野明香(ワークショップデザイナー)、渡辺望

(美術家)、久保萌菜(画家)

3 | 美術鑑賞教室

府中市教育委員会・府中市立小中学校長会・府中市立小中学校教育研究会との共催により、府中市立小学校の児童第4-6学年、同中学校の生徒第1学年を対象に、美術館建築と諸施設を訪れ、作品を鑑賞する学習プログラムである。「展示作品の鑑賞を通して、美術作品のよさや美しさ、あらわし方への関心を高め、豊かな情操を養うとともに、自らが主体的に意欲や興味を持って鑑賞する態度を育てる」ことを目的としている。小学校は学年単位の団体鑑賞(図工教員と教育普及担当学芸員が事前に打ち合わせをし、当日は学芸員が館内の案内と作品解説や対話型鑑賞を行い、授業内容の向上を図っている)、中学校は各校の鑑賞計画に基づいて生徒の個別鑑賞に取り組んでいる。

令和4年度以降は感染症の影響は少なくなり、全校を対象に実施している。

令和4年度

府中市立小学校美術鑑賞教室(22校・27回) 小学生2,169名、引率127名
府中市立中学校美術鑑賞教室(11校) 1,738名

令和5年度

府中市立小学校美術鑑賞教室(22校・27回) 小学生2,089名、引率112名
府中市立中学校美術鑑賞教室(11校) 1,717名

4 | 教員研修

学校教員を対象にした図工・美術に関する研修会や研究会を開催している。美術館には本物の美術作品があり生きた鑑賞学習が体験でき、関係する作家や学芸員といった人的資源や情報が集積しており、地域の図工・美術教育の研修や研究に貢献している。教育委員会や教員の自主的な研究団体との共催など多様なかたちで受け入れている。研究団体による大会の会場となるなど、府中市内だけでなく東京都や全国の図工・美術教育の教員と連携を図っている。

令和4年度

- ・府中市立小中学校教育研究会図工・美術部共催 夏休みワークショップ 事前研修会
令和4年(2022)7月27日(水)、府中市立小中学校図工・美術専科教員15名
- ・府中市立小中学校教育研究会図工・美術部共催 夏休みワークショップ「ステキサイテキスタイル」
令和4年(2022)7月28日(木)(全2回)、小中学生55名
- ・「中学生のためのギャラリーツアー」事前研修会
令和4年(2022)7月28日(木)、府中市立小中学校図工・美術専科教員

9名

講師：神山亮子(当館学芸員)

- ・府中市立小中学校教育研究会図工・美術部共催「中学生のためのギャラリーツアー」

令和4年(2022)7月29日(金)、中学生など123名

- ・杉並教員研究会小学校部会 図画工作研究部

令和4年(2022)8月26日(金)、杉並区立小学校教員19名

講師：神山亮子(当館学芸員)

令和5年度

- ・「中学生のためのギャラリーツアー」事前研修会

令和5年(2023)7月27日(木)、府中市立小中学校図工・美術専科教員8名

- ・「中学生のためのギャラリーツアー」

令和5年(2023)7月28日(金)、常設展示室、中学生など98名

- ・府中市立府中第三小学校教員研修

令和5年(2023)8月19日(土)、20日(日)、府中第三小学校教員1名

5 | 団体鑑賞支援

団体鑑賞支援は、府中市立小中学校の美術鑑賞教室を除く、学校教育や社会教育の団体・機関による鑑賞を、学芸員等が解説や指導にあたることで支援する活動を指す。府中市立小中学校において、美術鑑賞教室以外にも学校独自の活動として鑑賞の授業や見学が行われている。また高等学校、特別支援学校など、さまざまな校種において美術館の利用を受けられている。

令和4年度

- ・武蔵村山市立第九小学校5年生見学
令和4年(2022)6月30日(木)、児童43名、引率5名
- ・府中市立浅間中学校2年生見学
令和4年(2022)10月12日(水)、13日(木)(全3回)、生徒194名、引率4名
- ・府中市立府中第十小学校3年生社会科見学
令和5年(2023)2月7日(火)、児童107名、引率6名、アートコミュニケーター18名

令和5年度

- ・東村山市立萩山小学校6年生見学
令和5年(2023)6月7日(水)、児童67名、引率6名
- ・武蔵野大学×アートコミュニケーター鑑賞会
令和5年(2023)6月24日(土)、学生32名、引率1名、アートコミュニケーター15名
- ・調布市立多摩川小学校4年生見学
令和5年(2023)8月30日(水)、31日(木)(全2回)、児童126名、引率10名
- ・武蔵野大学×アートコミュニケーター鑑賞会
令和5年(2023)10月28日(土)、学生18名、引率1名、アートコミュニケーター16名

6 | 連携事業

団体鑑賞支援以外にも、各種学校や府中市の保育・生涯学習部門、市民団体等と連携し、ワークショップやコンサート等の事業を実施している。

●博物館実習

平成13年度から開始している。多くの大学からの要望に公平に応えられるよう、各大学1名ずつ受け入れている。令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受入人数の上限を8名に制限し、実習期間を4日間に短縮した。令和5年度以降は実習期間・受入人数ともに従前に戻し実施している。

令和4年度

- 開催日程：令和4年(2022)8月2日(火)～5日(金)(4日間)
参加人数：実習生8名
[受け入れ大学名(五十音順)]
京都美術工芸大学、国士舘大学、聖心女子大学、筑波大学、東京大学、明治学院大学、明治大学、武蔵野美術大学

令和5年度

- 開催日程：令和5年(2023)7月25日(火)～8月4日(金)(8日間)
参加人数：実習生13名
[受け入れ大学名(五十音順)]
青山学院大学、桜美林大学、学習院大学、上智大学、女子美術大学、成城大学、聖心女子大学、多摩美術大学、中央大学、筑波大学、東洋大学、日本大学、和光大学

●連携事業

令和4年度

- [保育連携事業]
・子育てひろば「はじめてアート」
令和4年(2022)6月23日(木)、8月17日(水)、10月4日(火)、12月23日(金)、令和5年(2023)2月17日(金)(全5回)、0歳児とその保護者48組96名、主催：府中市子ども家庭部保育支援課

[学校等連携事業]

- ・武蔵野大学教育学部教育学科 教育普及事業の見学・調査
令和4年(2022)5月28日(土)、6月11日(土)、10月29日(土)(全4回)、
学生141名
- ・中央大学文学部美術史美術館コース学芸員課程
令和4年(2022)6月12日(日)、学生29名、引率1名
- ・白梅学園大学子ども学部子ども学科博物館経営論
令和4年(2022)6月23日(木)、学生2名
- ・府中市適応指導教室「けやき教室」美術鑑賞授業
令和4年(2022)7月8日(金)、10月5日(水)(全2回)、児童生徒20名、引
率13名
- ・東京都立大学システムデザイン学部インダストリアルアート学科美術博物
館実習
令和4年(2022)10月8日(土)、学生17名、引率1名
- ・障がい者成人教室「あすなろ学級」
令和4年(2022)10月23日(日)、利用者23名、同伴12名

[市内施設・市民団体等連携事業]

- ・府中市立図書館連携事業「絵本だいすき おはなしキャラバン」
令和4年(2022)4月8日(金)、講座室、主催：府中市子ども読書活動推進
委員会

令和5年度

[保育連携事業]

- ・子育てひろば「はじめてアート」
令和5年(2023)6月16日(金)、8月25日(金)、10月11日(水)、12月22日
(金)、令和6年(2024)2月8日(木)(全5回)、0歳児とその保護者53組
106名、主催：府中市子ども家庭部保育支援課

[学校等連携事業]

- ・府中市適応指導教室「けやき教室」美術鑑賞授業
令和5年(2023)7月5日(水)、11月22日(水)(全2回)、児童生徒17名、
引率13名
- ・府中市立浅間中学校「パブリックアートの講演と清掃活動」
令和6年(2024)3月15日(金)、講演：府中市立浅間中学校、生徒211名
／清掃活動：桜通り広場公園、生徒23名、引率1名

[市内施設・市民団体等連携事業]

- ・府中市立図書館連携事業「絵本だいすき おはなしキャラバン」
令和5年(2023)4月4日(火)、11月8日(水)(全2回)、講座室、17名、主
催：府中市子ども読書活動推進委員会
- ・市民団体連携事業「あーちゅびーのおしゃべりツアー はじめて編」
令和6年(2024)1月27日(土)(全2回)、26名、アートコミュニケーター 20
名、協力：あーちゅびー
- ・府中の森芸術劇場連携事業「府中の森芸術劇場出張コンサート～弦楽
四重奏の調べ～」
令和6年(2024)2月4日(日)、エントランスロビー、169名、演奏：日本フィル
ハーモニー交響楽団員、主催：府中の森芸術劇場
- ・府中観光協会連携事業「府中市美術館スペシャルアートナイト～『白井美
穂 森の空き地』夜間特別鑑賞会～」
令和6年(2024)2月17日(土)、企画展示室、26名、主催：府中観光協会

4 | ボランティア活動

開館以来、ボランティア活動は企画展や公開制作などの事業の際、その都度募集して実施してきた。平成18年度からは、市民との協働を推進するため、地域で活動するNPOと連携したボランティアスタッフ育成事業に着手し、年間を通じた登録制ボランティアとして「府中市美術館サポートスタッフ」

を発足させ、平成21年度には「府中市美術館ボランティア」に改称して、活動の充実を図ってきた。なお令和5年度より、登録者に継続の意志確認を行っている。

	令和4年度	令和5年度
ボランティア登録者数	269名	70名

5 | 市民文化の日

開館5周年となる平成17年以降、府中市美術館では毎年10月に開館記念日を設定し、常設展及び企画展の観覧料を無料とすることで、利用者の拡大、広報啓発活動の推進を図ってきた。平成21年度からは、近隣に位置する府中市生涯学習センター、府中の森芸術劇場、そして都立府中の森公園を加えた4施設の共同企画による「府中の森文化まつり」を開催し、観光無料のほか様々なイベントを開催してきた。

さらに、平成26年度、府中市は10月の第2日曜を「市民文化の日」として

設定し、「府中の森文化まつり」を実施していた4施設もこれに参加した。これは市内9つの文化施設で無料観覧やコンサート、スタンプラリー、アートマーケットなど様々なイベントを開催する事業である。府中市美術館では、常設展・企画展の無料観覧、ミュージアムグッズフェア、過去の展覧会ポスターの無料プレゼント、ワークショップなどを実施し、市民が美術館に親しむ機会となっている。なお無料観覧日の日数は、令和4年度は4日間、5年度は3日間に設定している。

	令和4年度	令和5年度
開催日	10月8日(土)–10日(月休)	10月7日(土)–9日(月休)
参加者数	4,381名	2,701名

・府中の森公園との連携イベント

都立府中の森公園主催のウォールアート体験事業に協力し、同じ公園内で開催される市民文化の日のイベントの連携を図った。

	令和4年度	令和5年度
開催日	10月9日(日)	10月8日(日)
参加者数	200名	250名

6 | 市民ギャラリー

1 | 利用一覧

No.	展示期間	展覧会名
令和4年度		
1	4月12日(火)–4月17日(日)	宮本和郎 日本画展・丹青会 彩墨画展
2	4月19日(火)–4月24日(日)	水彩画サークル「ばれっと」第15回作品展
3	5月3日(火)–5月8日(日)	「うつろの目」
4	5月24日(火)–5月29日(日)	第10回 府中*銅楽展
5	6月7日(火)–6月12日(日)	透明人間 -Invisible Mom- #BFF BEST FRIEND FOREVER-
6	6月15日(水)–6月19日(日)	第34回 府中油絵同好会展
7	6月21日(火)–6月26日(日)	都丸次郎と仲間の写真展
8	8月13日(土)–8月28日(日)	第71回 はたらく消防の写生会(主催:東京消防庁)入賞作品展
9	9月6日(火)–9月11日(日)	いくらまりえ作品展「Soak」
10	9月27日(火)–10月2日(日)	若葉会洋画展
11	10月4日(火)–10月9日(日)	第58回 府中市民芸術文化祭 洋画展
12	10月13日(木)–10月16日(日)	ベンジャミン・クレーム 現代のマンダラ展
13	10月18日(火)–10月23日(日)	第58回 府中市民芸術文化祭 工芸展
14	10月25日(火)–10月30日(日)	第58回 府中市民芸術文化祭 版画展
15	11月1日(火)–11月6日(日)	第58回 府中市民芸術文化祭 日本画展
16	11月8日(火)–11月13日(日)	第58回 府中市民芸術文化祭 彫刻展
17	11月15日(火)–11月20日(日)	第14回 牛の会展
18	11月25日(金)–12月4日(日)	アール・ブリュット2022巡回展「かわるかたち」
19	1月13日(金)–1月20日(金)	第65回 北多摩地区中学校美術展
20	1月28日(土)–2月7日(火)	府中市 連合書写展
21	2月14日(火)–2月19日(日)	野口義哉作品展「旅」
22	3月11日(土)–3月12日(日)	中央大学書道會 白門書展
23	3月15日(水)–3月19日(日)	なりきりのあとで(武蔵野美術大学大学院修士課程彫刻コース1年、東京造形大学大学院修士課程美術研究領域末永担当 合同セッション)
24	3月28日(火)–3月31日(金)	日本水彩画会 東京支部展

No.	展示期間	展覧会名
令和5年度		
1	4月1日(土)–4月2日(日)	日本水彩画会 東京支部展
2	4月11日(火)–4月16日(日)	第34回 府中市油絵同好会展
3	4月18日(火)–4月23日(日)	水彩画サークル「ばれっと」第16回作品展
4	5月1日(月)–5月7日(日)	松林真澄の心象風景版画展
5	7月25日(火)–7月30日(日)	地球色展 第18回
6	8月8日(金)–8月13日(日)	2023年 若葉会洋画展
7	8月17日(木)–8月23日(水)	第72回はたらく消防の写生会(主催:東京消防庁)入賞作品展
8	8月29日(火)–9月3日(日)	没後10年 金子寛展 幻想の行方
9	9月20日(水)–10月1日(日)	マーシャル・ロック 絵画と木工オブジェ
10	10月3日(火)–10月8日(日)	学校法人明星学苑 創立100周年記念展示会
11	10月11日(水)–10月15日(日)	第59回 府中市民芸術文化祭 洋画展
12	10月17日(火)–10月22日(日)	第59回 府中市民芸術文化祭 版画展
13	10月24日(火)–10月29日(日)	曾根研とミスズアートモザイクの世界
14	10月31日(火)–11月5日(日)	テレジン収容所の小さな画家たち展
15	11月7日(火)–11月12日(日)	第59回 府中市民芸術文化祭 日本画展
16	11月14日(火)–11月19日(日)	第59回 府中市民芸術文化祭 彫刻展
17	11月21日(火)–11月26日(日)	第15回 牛の会展
18	12月19日(火)–12月24日(日)	黒の空間 水谷光江展
19	12月28日(木)–1月8日(月祝)	88才・感謝 宮本和郎 日本画展
20	1月13日(土)–1月21日(日)	第68回 北多摩地区中学校美術展
21	1月23日(火)–1月28日(日)	「ラッコルタ -創造素材ラボ-」成果展
22	2月2日(金)–2月11日(日)	第23回 連合図工美術展
23	2月12日(月・祝)–2月18日(日)	「世界は降りかかるものすべてである」
24	3月14日(木)–3月17日(日)	第8回 ふれあい作品展
25	3月19日(火)–3月24日(日)	日本水彩画会 東京支部展
26	3月29日(金)–3月31日(日)	創作工作ルリユール「手作り製本・作品展」

2 | 市民ギャラリーにおける主催・共催事業

名称
会期・入場者数
内容

令和4年度

該当なし

令和5年度

該当なし

7 | 出版・広報

1 | 出版物

【展覧会図録】(税込価格)

『孤高の高野光正コレクションが語る ただいま やさしき明治』(解説冊子) 2,000円	
『アート・アンド・クラフトとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで』(一般書籍)	2,400円
『諏訪敦 眼窩裏の火事』(一般書籍)	5,280円
『江戸絵画お絵かき教室』(一般書籍)	2,970円
『発掘・植竹邦良 ニッポンの戦後を映す夢想空間』	2,000円
『インド細密画』	2,000円
『白井美穂 森の空き地』	2,000円
『ほとけの国の美術』(一般書籍)	3,080円

【公開制作リーフレット】

公開制作のコンセプトや製作状況を記録したリーフレット。A4版6頁。	各50円
公開制作84 幸田千依「空と競馬場」	
公開制作85 スポークンワーズプロジェクト「スポークンワーズプロジェクトによるスポークンワーズプロジェクト」	
公開制作86 馬場稔郎「animalier ～白いキリンの夢～」	
公開制作87 今井俊介	
公開制作88 高田安規子・政子「くり返すカタチ」	

【府中市美術館だより】

展覧会などの紹介や関連記事を掲載した小冊子。B5版6-8頁。年2-3回発行。既刊1-60号。

1-26号 各100円、27号以降 無償配布

【府中市美術館研究紀要】

学芸員による研究報告集。A4版。

既刊1-23号	各1,000円
24号	500円

2 | ウェブサイト

開館に合わせ、独自にホームページを開設。企画展、コレクション展、公開制作、ワークショップ、その他イベントなどの告知を行うと同時に、収蔵品の紹介、市民ギャラリーの利用案内、刊行物などを掲載。平成20年4月に府中市ウェブサイトと統合した。令和2年(2020)9月にウェブサイトのデザインをリニューアルし、さらに令和6年(2024)3月にコレクションデータベースの公開を始めた。

ウェブサイトURL: <https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>
コレクションデータベースURL: <https://jmapps.ne.jp/fam/>

8 | 調査・研究

【府中市美術館研究紀要 所収論考一覧】

第24号(令和5年度発行)

金子信久「歌川国芳《相馬の古内裏》の骸骨は何を表しているのか?」

9 | 利用者数一覧

(1) 展覧会入場者数 ※展覧会入場者数では展覧会を単位として入場者数を合計しています。

	令和4年度		令和5年度	
	回数	入場者数	回数	入場者数
コレクション展	5	81,881	5	62,119
企画展・所蔵品展	5	81,127	5	60,299
合計	10	163,008	10	122,418

(2) 教育普及事業参加者数 ※参加者数にはボランティア参加者を含めています。

	令和4年度		令和5年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数
公開制作	25	49,065	32	46,025
公開制作関連事業	9	530	22	536
アートスタジオ	21	341	22	426
企画展開連事業	9	6,090	11	11,915
美術鑑賞教室	33	4,034	33	3,918
教員研修	6	221	3	115
団体鑑賞支援	4	377	5	292
連携事業	14	339	15	642
ボランティア登録者数	1	269	1	70
合計		61,266		63,939

(3) 市民ギャラリー利用者数

	令和4年度		令和5年度	
	回数	利用者数	回数	利用者数
利用者数	19	21,408	22	19,878

(4) 図書室利用者数

	令和4年度	令和5年度
利用者数	7,750	5,895

(5) 全体利用者数

	令和4年度	令和5年度
利用者数	253,432	212,130

1 | 関係法規

府中市美術館条例

平成11年9月30日

条例第17号

改正

平成14年6月26日条例第15号

平成24年3月30日条例第4号

平成30年3月13日条例第12号

令和5年3月22日条例第5号

(目的)

第1条 この条例は、市民の心豊かな文化的生活の享受に寄与するとともに、地域社会における美術教育・美術文化の振興を図るため、美術館を設置し、その管理及び運営について必要な事項を定めることを目的とする。

(名称及び位置)

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

府中市美術館 府中市浅間町1丁目3番地

(施設)

第3条 府中市美術館(以下「美術館」という。)には、次の各号に掲げる施設を設ける。

- (1) 常設展示室(牛島憲之作品の展示を含む。)
- (2) 企画展示室
- (3) こども造形室
- (4) 公開制作室
- (5) 市民ギャラリー
- (6) その他必要な施設

(事業)

第4条 美術館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 美術作品及び美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (2) 美術に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 美術に関する講演会、講習会等の開催に関すること。
- (4) 美術に関する指導、助言及び相談に関すること。
- (5) 美術館の施設及び設備の使用に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、府中市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認める事業

(休館日)

第5条 美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「国民の祝日」という。)に当たるときを除く。)
- (2) 国民の祝日の翌日(その日が日曜日、土曜日又は国民の祝日に当たるときを除く。)

- (3) 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで
- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が特に必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(平14条例15・一部改正)

(開館時間)

第6条 美術館の開館時間は、午前10時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、これを変更することができる。

(観覧)

第7条 常設展示室及び企画展示室に展示されている美術作品等を観覧しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

(特別観覧)

第8条 美術館に収蔵されている美術作品等について学術研究等のため模写、撮影等(以下「特別観覧」という。)をしようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める特別観覧料を納入しなければならない。

(使用許可)

第9条 美術館の施設のうち市民ギャラリーを使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を納入しなければならない。

(条件の付与)

第10条 教育委員会は、第7条第1項に規定する観覧の許可、第8条第1項に規定する特別観覧の許可又は前条第1項に規定する市民ギャラリーの使用の許可(以下「観覧等の許可」という。)に際して、必要な条件を付けることができる。

(観覧等の許可の制限)

第11条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、観覧等の許可をしない。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設又は付属する器具等を損傷するおそれがあるとき。
- (3) その他管理上支障があるとき。

(観覧等の許可の取消し等)

第12条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、観覧等の許可に係る条件を変更し、又は当該許可を取り消すことができる。

- (1) 観覧等の許可を受けた者が、この条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (2) 観覧等の許可を受けた目的又は観覧等の許可に係る条件に違反したとき。
- (3) 災害その他の事故により、施設を使用することができなくなつ

たとき。

(4) その他公益上特に必要があるとき。

(観覧料等の納入時期)

第13条 第7条第2項に規定する観覧料、第8条第2項に規定する特別観覧料及び第9条第2項に規定する市民ギャラリーの使用料(以下「観覧料等」という。)は、その観覧等の許可を受けた際に納入しなければならない。ただし、市長が相当の理由があると認めるときは、後納することができる。

(平30条例12・一部改正)

(観覧料等の減免)

第14条 市長は、特別の理由があると認めるときは、観覧料等を減額し、又は免除することができる。

(平30条例12・一部改正)

(観覧料等の不還付)

第15条 既に納入した観覧料等は還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その一部又は全部を還付することができる。

(平30条例12・一部改正)

(特別の設備等の使用)

第16条 第9条第1項の規定に基づき市民ギャラリーの使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、当該施設に特別の設備をし、又は付属する器具以外の器具を使用しようとするときは、教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用権の譲渡禁止)

第17条 使用者は、使用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復の義務)

第18条 使用者は、市民ギャラリーの使用を終了したとき、又は第12条第1号若しくは第2号の規定に該当して使用の許可を取り消されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

(損害賠償の義務)

第19条 美術館の施設若しくは設備又は美術作品等を損傷し、又は滅失した者は、これにより生じた損害額を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し、又は免除することができる。

(平30条例12・一部改正)

(入館の制限等)

第20条 教育委員会は、美術館の秩序を乱し、若しくは乱すおそれのある者の入館を禁止し、又はその者に対して退館を命ずることができる。

(販売又は営業行為の禁止)

第21条 美術館内においては、教育委員会の許可を受けずに美術館の入館者に物品を販売し、又は営業行為をしてはならない。

(運営協議会の設置)

第22条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定に基づき、府中市美術館運営協議会(以下「運営協議会」という。)を美術館に置く。

2 運営協議会は、委員12人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(1) 学校教育及び社会教育の関係者

(2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者

(3) 学識経験を有する者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 運営協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24条例4・令5条5一部改正)

(選定委員会の設置)

第23条 美術作品等の収集及び評価について審議するため、府中市美術品収集選定委員会(以下「選定委員会」という。)を美術館に置く。

2 選定委員会は、教育委員会が委嘱する学識経験を有する委員6人以内をもって組織する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 選定委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(委任)

第24条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(美術館の供用開始)

2 美術館の供用開始の日は、教育委員会規則で定める。

付 則(平成14年6月26日条例第15号)

この条例は、公布の日から施行する。

付 則(平成24年3月30日条例第4号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則(平成30年3月13日条例第12号)

(施行期日)

1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める日から施行する。

(1) 第13条ただし書、第14条、第15条ただし書、第19条及び別表第1の改正規定 公布の日

(2) 別表第3の改正規定及び次項の規定 平成30年7月1日

(経過措置)

2 この条例による改正後の府中市美術館条例の規定は、平成31年3月16日(以下「適用日」という。)以後の使用について適用し、適用日前の使用及び平成30年7月1日前に使用の許可の申込みがされている適用日以後の使用については、なお従前の例による。

付 則(令和5年3月22日条例第5号)

この条例は令和5年4月1日から施行する。

別表第1(第7条)

(平30条例12・一部改正)

●美術館観覧料

区分	1人1回につき		
	個人	団体(20人以上)	
常設展	一般	200円	150円
	高校生・大学生	100円	80円
	小学生・中学生	50円	30円
企画展	企画展が行われる都度市長が定める額		

備考

1 常設展とは、常設展示室における美術館の収蔵する美術作品等の展示をいう。

2 企画展とは、常設展以外の特別な企画に基づく展示をいう。

- 3 高校生・大学生とは、高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生並びにこれらに準ずる者をいう。
- 4 小学生・中学生とは、小学校の児童及び中学校の生徒並びにこれらに準ずる者をいう。
- 5 学齢に達しない者の観覧料は、無料とする。
- 6 企画展の観覧料を納入した者は、常設展の観覧料は、無料とする。

別表第2(第8条)

●特別観覧料

利用区分	料金
模写・模造	1点1日につき 1,000円
撮影	1点1日につき 3,000円
熟覧	1点1日につき 300円
原板使用	1点1日につき 2,000円

別表第3(第9条)

(平30条例12・一部改正)

●市民ギャラリー使用料

区分		使用料
市内に居住している者	全面使用	20,000円
	2分の1使用	10,000円
市外に居住している者	全面使用	40,000円
	2分の1使用	20,000円

備考

- 1 この使用料は、午前10時から午後5時までの全日使用料とする。
- 2 使用の延長は、美術館の開館時間が延長されている場合に限り認めるものとし、その使用料は、1時間につき全日使用料の20パーセントの額とする。この場合において、100円未満の端数が生じたときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

府中市美術館条例施行規則

平成11年11月1日

教育委員会規則第4号

改正

平成15年4月1日教育委員会規則第3号

平成30年4月24日教育委員会規則第18号

(趣旨)

第1条 この規則は、府中市美術館条例(平成11年9月府中市条例第17号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第2条 府中市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、府中市美術館(以下「美術館」という。)の常設展又は企画展を観覧しようとする者に観覧料と引換えに観覧券(第1号様式)を交付する。

2 観覧券の発券時間は、午前10時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が開館時間外に観覧券の交付を必要と認める場合は、これを変更することができる。

(使用の申込み)

第3条 条例第3条第5号に規定する市民ギャラリー(以下「市民ギャラリー」という。)を使用しようとする者(以下「使用者」という。)は、府中市美術館市民ギャラリー使用申込書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 市民ギャラリーの申込期間は、次表のとおりとする。

区分	申込期間
市内に居住する者	使用日の12月前から前日まで
市外に居住する者	使用日の6月前から前日まで

(使用期間)

第4条 市民ギャラリーの使用期間は、原則として1週間を1単位とし、引き続き使用する場合は、4週間を限度とする。

(使用の許可)

第5条 教育委員会は、第3条の規定による申込みについて適当と認めるときは、府中市美術館市民ギャラリー使用許可書(第3号様式)を交付する。

(使用の範囲)

第6条 教育委員会は、使用者が美術に関する展覧会等を開催する場合に限り、市民ギャラリーの使用を許可するものとする。ただし、当該展覧会等の開催が収益を目的としているときは、使用を許可しない。

(使用の変更等の届出)

第7条 使用者が市民ギャラリーの使用を変更し、又は取り消そうとするときは、府中市美術館市民ギャラリー使用変更・取消申出書(第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 市民ギャラリーの使用の変更に係る前項の申出は、使用日の3月前までに行わなければならない。
- 3 市民ギャラリーの使用の変更は、教育委員会が相当の理由があると認める場合に限り、許可するものとする。

(観覧料等の減免)

第8条 条例第14条の規定により美術館の観覧料等を免除することができる場合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 市内の中学生以下の者が常設展又は企画展を観覧する場合
- (2) 次に掲げる者が常設展又は企画展を観覧する場合
 - ア 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている者
 - イ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
 - ウ 戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条に規定する戦傷病者手帳の交付を受けている者
 - エ 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成6年法律第117号)第2条に規定する被爆者手帳の交付を受けている者
 - オ 東京都愛の手帳交付要綱(昭和42年民児精発第58号)第1条に規定する愛の手帳(これに類する療育手帳等を含む。)の交付を受けている者
 - カ アからオまでに掲げる者のほか、障害者基本法(昭和45年法律第84号)第2条第1号に規定する障害者であることを明らかにすることができる書類を有する者
- (3) 前号の場合において介助者が同行する場合(介助者が複数で同行する場合における観覧料の免除対象人数は1人とする。)
- (4) 市内に居住する70歳以上の者が常設展を観覧する場合
- (5) 市又は教育委員会が主催し、又は共催する事業で市民ギヤ

ラリーを使用する場合

- (6) 府中市立学校若しくは市内の幼稚園の教育活動又は市内の保育所の保育活動で市民ギャラリーを使用する場合
- 2 前項に定めるもののほか、教育委員会が特に必要があると認めるときは、美術館の観覧料等を減額し、又は免除することができる。
- 3 条例第14条の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、観覧しようとする際に、減額又は免除の対象であることを示すことにより教育委員会に申し込み、承認を得なければならない。ただし、教育委員会が特に理由があると認める場合は、この限りでない。
- 4 条例第14条の規定による市民ギャラリーの使用料又は特別観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるときに、府中市美術館使用料等減額・免除申込書(第5号様式)により教育委員会に申し込みをしなければならない。
 - (1) 市民ギャラリー使用料 第3条第1項の規定による申込みのとき。
 - (2) 特別観覧料 第10条第1項の規定による申請のとき。
- 5 教育委員会は、前項に規定する申込みについて承認するときは、府中市美術館使用料等減額・免除承認書(第6号様式)を交付する。
(平30教委規則18・全改)

(観覧料等の還付)

第9条 条例第15条ただし書により還付する額は、別表に定めるとおりとする。

(特別観覧の申請)

- 第10条 条例第8条に規定する特別観覧をしようとする者は、あらかじめ府中市美術館特別観覧許可申請書(第7号様式)により教育委員会に申請しなければならない。
 - 2 教育委員会は、前項に規定する申請について適当と認めるときは、府中市美術館特別観覧許可書(第8号様式)を交付する。

(特別観覧の場所)

第11条 特別観覧は、教育委員会が指定する場所において行わなければならない。

(図書等の館内閲覧等)

第12条 美術館に所蔵されている図書、文献その他資料の閲覧等は、図書室その他の美術館内の所定の場所で行うものとする。

(遵守事項)

- 第13条 美術館の入館者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。
 - (1) 美術作品等に触れないこと。
 - (2) 美術作品等の近くでインク等を使用しないこと。
 - (3) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
 - (4) 危険物を持ち込まないこと。
 - (5) 畜類を伴い入れないこと。
 - (6) 他の入館者に迷惑をかけること。
 - (7) その他館長が必要と認めて指示する事項

(運営協議会の運営等)

第14条 条例第22条に規定する府中市美術館運営協議会(以下「運営

協議会」という。)は、美術館の運営について、館長の諮問に応じ審議し、答申するほか、館長に対し意見を述べる。

- 2 運営協議会に会長及び副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の互選による。
- 4 会長は会務を総理し、運営協議会を代表する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(運営協議会の会議)

第15条 運営協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 運営協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 運営協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 会議は公開を原則とする。ただし、会長が必要があると認めるときは、これを非公開とすることができる。

(選定委員会の運営等)

第16条 条例第23条に規定する府中市美術品収集選定委員会(以下「選定委員会」という。)は、美術館における美術作品等の収集について、館長の諮問に応じ審議し、答申する。

- 2 選定委員会に委員長及び副委員長を置く。
- 3 委員長及び副委員長は、委員の互選による。
- 4 委員長は会務を総理し、選定委員会を代表する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(選定委員会の会議)

第17条 選定委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 選定委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 選定委員長は、会議において関係職員に対し説明又は資料の提出を求めることができる。
- 4 会議は、非公開とする。

(雑則)

第18条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が定める。

付 則

この規則は、公布の日から施行する。

付 則(平成15年4月1日教委規則第3号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

付 則(平成30年4月24日教委規則第18号)

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(適用区分)

- 2 この規則による改正後の第8条第1項第5号及び第6号、同条第4項並びに第5項の規定は、平成31年3月16日以後の府中市美術館の市民ギャラリーの使用について適用し、同日前の府中市美術館の市民ギャラリーの使用については、なお従前の例による。

(経過措置)

- 3 この規則の施行の際、この規則による改正前の府中市美術館条例施行規則第5号様式及び第6号様式による用紙で、現に残存するものは、所要の修正を加え、なお使用することができる。

別表(第9条)

市民ギャラリー使用料還付表

使用者の責任でない理由によって使用することができないとき。	公益上又は市の特別の必要により使用許可を取り消すとき。	使用日の3月前までに使用の取消しを申請し、教育委員会が相当の理由があると認めるとき。	使用日の2月前までに使用の取消しを申請し、教育委員会が相当の理由があると認めるとき。	使用日の1月前までに使用の取消しを申請し、教育委員会が相当の理由があると認めるとき。
使用料の100%			使用料の50%	使用料の25%

府中市美術館運営規程

平成12年8月30日

教育委員会規程第2号

府中市美術館運営規程(平成11年10月教育委員会規程第3号)の全部を改正する。

改正

平成20年3月21日教育委員会規程第4号

令和2年3月26日教育委員会規程第5号

(目的)

第1条 この規程は、府中市美術館(以下「美術館」という。)の運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(職の設置)

第2条 美術館に館長及び副館長を置く。

2 館長は、地方公務員法(昭和25年法律第261号)第3条第3項第3号に規定する特別職とする。

(令2教委規程5・一部改正)

(職務)

第3条 館長は、美術館の運営に関し助言を行い、美術館を代表する。

(平20教委規程4・令2教委規程5・一部改正)

第4条 副館長は、府中市職務権限規程(昭和45年7月府中市訓令第8号)に定めるもののほか、府中市教育委員会事務局職務権限規程(昭和52年11月教育委員会規程第15号)の例により職務を行い、権限を行使するほか、教育委員会の指揮を受け、博物館法第4条第2項に規定する業務を行う。

(平20教委規程4・全改、令2教委規程5・一部改正)

(権限行使の基準)

第5条 この規程に定めのない事項については、府中市教育委員会事務局の例による。

付 則

この規程は、平成12年9月1日から施行する。

付 則(平成20年3月21日教委規程第4号)

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

付 則(令和2年3月26日教委規程第5号)

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

2 | 組織(令和4年4月~令和6年3月)

府中市—文化スポーツ部—美術館		
館長	藪野健	平成27年4月-
副館長	相馬修央	平成30年4月-令和5年3月
副館長	鎌田享	令和5年4月-
副館長補佐	鎌田享	令和2年4月-令和5年3月
副館長補佐	大木忠厚	令和5年4月-
管理係		
係長	尾崎伸雄	平成28年4月-
事務職員	古成ちひろ	平成29年4月-令和5年3月
	小林健司	令和4年4月-
	渡部涼	令和5年4月-
学芸係		
係長	鎌田享	平成31年4月-令和5年3月
係長	神山亮子	令和5年4月-
学芸員(主査)	神山亮子	令和4年4月-令和5年3月
学芸員(事務職員)		
	金子信久	平成12年10月-令和5年3月
	音ゆみ子	平成17年4月-
	小林真結	平成24年4月-
	大澤真理子	平成30年4月-
	松尾由子	令和5年4月-
	竹上友梨	令和5年4月-
学芸員(再任用)		
	志賀秀孝	令和2年4月-
	金子信久	令和5年4月-
博物館法に基づく登録 (加盟団体)		平成12年2月24日
日本博物館協会	入会	平成12年2月24日
全国美術館会議	加盟	平成9年6月19日
美術館連絡協議会	加盟	平成13年4月

3 | 各種委員会(名簿)

■府中市美術館運営協議会(任期2年)

第11期: 令和2年12月18日-令和4年11月30日

会長	谷矢哲夫
副会長	橋本善八
委員	隠岐由紀子
	金田実生
	佐伯智
	清水正人
	瑞慶覧香織
	高尾戸美
	寺田慎吾
	堀江一男
	持田晃
	吉田裕子

第12期: 令和4年12月16日-令和6年11月30日

会長	橋本善八
副会長	隠岐由紀子
委員	岡村幸宣
	加賀美敦子
	金田実生
	瑞慶覧香織
	芹澤敏光(令和5年6月16日-令和6年11月30日)
	高橋伸嘉
	真住貴子
	水橋佳也子
	森下英美
	持田晃(令和4年12月16日-令和5年3月31日)
	吉田裕子

■府中市美術品収集選定委員会(任期2年)

令和2年12月18日-令和4年(2022)11月30日

委員長	田中晴久
副委員長	佐川美智子
委員	児島薫
	永井龍之介
	平野到
	山梨絵美子

令和4年2月1日-令和6年(2024)11月30日

委員長	田中晴久
副委員長	児島薫
委員	滝沢恭司
	永井龍之介
	平野到
	山梨絵美子

11 | 利用案内

1 | 開館時間、休館日、観覧料など

■開館時間

午前10時から午後5時まで(展示室への最終入場は午後4時30分まで)

■休館日

月曜日(祝日の場合は翌日)

国民の祝日の翌日(平日の場合)

年末年始、展示替えの期間

■観覧料(1人につき)

		個人	団体(20名以上)
常設展	一般	200円	150円
	高校生・大学生	100円	80円
	小学生・中学生	50円	30円
企画展	展覧会ごとに定める		

※未就学児及び障害者手帳等をお持ちの方は無料。

■府中っ子学びのパスポート

府中市内在住、在学の小・中学生は、「府中っ子学びのパスポート」を提示すると、いずれの展覧会も無料で観覧可能。

■府中市美術館メンバーシップ

入会から1年間、何度でも全ての展覧会を無料で観覧できるほか、「府中市美術館だより」(年2回発行)の送付、館内カフェ、ショップにおける割引などの特典がある。

[会費] 一般 2,500円

高校生・大学生 1,500円

小学生・中学生 800円

[団体会費] 一般2,000円

高校生・大学生 1,200円

小学生・中学生 640円

[学校・法人会費] 100,000円

[賛助会員会費] 個人5,000円

団体・企業 30,000円

大学 50,000円

2 | 館内設備

・ バリアフリー対応(車椅子)

展示室をはじめ、館内の全ての設備を車椅子で利用可能。

・ だれでもトイレは1階と2階に1カ所ずつあり、おむつ替えシートを完備。

・ 貸出物

ベビーカー(2台)、車椅子(4台)

・ 駐車場

身体障害者用の駐車スペースあり(美術館地下)

3 | 交通案内

■電車利用の場合

・ 京王線府中駅から

1 ちゅうバス(多磨町行き)「府中市美術館」下車すぐ

2 府中駅バスターミナル7番乗り場より、8時から毎時30分間隔で運行

3 京王バス武蔵小金井駅南口行き(一本木経由)「天神町二丁目」下車すぐ

4 京王バス武蔵小金井駅南口行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」下車徒歩8分

5 京王バス国分寺駅南口行き(東八道路経由)「天神町幼稚園」下車徒歩8分

・ 京王線東府中駅北口から

1 徒歩17分

2 ちゅうバス(府中駅行き)「府中市美術館」下車すぐ
8時5分から毎時30分間隔で運行

・ JR中央線武蔵小金井駅南口から

1 京王バス府中駅行き(一本木経由)「一本木」下車すぐ

2 京王バス府中駅行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」下車徒歩8分

・ JR中央線国分寺駅南口から

1 京王バス府中駅行き(東八道路経由)「天神町幼稚園」下車徒歩8分

■自動車をご利用の場合

・ 中央自動車道調布インターチェンジから約3.5キロメートル

・ 中央自動車道国立・府中インターチェンジから約4.4キロメートル

・ 八王子方面からのアクセスは、府中スマートインターチェンジをご利用いただけます。ETC搭載車のみ通行可能です。

4 | 所在地

〒183-0001 東京都府中市浅間町1の3 都立府中の森公園内

TEL: 042-336-3371(代表)

FAX: 042-335-7576

ハローダイヤル: 050-5541-8600

ホームページ: <https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>

府中市美術館年報

令和4-5年度

編集

府中市美術館

印刷

株式会社アトミ

発行

府中市美術館 ©2025
東京都府中市浅間町1-3

発行日

令和7年3月

ANNUAL REPORTS OF FUCHU ART MUSEUM
April 2022-March 2024

Edited by

Fuchu Art Museum

Printed by

atomi Co., Ltd.

Published by

Fuchu Art Museum ©2025
1-3 Sengen-cho, Fuchu-shi, Tokyo, Japan

Published in

March 2025